

平成28年度使用

教科用図書採択選定資料

(中学校)

宮 城 県 教 育 委 員 会

< 目 次 >

国	語	-----	1 ~ 5		
書	写	-----	6 ~ 10		
社会（地理的分野）		-----	11 ~ 14		
社会（歴史的分野）		-----	15 ~ 22		
社会（公民的分野）		-----	23 ~ 29		
地	図	-----	30 ~ 31		
数	学	-----	32 ~ 38		
理	科	-----	39 ~ 43		
音楽（一	般）	-----	44 ~ 45		
音楽（器	楽合奏）	-----	46 ~ 47		
美	術	-----	48 ~ 50		
保	健	体	育	-----	51 ~ 54
技術・家庭（技術分野）		-----	55 ~ 57		
技術・家庭（家庭分野）		-----	58 ~ 60		
英	語	-----	61 ~ 66		

発行者の番号・略称，及び，教科書の記号・番号，並びに書名は，「中学校教科書目録（平成28年度使用）」（平成27年4月 文部科学省）による。

種 目	国語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	国語 727 827 927	書 名	新編 新しい国語 1 新編 新しい国語 2 新編 新しい国語 3
			東 書				
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された国語の目標に即して、全ての指導事項が網羅され、それに基づく学習目標が明示されている。また、言語活動例もバランスよく扱われている。 ○ 指導目標の実現に向けて主体的・協働的に学べるような、単元を貫く課題解決的な言語活動が提案されており、県の国語科教育の重点事項にも合致している。 ○ 巻頭の「1年間で学ぶこと」や、巻末の「言葉の力一覧」を用い、学習の見通しが持てる。ゲーム仕立ての文法学習等、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されている。 ○ 本編・基礎編・資料編の3部構成で分かりやすい。学習指導要領の指導内容は本編で網羅され、基礎編・資料編で、適宜、深化や拡充が図られるよう工夫されている。 ○ 資料の出所、出典が明示され、内容が充実している。第3学年で震災時の仙台の新聞記者の文章を掲載する等、メディアリテラシー等の今日的課題にも対応している。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語学習で身に付けさせたい知識・技能のポイントが「言葉の力」として、各教材に囲みで明確に示され、3年間で系統的に積み上げていく効果的な配列となっている。 ○ 各単元、教材はまとまった内容であり、教科の目標を踏まえたねらいが「目標」として明確に示されている。「てびき」には、目標に迫る学習の例等が挙げられている。 ○ 本編「学びの扉」と基礎編「学びを支える言葉の力」の活用によって、各領域の教材で身に付けさせたい知識・技能を、段階的に身に付けられるよう配列されている。 ○ 各領域等の指導をバランスよく行えるよう教材の配列が工夫され、分量や区分も適切である。各学校の年間指導計画に合わせて柔軟に扱うことが可能である。 ○ レポートや手紙、スピーチ、多様な話し合い等、普段の生活や他の教科、総合的な学習の時間や、地域で行う体験活動等にも生かせる言語活動例が豊富に扱われている。 						
3 学 習 関 と す 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びを支える言葉の力」では、「話す・聞く」「書く」「読む」技能をどのように高められるかが具体的に示され、生徒が主体的に学べるよう配慮されている。 ○ 社会で必要とされる作文例や発表例が、発想や材料集めの段階から示され、推敲例もあるため、学習の動機付けが明確であり、自主的な学習を促すよう配慮されている。 ○ 名作や古典作品に加え、歴史や科学、話題の作品等、様々な分野の「読書案内」が各学年100冊に及び、生徒の多様な能力や特性、興味・関心に広く対応できる。 ○ 資料編の中に新聞のまとめ方や情報整理の方法が具体的に分かりやすく示され、他教科や総合的な学習の時間にも活用できるような工夫が随所に見られる。 ○ 学習用語の説明や表現を豊かにする文章例が資料編に豊富に記載されている。詩歌や四季を表現する言葉が、挿絵や鮮明な写真と組み合わせられて適切に配置されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は教科書体、タイトルや重要箇所はゴシック体を用いる等、見やすく工夫されている。難解語句には注釈があり、表記・表現も学年の発達段階に配慮されている。 ○ 各単元に案内役のキャラクターが登場し、会話形式で学習のポイントを押さえているため、自主的に学ぶことができ、家庭学習にも対応できるよう工夫されている。 ○ 行間にゆとりがあり、活字も大きく読みやすい。重要箇所が判別しやすいうように罫線や囲みの使い方、色使い、書体等、デザイン・レイアウトが工夫されている。 ○ 図や写真が鮮明で見やすく、文字からの情報をより深める役割となっている。文字と図表のバランスも適切で、学ぶ意欲を喚起するよう工夫されている。 ○ 表紙が厚く、製本も堅ろうで、折り込み部分は丈夫な紙を使用している。生徒の色覚特性に適応するデザインで、再生紙と植物インキを使用し、環境にも配慮している。 						

種 目	国語	発行者の 番号・ 略称	11	教科書 の記号・ 番号	国語 728 828 928	書 名	中学校国語 1 中学校国語 2 中学校国語 3
			学図				
1 記述内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている「国語を適切に表現し、正確に理解する能力を育成する」という目標や指導事項に対応した各学年の学習目標が、的確に位置付けられている。 ○ 「生きる力」の基盤となる「言語能力」を育む意図が明示され、単元を貫く課題解決的な言語活動が展開できるような内容となっている。 ○ 各教材の「学びの窓」には、事前の活動、学習中の読みの視点、学習後の自己評価ができるように、シラバスの構成を配しており、言葉の学習への意欲を喚起する工夫がされている。 ○ 「話すこと・聞くこと」では、学習指導要領の言語活動を踏まえ、インタビュー、プレゼンテーション、パブリックスピーキング、パネルディスカッション等を取り上げ、生活との関連を図った言語活動が基礎・基本から発展へと展開できるように工夫されている。 ○ 単元の構成は、言葉の学習を通して言葉と心の関係を考える教材が充実している。また、教材として取り上げられている文章等の出典も明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5単元【1絆 2生命 3群像 4伝統 5世界】の配列が、学年ごとのサブタイトルを通して、系統的・組織的に編集されている。 ○ 各単元において、「読むこと」の学習の後に「話すこと・聞くこと」、更には「書くこと」の活動が位置付けられており、学習内容が広がったり深まったりするまとまりとなっている。 ○ 単元ごとのテーマが、身近な人間関係から文化、社会、国際関係に至るまでの幅広い対象について系統的に取り上げられ、習得・活用、深化・補充を意図した配列となっている。 ○ 年間指導計画の時数と対応できる教材数、単元構成となっている。 ○ 授業での生徒の学びと生活との関連が色濃く出されており、新聞記事の掲載により、地域の特性も見られる配列となっている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章を読む視点が「発見する読み」というタイトルで明示されており、学び方を習得したり生活と関連付けて活用したりすることができるように配慮されている。 ○ 「富士山の世界遺産認定」や「震災関連記事」等の新聞記事を掲載することを通して、生活との関連で生徒の自主的な学びが成立するよう工夫されている。 ○ 画集の手引き「学びの窓」の掲載により、生徒の多様性への対応が図られている。 ○ 説明的な文章の学習内容から他教科との関連や資料から情報を得たり活用したりすることによる総合的な学習の時間との関連等に配慮されている。 ○ 巻末の文法・語彙・古典等の資料等の掲載が充実しており、学習の手引き「学びの窓」の掲載や図表等も適切に配置されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 太字表現等、字体を工夫して見やすくしている。 ○ ユニバーサルデザインの視点から学習活動の流れや進め方が明示されており、生徒の理解が促され親しみが感じられるよう配慮されている。 ○ 古典の原文は、太文字で読みやすく強調されている。また「言葉の窓」は青色、「活動を考える」は赤色、「情報と表現」は橙色、「文法」は緑色、「漢字」は黄色と色分けされ、見やすくなっている。 ○ 写真やイラスト・図表等の色彩が鮮やかで豊富であり、生徒の思考を助けるものとして適切である。 ○ 表紙の裏の巻頭詩の後ろに、改めて学年ごとに「中学校国語」と記載された仕切りがあり、堅ろうな体裁となっている。また、植物油インクが使用され、環境へも配慮されている。 						

種 目	国語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	15 三 省 堂	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	国語 729 829 929	書 名	現代の国語1 現代の国語2 現代の国語3
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標を踏まえ、各領域の指導事項が、「つきたい力」として冒頭に提示されている。また、各領域に基づく学習目標の設定と振り返りの機会が設けられ、見通しを持って学習に取り組み、自己評価できるよう工夫されている。 ○ 「学びの道しるべ」では、生徒が意欲を持って取り組めるような、多様な課題解決的な言語活動が設定されており、本県の国語科教育の重点事項に対応している。 ○ 自他の敬愛や豊かな情感を育む文学作品や論理的な思考力を培う文章、今日的な課題に関する教材等により、生徒の興味・関心を上げられるよう工夫されている。 ○ 各学年の単元が系統的に配列され、各領域で身に付けた「確かなことばの力」を繰り返し活用しつつ、新たな力を段階的、発展的に習得できるよう工夫されている。 ○ 資料の出所、出典が明瞭で、著者のその他の作品や関連図書も紹介されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3領域1事項における知識・技能の重点が明示され、生徒が見通しを持って主体的に学習に取り組めるとともに、段階を踏んで確実に習得できる配列になっている。 ○ 「読むこと」の教材における「読み方を学ぼう」では、様々な文章を読む上で必要となる「読み方」の視点が発達の段階や学年の目標に応じて設定されている。 ○ 本編では各領域の指導事項を網羅し、その教材と対応した資料編では、身に付けた知識・技能を活用したり発展的な学習を行ったりできるよう配列されている。 ○ 3領域1事項のバランスや関連性を考慮した単元構成となっており、各学校の年間指導計画に広く対応できるような配列になっている。 ○ 学校生活に関する身近な課題から、伝統文化や世界に目を向けたもの等、生徒の生活や地域の実態に広く対応する内容が教材として取り上げられている。 						
3 学 習 関 と す 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章を読む視点が「読み方を学ぼう」というタイトルで明示されており、学び方を習得したり活用したりできるよう配慮されている。 ○ 巻頭の「領域別教材一覧」では、「つきたい力」が領域ごとに整理され、主体的な学習活動が展開できるよう配慮されている。 ○ 生徒の多様な特性に対応できるよう、「私の本棚」を設け、教材文のテーマや著作権に関連する書籍を紹介し、主体的な読書を促すよう工夫されている。また、「読書の広場」として、古典作品に親しめる工夫や情報機器の活用法等が示されている。 ○ 資料編には、話合いの方法、情報の収集・選択・調査・発信等の手法が取り上げられ、他教科や総合的な学習の時間と関連させて活用できるよう配慮されている。 ○ 古典教材では写真や絵巻を提示し、生徒の興味・関心を喚起するよう配慮している。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ タイトルや活字が大きく読みやすい。本文にはカラーの囲みで大切な部分を強調する等の配慮もあり、表現も学年の発達段階が考慮されている。 ○ 古典教材において、単色のグラデーションを背景として用いたり、古文と現代語訳を色分けしたりと、生徒の読む意欲を喚起し内容理解につながるよう配慮されている。 ○ 「読み方を学ぼう」では、「何をどのように読めば力が付くのか」という読みの視点を、見やすい字体と鮮やかな色彩で構成された図解で示すことで、生徒が親しみを感じながら楽しく学習できるよう工夫されている。 ○ どの教材にも、内容に関連した色彩豊かな挿絵、写真、図表がバランスよく掲載され、生徒が興味を持てるよう工夫されている。 ○ 原料や製法に配慮した、環境にやさしい用紙と植物油インキが使用されている。 						

種 目	国語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	17	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	国語 730 830 930	書 名	伝え合う言葉 中学国語1 伝え合う言葉 中学国語2 伝え合う言葉 中学国語3
			教出				
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標に即して、教材の目標とその振り返りが明確に示されている。また、伝え合う力を高めるために、対話について学ぶ教材が充実している。 ○ 学習の確実な定着を図るため、ねらいに対応した自己評価ができる。また、説明的な文章がまとめられた単元では比較読みができ、批評する力の育成にも対応している。 ○ 「書くこと」では、生徒の興味に合った新聞投書記事等が教材化されており、学習意欲を高め、更に、社会への視点を広げていくよう工夫されている。 ○ 小学校からの接続や、高校「国語総合」で取り上げられる作者の作品を集めた単元を設定する等、小・中・高の関連や学習の発展を図るよう工夫されている。 ○ 「蜘蛛の糸」等の名作をはじめ、書きおろし教材等の幅広いジャンルの中から選択されている。資料の出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「読むこと」の学習で文章構成を学び、「書くこと」の学習で構成を考えて意見文を書く等、身に付けた力を活用できるよう内容が組織的、系統的に配列されている。 ○ 単元ごとに「単元扉の言葉」を明記し、何を学ぶかが生徒に分かりやすく示されている。また、ねらいが明確で内容のまとまりがある。 ○ 単元が「習得」から「活用」の学習活動へと展開し、学びが深まるよう配列されている。また、自分の考えを書いたり話し合ったりする課題が適切に設定されている。 ○ 内容の分量、区分とも適切である。巻末の「言葉の自習室」を活用し、年間指導計画の自校化に取り組めるような配列になっている。 ○ 学校行事の案内状や高齢者施設訪問のプレゼンテーション、弁論大会等、生徒の生活や地域の実態に対応した教材が配列されている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習の手引き（みちしるべ）」では課題解決の道筋に沿って学習を進める工夫がされている。「ここが大事」では思考力・判断力・表現力を育む配慮がされている。 ○ 「書くこと」では、モデル作品が掲載されている。生徒の習熟度に対応し、書き方の手掛かりを示し、書く意欲を引き出すよう配慮されている。 ○ 教材ごとに読書案内を掲載し、読書に対する関心を高めている。「学びのチャレンジ」では、生徒の興味・関心や多様な能力に応じ学習が進められるよう対応している。 ○ 学習指導要領「言語活動例」をもとに指導する教材が工夫されており、「職業体験のあとにお礼状を書く」等、総合的な学習の時間との関連にも配慮されている。 ○ 古典教材では、関連する写真や図版等が豊富に掲載され、古典作品の内容の理解を深められるように配置されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「言葉の小窓」「文法の小窓」では、身近な言葉の課題が会話形式の表現で設定されており、学年に応じて適切で、生徒の興味を引きやすい。 ○ 四コマ漫画や吹き出し、イラスト等を取り入れている。生徒が親しみを感じるよう配慮されている。 ○ 落ち着いた色使いで、活字も大きめで読みやすいフォントとなっている。また、写真の色も鮮明で内容に合った画像となっている。 ○ 文章と図表の統一感や一体感、分かりやすさを意識したレイアウトになっている。また、図表は細かいところまで見やすいよう配慮されている。 ○ 印刷にはグリーン電力、再生紙と植物油インキを使用しており、地球環境に配慮されている。 						

種 目	国 語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	3 8 光 村	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	国語 7 3 1 8 3 1 9 3 1	書 名	国語 1 国語 2 国語 3
1 記述内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標を踏まえた学習目標が適切かつ明確に設定されており、言語活動を通して身に付けた言葉の力を生かすことができるよう工夫されている。 ○ 本県の国語科教育の重点事項である「指導内容の重点化を図ること」や「言語活動を生かした学習指導の工夫」が図られるような内容・構成になっている。 ○ 冒頭の「学習の見通しをもとう」に、年間を通した学習内容や身に付ける力が一覧で明示されている。学習の見通しを持たせ、主体的に学ぼうとする意欲を高める工夫がされている。 ○ 教材の最後に「学習を振り返る」「生活に生かす」が設定され、巻末の「資料」も充実しており、発展的な学習にもつなげることができるよう工夫されている。 ○ 多様な作品がバランスよく掲載されており、資料の出所、出典も明示されている。東日本大震災時の人とのつながりをテーマとした教材等も取り上げられている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 領域ごとに「目標」「学習の窓」「学習を振り返る」「次へつなげよう」の学びの手順が示され、効果的に学習が進められるよう配慮されている。 ○ 各単元を通した学習テーマが扉のページに示され、各教材における学習のねらいは、単元のテーマに関連を持たせた内容・配列になっており、まとまりがある。 ○ 身に付ける力や文章の内容を理解するためのポイントが「学習の窓」として示されている。また、基礎的・基本的な事項の習得とその後の発展に活用できる配列となっている。 ○ 内容の分量、領域のバランスが工夫されているため、各校の年間指導計画に柔軟に対応することが可能である。 ○ 教材は、身近なテーマや社会に視点を広げたテーマ等を幅広く取り扱っており、生徒の生活や地域の実態に広く対応するものになっている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のねらいや学習したことを振り返って、次の学習や生活に生かすためのポイントが明示され、生徒が見通しを持って主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 冒頭の「いつも気をつけよう」では、前年度に学習した内容が領域別に整理されており、学習を進める際の意欲付けや生活の中で活用できるよう配慮されている。 ○ 「広がる読書」の中で、多様な作品を紹介しており、読書に親しませるための配慮や、情報社会に参画できる力を培うための教材を扱う等、生徒の多様な能力や特性に対応できる。 ○ 総合的な学習の時間で行う調査活動や、まとめ・発表を行う際に指導できる内容が取り上げられている。「書く」学習では、他教科・領域との関連も図りながら指導できる内容である。 ○ 本文そのものに主眼を置いたレイアウトの中に、適切な写真や色彩豊かな挿絵、ポイントを押さえた図表等がバランスよく配置されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年のキーワードとして、第1学年「確かさ」、第2学年「豊かさ」、第3学年「深さ」が設定されており、表記や表現も適切である。 ○ 本書のための書き下ろしや現代作家の作品等も多いため、生徒が興味を持って学習に取り組める内容となっている。 ○ 国語1では国語2、3よりも一回り大きな活字が用いられている。また、図表のイラストや挿絵も親しみやすいものが用いられる等、発達段階への配慮がなされている。 ○ 教材の世界へ誘うよう、想像を膨らます写真や挿絵が配置されている。また、関連情報も挿入されており、知的好奇心を刺激し学習意欲を高められるものになっている。 ○ 環境に配慮した用紙と植物油インキが使用されており、製本も体裁がよく堅ろうである。 						

種 目	書 写	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 東 書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	書 写 7 3 1	書 名	新編 新しい書写 一・二・三年
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「調べよう」「確かめよう」「広げよう」の3段階からなる「学習の手引き」が示され、学習の流れが一目で分かり、生徒が主体的に学習できるよう工夫されている。 ○ 国際宇宙ステーション等の時事的な内容の横書き手本や、都道府県名、防災に関する内容を取り上げており、社会生活に役立つ学習が展開できるよう配慮されている。 ○ 第1学年導入教材では、整った文字と整っていない文字を比較し考えさせることにより、小学校での既習事項を生徒自身で確認できるよう工夫されている。また、毛筆手本には前向きな意味の文字を取り上げ、生徒の心身の発達を促すものになっている。 ○ 行書では、書くときのポイントを確認しながら学習できるよう「動きのパターン」と「形の特徴」をインデックスにして毛筆教材の近くに示す工夫がされている。 ○ 「書いて味わおう」等の古典作品について、資料の出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楷書、行書、仮名について、点画、筆使い、字形の整え方等、基礎的な事項を過不足なく段階的に学習できるよう構成されている。 ○ 各教材冒頭に「目標」を明示し、各教材末には書き込み式の「振り返ろう」を設け、学習後に自己評価がしやすいよう工夫されている。 ○ 教材が「練習」「資料」「生活に広げよう」の三つに分けられ、基礎・基本の習得から活用までを段階的に学習できるよう工夫されている。 ○ 毛筆教材と関連した文字・語句が硬筆で掲げられ、毛筆と硬筆の学習が無理なく進むよう工夫されており、各学校の年間指導計画に柔軟に対応できるものとなっている。 ○ 第1・2学年では「さんちき」「走れメロス」等、国語で学習する教材を、また、第3学年では志願理由書等を取り上げる等、生徒の実態に即した配列になっている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 手本を見て書く活動だけでなく、書かれたものを比べて考える活動が設けられ、生徒が主体的に考え、学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ 「しょしゃのつぼ」等のコラムや、関連するデジタルコンテンツの利用を示唆するマークが掲載され、文字や書写への関心が高まるよう工夫されている。 ○ 「書写テストに挑戦」「古典から学ぼう」等、巻末資料が充実しており、生徒の興味・関心に応じた学習ができるよう配慮されている。 ○ 「職場訪問での手紙」「授業のノート」「入学願書」等の書き方が取り上げられており、他教科や総合的な学習の時間にも十分生かせるよう工夫されている。 ○ 楷書と行書の両方を掲載した常用漢字表に加え、人名用漢字表も掲載し、生徒が学習や社会生活の中で必要な漢字を探しやすいよう工夫されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楷書や行書ともに、基本的な点画の書き方の定着を図るため、朱墨を用いて、穂先の通る位置が示され、視覚的に理解しやすいよう工夫されている。 ○ 「調べよう」「確かめよう」「広げよう」の3段階の手引きには、筆の運び方をモチーフとした3人のキャラクターを用い、生徒が親しみやすいよう工夫されている。 ○ AB判型のワイドな紙面を採用し、図版を大きくしたり、書き込み欄を増やしたりする工夫がされている。また、カラーユニバーサルデザインを採用している。 ○ 生徒が段階を追ってスムーズに学習できるよう、「調べよう」「確かめよう」「広げよう」の三つの学習ステップを、見開き2ページにレイアウトしている。 ○ 製本は堅ろうで、見開き手本等を使う場合でも開きやすい。また、再生紙と植物油インキが使用され、環境に配慮されている。 						

種 目	書 写	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 学 図	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	書 写 7 3 2	書 名	中 学 校 書 写
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「学習の進め方」を設け、書写学習の意義や学習方法が具体的に明示され、自ら学ぼうという意欲を高められるよう工夫されている。 ○ 学校行事や校外の社会的活動に関わる提示物の例示等がなされ、社会生活に役立ち、文字文化に親しめるよう工夫されている。 ○ 「書写の窓」を各単元末に設け、書の歴史等を示し、書写に対する生徒の興味・関心を引き出すよう工夫されている。 ○ 巻末に発展的な学習内容をまとめて掲載し、「興味のある人は取り組んでみよう」と記載することにより、生徒の興味・関心に応じた学習ができるよう配慮されている。 ○ 「蘭亭序」等の古典作品の資料が多く、出所、出展が明示されており、幅広い知識と教養を身に付けることができるものとなっている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毛筆教材の直後に硬筆教材を配置し、毛筆から硬筆へと系統的に学習できるよう配列されている。 ○ 学習のねらいを明示した単元名を付けて全体を7単元で構成し、3年間の学習内容を見通し、生徒が目的意識を持って学習できるよう工夫されている。 ○ 各学年の導入の単元では、既習内容の復習から始まり、基本的な書写の技能の定着を再度図って新しい学習に入るよう工夫されている。 ○ 一つの目標に一つの毛筆手本が提示され、分量が精選されており、各学校の年間指導計画にも柔軟に対応できるものとなっている。 ○ 第1・2学年で書写の基本的な技能を習得し、第3学年で習得した技能を活用できるよう配列されており、生徒の実態に対応したものとなっている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1・2学年では、それぞれ「確かめよう」を設けて学習内容を整理して明示し、生徒が自主的に学習内容を振り返ることができるよう工夫されている。 ○ 硬筆教材において、教科書の紙面上に直接書き込んで練習する欄が設けられ、手本と生徒自身の文字を比較しやすいよう工夫されている。 ○ 各学年末に、「書き初めをしよう」が設けられ、楷書と行書の手本がそれぞれ提示され、身に付けた書写の技能を選択して活用できるよう配慮されている。 ○ 「聞き取りメモ」や「職場体験学習のお礼状」等、他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮した具体例の紹介がなされている。 ○ 身の回りにある多様な文字を多くの写真を使って紹介している。特に、「臨書を体験しよう」では、文字を拡大して掲載し見やすくするよう工夫されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楷書や行書ともに、朱墨を用いて穂先の通る位置が明示され、基本的な点画の書き方を視覚的に捉えやすいよう工夫されている。 ○ 自己評価欄等に、筆をモチーフにしたキャラクターを登場させることによって、生徒が親しみを感じるよう工夫されている。 ○ 各単元の導入の毛筆教材は、見開き2ページで提示し、書き初め手本については、見開き4ページで提示する等、目的に応じて文字の大きさが工夫されている。また、カラーユニバーサルデザインを採用している。 ○ 毛筆手本では、墨による手本と、かご書きによる手本を上下に配置することにより、生徒がポイントを視覚的につかめるよう工夫されている。 ○ 環境に配慮した紙と植物インキが使用され、製本も堅ろうである。 						

種 目	書 写	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 5 三 省 堂	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	書 写 7 3 3	書 名	現代の書写一・二・三
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材は、生徒が自ら考え学ぶことを意図した学習展開を基本としたものになっている。また、身に付けた技能を社会生活に生かすことができるよう配慮されている。 ○ 書写学習が、国語科の中に位置付けられていることを踏まえ、「話す・聞く・書く・読む」といった言語活動につながる課題が設定されている。 ○ 「ポップ」の例を示したり、既習の詩歌を教材として取り上げる等、書写学習への興味・関心を高める工夫がなされている。 ○ ノートの書き方、テストの解答欄への記入の仕方、ポスター作り、電話のメモの取り方等、書写学習が学校生活に加え、社会生活に生きるような内容になっている。 ○ 第1学年「楷書で書こう」では、平安時代に生まれた平仮名の使用例として「古今和歌集の藤原敏行の歌」を紹介する等、資料等の出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毛筆、硬筆とも3年間を見通し、状況に応じて振り返りながら、系統的に書写学習を行えるような教材配置がなされている。 ○ 各教材の冒頭に、考えさせる課題を設定し、生徒がより主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 楷書から行書につながる学習が、段階的になされるよう教材が配置されている。また、楷書行書一覧表は小・中学校に分けて掲載する等の工夫が見られる。 ○ 書写学習が国語科の授業でなされることを踏まえ、課題が焦点化されている。そのため、各学校の年間指導計画の中で無理なく学習できるように配慮されている。 ○ 「生活に生かそう」の単元を、技能習得の単元の間を設定する等、身に付けた技能がすぐに社会生活の中で活用できるような教材が配置されている。 						
3 学 習 関 と す 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毛筆学習の導入では、薄墨や朱墨を用いて筆脈等の筆使いを示す等、生徒が基礎的・基本的な技能の習得を主体的に行えるよう配慮されている。 ○ 「書写の探検隊」の声を学習のヒントとする等、生徒の自主的な学習を促す工夫がなされている。 ○ 横書きの行のそろえ方を複数示したり、行書にもいろいろな書き方があることを紹介したりする等、生徒が考えて学習に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ ノートの取り方では、理科や社会を例に挙げている。また、総合的な学習の時間で活用できる文書の書き方を示す等、他教科等との関連に配慮されている。 ○ 「生活に生かそう」では、生徒が作品のイメージを持ちやすくするため、挿絵、図表、写真等が示されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毛筆、硬筆とも、手本文字は生徒の発達の段階に合わせ、学習ができるよう配慮されている。 ○ 生徒が自ら考え、課題に取り組むことを意図し、学習の目標に問い掛けの言葉を加える等、表記上の工夫が見られる。 ○ 生徒が、一目で学習のねらいやポイントを理解できるようにフォントを大きくしたり、強調するような文字や色を使用したりする等、カラーユニバーサルデザインに配慮したものになっている。 ○ 文字や穂先の動きを示した図版等、十分なスペースを確保して掲載され、学習のポイントが一目で分かるよう配慮されている。 ○ 製本は堅ろうであり、環境にやさしい用紙と植物油インキが使用されている。 						

種 目	書 写	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7 教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	書 写 7 3 4	書 名	中 学 書 写
1 記 述 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楷書・行書ともに、字形の整え方や運筆の仕方について詳しい説明がある等、学習指導要領の各学年における書写に関する事項を踏まえた内容となっている。 ○ 「文字で心を伝えよう」「学校生活に生かして書く」「書式の教室」等で具体例を示して、書写の学習が、他の教科や社会生活で広く活用できるよう配慮されている。 ○ 第1学年の最初に、小学校で学んだ楷書の筆使いが取り上げられており、小学校書写との関連を意識した内容になっている。 ○ 各学年において、基礎的・基本的な知識・技能を学んだ上で、社会生活で生かせる発展的な学習が掲載されており、学習内容の充実と発展を図る工夫がなされている。 ○ 歴史的なものから現代に至るまでの書に関する資料が豊富であり、出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の冒頭「目的に合わせて書こう」で、書く目的や書く相手、どんな力を身に付けるのかが明示されており、目的意識を持って学習できるよう工夫されている。 ○ 一つの単元が、見開き2ページで扱われており、目標から自己評価まで、見通しを持って学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 「補充教材集」が設けられており、基礎的・基本的な学習を基に、発展的な学習に取り組みせる構成になっている。 ○ 各学年の目次に、身に付けさせたい力が明示され、学習内容の分量も適切であるため、各学校の年間指導計画に広く対応できるよう工夫されている。 ○ 各学年において、学校生活で生かせる学習内容が掲載されており、生徒の生活や実態に対応できるよう配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標・考えよう・生かそう・振り返ろう」という学習の流れが明確に示されているため、生徒の主体的な学習が促される構成になっている。 ○ 学校生活や社会生活でどのように活用できるのか、具体的な場面が設定されており、生徒の学習の動機付けを促す工夫がなされている。 ○ 「補充教材集」と、第1・3学年に「選択課題」が設けられており、生徒の興味・関心や、多様な能力に対応できるよう配慮されている。 ○ 学校行事や総合的な学習の時間、委員会活動等で生かせる書き方が例示されており、身に付けた技能が生かせる場面をイメージできるよう工夫されている。 ○ 写真を用いて、実際の筆の使い方を掲載し、生徒が分かりやすく学習できるような配慮がなされている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朱墨を用い、穂先の動きや運筆を分かりやすくすることで、楷書と行書の違いを明確にしている。 ○ 第1・2学年で職業と関連する内容、第3学年で卒業期にふさわしい内容がそれぞれ掲載されており、生徒の視野を広げるよう工夫されている。 ○ 生徒が実際に書く文字と、ほぼ同じ大きさの活字が使われており、学んだことが社会生活に生かしやすい工夫がなされている。カラーユニバーサルデザインが採用され、見やすいよう配慮されている。 ○ より注目させたい筆使いについて、朱墨で書かれたものを拡大して表示し、見やすく配置されている。 ○ 製本は堅ろうであり、環境に配慮した再生紙と植物油インキが使われている。 						

種 目	書 写	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	3 8 光 村	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	書 写 7 3 5	書 名	中学書写 一・二・三年
1 記 述 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の各学年における書写に関する事項が、学年に沿って系統的に学べるように配慮されており、各単元で学ぶべき内容も焦点化されている。 ○ 「コラム」で、詩や短歌、俳句、古典を楷書や行書でなぞって書く活動が設定され、伝統的な言語文化に親しむよう工夫されている。 ○ 楷書から行書、楷書と行書の調和、それらを生かして社会生活で活用する力を身に付けさせるための学習が、段階的に習得できるように配慮されている。 ○ 「学習したことを生かして書こう。」という学習が設けられており、基礎的・基本的な学習を発展させる工夫がなされている。 ○ 毛筆、硬筆の内容に偏りがなく、楷書と行書を比較しながら学習できるように配慮されている。書体を紹介する資料等の出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「基礎編」「学習編」「資料編」の三つに構成され、「学習編」を軸に相互に参照することで、より効果的な学習を促す工夫がなされている。 ○ 単元の目標が明示されているとともに、「学習の窓」でより具体的な書き方のポイントが掲載されており、学習を深めるための配慮がある。 ○ 「資料編」において、生徒の社会生活に結び付く書き方や、他の教科の学習でも生かせる書き方が例示されており、生徒が効果をイメージしながら学習できるよう工夫されている。 ○ 各学年の国語の学習で使われている文章や言葉が取り入れられており、国語の学習と関連付けながら、年間指導計画に広く対応できるよう配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な技能を習得させるために、硬筆でなぞって書く活動が多く設定されており、生徒の実態に応じて学ばせる工夫がなされている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、単元の目標、学習内容、振り返りが掲載されており、生徒が見通しを持って、より主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 導入の段階で、生徒に行書の特徴に気付かせる活動を設け、生徒が意欲的に学習に臨めるよう動機付けが図られている。 ○ 生徒が技能の習熟に応じて振り返ったり、発展させたりしながら学習を進められるよう、関連している内容のページを提示する等の工夫がなされている。 ○ 総合的な学習の時間等の学習を想定し、「①見つける・集める」「②深める・整理する」「③発信する」の各段階での書き方を例示し、習得した技能の生かし方が分かるよう配慮されている。 ○ 「コラム 文字の歴史を探る」「発展 先人の文字に学ぶ」では、実際の文字を写真で示し、伝統的な言語文化に触れる機会を保證できるよう配慮されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に、筆圧や基本的な点画の筆使いについて、穂先の絵を用いて、向きや力の入れ方を具体的に示し、常に振り返られるよう工夫されている。 ○ 第3学年「1 目的に応じて効果的に書こう」「コラム デザインと文字」では、実際の誌面が写真で提示され、生徒の視野を広げ、興味・関心を喚起するものとなっている。 ○ 点線で筆順・筆脈をたどらせ、朱墨を用いて筆使いの理解を促す等、色使いを工夫して学習の効果を高めるよう工夫されている。また、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ○ 「書写事典」では、常用漢字の楷書と行書が見比べられるようなレイアウトになっている。 ○ 製本は堅ろうであり、環境に配慮した紙と植物油インキが使われている。 						

種 目	社 会 (地理的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 東 書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 理 7 2 5	書 名	新編 新しい社会 地理
1 記 述 内 容 関 与 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的分野や公民的分野との関連が一目で分かるマークが明記されている等、一つの事象を多面的・多角的に考察する力を育むことができるよう工夫されている。 ○ 中学校社会科で習得すべき知識や概念が適切に盛り込まれており、生徒がつまづきやすい事項について丁寧な補足説明が記述されている等、工夫されている。 ○ 視覚的に捉えやすいグラフや印象的な写真資料等も多く、資料をもとに生徒が意欲的に思考・判断・表現できるよう工夫されている。 ○ 資料の読み取り方について具体例が数多く示されており、習得した基礎的・基本的な技能を発展的な学習に生かすことができるよう配慮されている。 ○ 領土や環境等の今日的課題と関連する地理的事象に目を向けさせるよう、公正かつ適切に資料が取り上げられており、それらの資料の出所・出典も明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校社会科との系統性や、歴史・公民分野との関連を図った工夫がなされており、生徒や地域の実態に応じ年間指導計画を作成しやすいよう配慮されている。 ○ 各地域の地理的特色を大観させ、特徴的な事柄と地域的特色を関連付けながら追究する単元構成となっており、地理的な見方や考え方の基礎を養うよう配慮されている。 ○ 「習得」「活用」「探究」の学習サイクルで単元が構成されており、基礎的・基本的な事項と発展的な事項の配列が適切になるよう配慮されている。 ○ 見開き2ページを1単位時間で指導する構成となっており、内容・分量も適切である。また、文章表現が分かりやすく、本文を補完する資料も豊富に盛り込まれている。 ○ 今日的かつ身近な課題を取り上げることで、生徒の関心・意欲を喚起し、主体的に社会参画しようとする意識と態度を養うことができる内容となっている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界的な問題と地域的な問題との対比がしやすいように工夫されており、よりよい社会参画のあり方を幅広い視点で考えることができるよう配慮されている。 ○ 現地の人々へのインタビューという形式のコーナーが設けられており、地理的事象を実感を持ちながら考察できるよう工夫されている。 ○ 巻末に詳しい用語の解説や主な農産物、家畜の写真が示されており、生徒が地理的事象についてより具体的なイメージを持ち学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 防災・減災に関する内容を詳しく取り上げており、震災から学ぶことと関連を図りながら発展的な学習が可能となるよう配慮されている。 ○ 図表、写真等が適切に配置され、資料を活用する学習を促すマークを示す等、資料を読解したり活用したりする能力を育成できるよう工夫されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文が平易な表現で丁寧に記述されており、因果関係や地理的事象の特色が読み取りやすく、生徒が一読して分かる内容となっている。 ○ 資料には情報を読み取る視点を気付かせるキャラクターが登場しており、親しみを持たせるとともに、吹き出しを手掛かりに生徒に気付きを促す等工夫されている。 ○ カラーユニバーサルデザインに配慮し見分けやすい色を使用する等、生徒にとって学びやすくなるよう工夫されている。 ○ 図表等には番号が付けられているとともに、対応する本文にも該当資料の番号が付けられており、生徒にとって本文と資料を関連付けて学習できるよう配慮されている。 ○ 環境に配慮したインキや再生紙を使用し、細かい部分まで読み取れる画像が用いられている。また学習場面を想定し、マーカーペン等も使用しやすい紙質となっている。 						

種 目	社会 (地理的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7 教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 理 7 2 6	書 名	中学社会 地理 地域にまなぶ
1 記 述 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各州や地域の特色，課題を捉える視点や方法が適切に示されており，地理的事象を多面的・多角的に考察し，表現できる内容となっている。 ○ 学習時間のまとまりごとに課題が明示されており，本文や各種資料をもとに，生徒が主体的に問題解決を図ることができるよう工夫されている。 ○ 小学校の学習内容を振り返る内容を設けたり，本文中に地図や図表の見方等を身に付けるための特設コーナーを設けたりする等，生徒の発達段階に応じた工夫がなされている。 ○ 州や地方を概観する内容が導入に設けられ，その後，主題に基づいた地域の特色が中心にまとめられており，段階的に地理的な見方や考え方を養うよう配慮されている。 ○ 日本の領域を大観するための地図を提示し，歴史的経緯を踏まえた適切な記述と併せて，領土をめぐる現状について認識を深めるよう配慮されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「世界」と「日本」の二つの編に全体を分けるとともに，各編が「習得・活用・探究」の学習サイクルで構成されており，学習を段階的に発展，深化できるよう配慮されている。 ○ 世界の諸地域は州ごとに，そして日本の諸地域は七地方に区分されており，特色あるまとまりとして配列されている。また，各配列においては，主題及びねらいが明示されている。 ○ 基礎的・基本的な事項を身に付けるページと，地理的な見方・考え方を深めるページが適切に配列され，基礎的・基本的な事項の確実な習得とその活用を促すよう配慮されている。 ○ 内容の分量や区分が適切であり，資料の読み取り等の作業学習や地域調査等も取り入れられ，各校の年間指導計画に広く対応できるよう配慮されている。 ○ 各地域が抱える課題や伝統・文化を取り上げたコーナーが設けられており，各地域の実態に応じた地理的事象をより身近に捉えられるよう配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のねらいとまとめの視点が見開きページごとに明確に示され，基礎的・基本的な知識や技能等を確実に身に付けさせることができるよう配慮されている。 ○ 各編の第1章には，ワークシートへ直接書き込んだり既習事項を活用し略地図を描いたりする活動が設けられる等，学習への動機付けと主体的な学習を促すよう工夫されている。 ○ 写真やグラフ等の資料を用いて各地方の伝統や特色ある文化が分かりやすく説明されており，伝統と文化を尊重し，我が国と郷土を愛する態度を養うよう配慮されている。 ○ 単元のまとまりごとに学習のまとめが設けられており，学習内容の整理と既習事項を活用して表現する等，他教科等とも関連しながら言語活動を充実できるよう工夫されている。 ○ 身近な地域の調査学習では，必要な視点と方法が「地域調査の手引き」としてまとめられており，他の地域の調査においても活用できるよう工夫されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 難解な用語や補足説明が必要な箇所には注による解説等が設けられており，生徒にとってより分かりやすい内容となるよう配慮されている。 ○ 世界や日本各地域の人々の生活の様子がうかがえる写真が多く掲載されており，生徒にとって自分の生活と比較しやすく，様々な地域の人への親しみも増すよう配慮されている。 ○ 本文はもとより，図表に付された文字も見やすく，カラーユニバーサルデザインを採用する等，生徒にとって学びやすくなるよう配慮されている。 ○ 図表等の大きさが適切であり，本文と関連しやすいレイアウトとなっており，より学習効果が上がるよう配慮されている。 ○ 再生紙と大豆油インキを使用し，印刷にはバイオマスで発電されたグリーン電力を使用する等，環境に配慮されている。 						

種 目	社 会 (地理的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 6 帝 国	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 理 7 2 7	書 名	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的な見方・考え方の基礎を養いながら国土や異文化への理解を深めたり、基本的な用語や概念を確実に習得したりする内容となっている。 ○ 本文の見開きページの右下には生徒が自ら思考・判断・表現するよう問いが設けられ、言語活動を毎時間繰り返し行うことができるよう工夫されている。 ○ 臨場感あふれる写真を通して日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、各地の地域的特色を捉えられる本文やコラムがバランスよく盛り込まれている。 ○ 記述は分かりやすく図解等による補足もあり、基礎的な内容の定着に配慮されている。また、主体的な課題解決を促すページもあり、学習の発展にも工夫されている。 ○ 日本の領域について図や写真を用いて丁寧に説明されている。また、日本の領土に関する今日的課題も分かりやすく明記されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的な見方・考え方の基礎を養いながら、我が国の国土や世界の諸地域に関する地理的認識を養えるよう、系統的に配列された構成となっている。 ○ 各地の地域的特色を習得できるように、各節が「導入写真」「自然環境」「生活・文化」「産業」「学習をふりかえろう」と、構造化された構成になっている。 ○ 「日本の諸地域」には、特設ページ「地域を探ろう」が設けられ、様々な視点から地域をながめ多面的・多角的に考察できるよう配慮されている。 ○ 1単位時間が見開き2ページで行う構成になっており、内容や分量も適切で、各校の年間指導計画に対応できるよう配慮されている。 ○ 自然災害と防災に取り組む活動が本文やコラムで説明されているとともに、地域の実情を踏まえ、主体的に防災について考え行動するよう工夫されている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の目標を示した「学習課題」と、学習内容の復習ができる「確認しよう」「説明しよう」が記載され、見通し・振り返りの学習がしやすいよう配慮されている。 ○ 本文ページには「学習課題」「確認しよう」「説明しよう」が設けられ、予習・復習がしやすくなっている。また、単元のまとめも復習しやすいよう配慮されている。 ○ 「技能をみがく」コーナーが随所に設けられ、資料の具体的な見方や考え方、表現方法等、地理学習の基礎的・基本的な技能が習得できるよう配慮されている。 ○ 「防災」「環境」「共生」といった、社会が直面する課題を取り上げたコラム「羅針盤マーク」が随所に設けられ、公民的分野や他教科との関連に配慮されている。 ○ 統計、挿絵、写真、図表等は鮮明、正確かつ適切であり、相互の関連が図られる等効果的に活用できるよう工夫されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 丁寧に分かりやすい本文になっている。また、平易な表現にする等、生徒の発達段階が考慮されている。 ○ 生徒にとって親しみやすいキャラクターが各ページに配され、発問や気付き等、学習の手掛かりを提示することで、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、文字をはっきりと読み取ることができるようにする等、誤読を防ぐよう配慮されている。 ○ 各見開きは、本文、資料、側注等、統一したレイアウトとなっており、学習内容の定着を図るよう「見通し、本文、振り返り」という展開で構造化されている。 ○ 製本は堅ろうである。また、古紙や環境に優しいフレッシュパルプを用いたり、印刷には国産米を原料とするインキを使用したりする等、環境に配慮されている。 						

種 目	社 会 (地理的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6 日 文	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 理 7 2 8	書 名	中学社会 地理的分野
1 記 述 内 容 関 与 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的事象に対する関心を高めたり、考察しながら地域的特色を理解させたり、地理的認識を養ったりするように工夫され、地理的技能の習得にも配慮されている。 ○ 学習課題を明確に示し、主体的な学習がしやすくなるように配慮されている。振り返りでは、キーワードを提示し、学習内容がまとめやすくなるよう工夫されている。 ○ 地理的特色や地域を概観できる地図・写真等の資料が多く、生徒の興味・関心を高め、自然や歴史、伝統や文化との関連を、生徒が捉えやすいよう工夫されている。 ○ 基礎・基本の定着を図る場面と思考を広げる場面が示され、学習内容の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。 ○ 日本の領域について歴史的経緯や写真を使い詳細に示し、我が国の対応と同時に関係国と交流する資料も掲載する等、国際社会の平和に向けた取組も明示されている。 						
2 組 織 関 与 す る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 概要をつかみ、視点をもとに地域的特色を追究していくという構成になっており、我が国や世界の諸地域に関する地理的認識を養えるよう系統的に配列されている。 ○ テーマや主題を設けて行う学習をはじめ、学習課題も教科等の目標を踏まえており、関連した資料が掲載され、学習内容のまとまりにも工夫されている。 ○ 学習内容を確実に理解するように学習のまとめコーナーを設けたり、発展的な学習が展開できるようにトピックスコーナーを設けたりする等、適切に配列されている。 ○ 単位時間が見開き2ページで行う構成になっており、内容や分量も適切で、各校の年間指導計画に対応できるよう配慮されている。 ○ 各地域が抱えている課題と関連するような特設コーナーを設け、身近な事象として捉えさせ、社会に参画しようとする意識や態度を養えるよう工夫されている。 						
3 学 習 関 与 す る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な地理的事象について考え、判断し、表現することを促す学習活動を設けて、生徒の思考力・判断力・表現力等の育成を図ることができるよう工夫されている。 ○ 学習活動の導入となる資料とそれに関連する発問が設定され、生徒の興味・関心を高めたり学習の動機付けをしったりするよう配慮されている。 ○ 今日の課題を提示し、習得した知識を活用して生徒が主体的に考察できるような内容を取り上げて、生徒の多様な能力の育成に対応できるように配慮されている。 ○ 環境問題とその保全、持続可能な社会、災害と防災等、発展的な学習が可能な内容も取り上げられ、他教科や総合的な学習の時間の学習との関連にも配慮されている。 ○ 地図や写真、統計資料を読み取る力を育むコーナーが設けられ、地理的技能の習得を可能にするよう工夫されている。 						
4 表 現 関 与 す る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読み方の難しい漢字にはルビが振られたり、○○市の表記の下には県名が振られたりする等、生徒にとって丁寧で分かりやすい記述になるよう配慮されている。 ○ 大きな図版を取り入れたり、社会的事象を生徒が身近に感じるよう写真資料を多く掲載したりすることで、学習の気付きや深まりにつなげられるよう工夫されている。 ○ 活字の大きさや字体は読みやすく鮮明であるとともに光沢を抑える等、生徒の健康にも配慮されている。 ○ 本文中に資料の番号が表記されており、資料との関連を分かりやすくするよう工夫され、その大きさや配置、バランス等にも配慮されている。 ○ 環境への影響が少ないインキや再生紙を使用したり、大判化に伴う重量化を抑えるために軽い紙を用いて軽量化を図ったりする等の配慮がされている。 						

種 目	社会 (歴史的分野)	発行者の 番号・略称	2 東 書	教科書の 記号・番号	歴史 729	書 名	新編 新しい社会 歴史
1 記述内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 我が国との関係に視点を置いて、古代から現代まで様々な外国の歴史が取り上げられており、我が国と諸外国の歴史が深く関わっていることを理解できるよう配慮されている。 ○ 導入部分に小学校の学習内容を振り返る課題を設定し、学習意欲を高めながら歴史の流れを捉え、中学校の歴史学習にスムーズに移行できるよう配慮されている。 ○ 国宝や重要文化財・世界遺産等、代表的な文化遺産を数多く掲載して、我が国の伝統文化について生徒の興味・関心を高めることができるよう配慮されている。 ○ 「深めよう」では、「足尾銅山と田中正造」等、民衆の視点で捉えた内容を取り上げ、日本の歴史を多面的・多角的に考察する態度を育てることができるよう工夫されている。 ○ 領土に関する問題に関しては、歴史的背景と経緯を「歴史にアクセス」で取り上げ、領土をめぐる問題を正しく理解し、解決に向けた意識を高める工夫がなされている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ エネルギー問題等、地理的分野と公民的分野が相互に関連する内容については、「分野関連マーク」を付け、多角的・多面的な学習ができるよう工夫されている。 ○ 見開き1単位時間の構成は、「学習課題」が明示され、丁寧で分かりやすい本文で構成されている。最後に学習内容をまとめる「確認」で定着を図る工夫がなされている。 ○ 単元末の特設ページでは、各時代の特色を掘り下げる課題（「深めよう」）が示される等、生徒の興味・関心に対応できるよう配慮されている。 ○ 見開き2ページで1単位時間を原則とし、各章の配分も適切で標準授業時数130時間のうち、5時間の予備時間があり各校の年間指導計画にも対応できる構成になっている。 ○ 地域の歴史を調べる活動においては、「調査の達人」の中で言語活動のポイントが示される等充実しており、生徒の生活や地域の実態に応じて対応できるよう工夫されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章のまとめや小単元のそれぞれで用語について説明したり、字数制限を設けてまとめたりする等、言語活動を多く取り入れる工夫がなされている。 ○ 各時代の導入では、小学校社会科の学習内容や資料を掲載して問題を提示しており、既習内容の復習ができるとともにこれから学ぶ時代をつかみやすくするよう配慮されている。 ○ 時代の特色を捉える方法を各章末のページに掲載し、他教科でも使える表現方法を身に付けることができるよう工夫されている。 ○ 歴史の調べ学習をする方法が5項目で示されており、具体的なメモの取り方や聞き取り調査をする際の質問例を提示する等、分かりやすく説明されている。 ○ 「歴史スキルアップ」を設け、時代や年代の読み取り等、基礎的な知識・技能を身に付けられ、その中の「ワーク」で確認テストができるよう工夫されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分かりやすい文章表現となっており、柴西（ようさい・えいさい）のように二通りの読み方も記載する等、幅広い視野から歴史的事象を確実に理解できるよう配慮されている。 ○ 本文を囲むように資料が掲載されている。また、資料には見開きのページごとに番号が振られ、対応する本文にも同じ番号が付いており、生徒が見やすいよう工夫されている。 ○ 十分な行間にルビがゴシック体で記述されており、すべての生徒に対して読み取りやすいよう配慮されている。 ○ 復元写真や想像図等を豊富に掲載したり、サイズの大きな資料にはスケールを付したりする等、歴史を実感し具体的にイメージを持てるよう配慮されている。 ○ 製本が堅ろうで、3年間の使用にも耐え得るつくりとなっている。また、再生紙や植物油インクを使用し、地球環境にも配慮されている。 						

種 目	社会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	17 教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴史 730	書 名	中学社会 歴史 未来をひらく
1 記 述 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料や写真・絵を豊富に掲載し、学習課題が具体的な問い掛けや手掛かりとして設定されており、多面的・多角的な考えを深め、歴史に対する理解が進むよう工夫されている。 ○ 単元を貫く課題に迫るように小単元の学習課題が設定され、時代の移り変わりを大観する年表・地図・説明等を用いて課題を解決することで、言語活動にも取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 小学校で学んだ歴史上の人物や文化遺産等を振り返る作業活動が位置付けられており、小学校の社会科学習と中学校の歴史学習が円滑に接続できるよう配慮されている。 ○ 各章の扉のページに日本・中国・朝鮮の時代名や王朝名が記載されており、それぞれが密接に関係し東アジアの歴史が形成されてきたことを理解できるよう配慮されている。 ○ 領土に関する今日的課題やその歴史的経緯について、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養いつつ、地図や写真によって認識を深めるよう工夫されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各節の内容を「世界の動き」「日本の動き」の順で配列し、時代背景を大観し、世界の歴史と関連付けながら捉えられるよう工夫されている。 ○ 生徒の興味・関心を高めるタイトルと学習課題によって、主体的に学習に取り組む姿勢を促すよう工夫されている。 ○ 各章末に民衆の生活や時代の転換点を生きた人物に関する特設ページが設けられ、生徒の多様な学びや発展的な学習にも対応できるよう配慮されている。 ○ 近現代の歴史について、質・量ともに充実させ、重点的に取り扱っている。とりわけ、近代を充実させ、一つの章として取り上げる工夫がなされている。 ○ 時代ごとに郷土の伝統・文化への関心を高めるテーマを紹介したり、「地域調査の手引き」として地域調査の手法について詳しく紹介したりしている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各小単元の最後には、学習課題に対応した「ふりかえる」という課題が設定されており、生徒一人一人の思考力・判断力・表現力を高める工夫がなされている。 ○ 小単元のタイトルに「望月の欠けたることもなしと思えば」や「クリスマスまでには帰れるさ」等、印象的な言葉を用い、生徒の興味・関心を高めるよう配慮されている。 ○ コラムやテーマ学習のページも充実しており、興味や関心を広げたり、歴史を様々な角度から掘り下げたりする等、生徒の多様な興味・関心等に応じた学びへも対応している。 ○ 点字や干支、昔の単位や地域調査の手法の紹介等、社会科だけにとどまらない課題を見付け、解決するための配慮がなされている。 ○ 本文の流れに即して「読み解こう」のコーナーを設け、写真・絵・地図・グラフ・文書等の様々な資料を読み取り、読解力が身に付くよう配慮されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時代ごとにページが色分けされており、時代区分が分かりやすくなっている。また、小単元ごとに「時代スケール」が設けられており、視覚的に捉え易くするよう配慮されている。 ○ 親しみやすいキャラクターや分かりやすい言葉で解説や学習課題を提示している。 ○ 教科書の大きさを活用し、写真や資料が豊富に配置されている。カラーユニバーサルデザインを取り入れ、全体的に落ち着いた色調で誰にでも見やすい教科書となっている。 ○ 見開き2ページが1単位時間の授業に対応していることで、学習の流れや見通しがつきやすくなり工夫されている。 ○ 再生紙と植物油インキを使用し、印刷にはグリーン電力を使用する等、地球環境に配慮されている。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	3 5 清 水	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 7 3 1	書 名	中 学 歴 史 日 本 の 歴 史 と 世 界
1 記 述 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的分野の目標を踏まえ、我が国の歴史の大きな流れが世界の歴史を背景にして理解できるようにするため、世界史的な背景が東アジア史や欧米史を中心に記述されている。 ○ 資料の扱い方や読み取り方、調べ方等の調査発表活動に関する記述が充実しており、思考力・判断力・表現力等を育成できるよう配慮されている。 ○ 小学校での学習を踏まえ、序章において時代ごとの特色を把握し、まとめるための具体的方法「Yチャート」が提示されている。 ○ どの章においても「日本の動き」、「世界の動き」、「文化の特色」、「人物」の観点でまとめる学習が設定されており、歴史の流れを大きく捉えられるよう工夫されている。 ○ 領土に関する今日的課題について、他国を尊重し国際理解に努める態度を養うとともに、恒久的平和のために能動的に取り組む姿勢を培うよう配慮されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各節の構成が「世界の歴史」、「日本の歴史」の順で配列されており、世界の歴史を背景として我が国の歴史が理解できるような配列になっている。 ○ 見開きページの冒頭に掲載されている学習課題と最後に掲載されているまとめが対応しており、まとまりがよく、学習内容が定着するよう工夫されている。 ○ 具体的で平易な文章表現により基礎的・基本的な事項の定着を図るとともに、特設ページ「歴史のとびら」により、発展的な学習にも対応する配列となっている。 ○ 出来事や人物のコラム、特設ページ「もっと知りたい歴史」等が充実しており、各校の年間指導計画に対応して深化が図られるよう工夫されている。 ○ 身近な地域の歴史を調べる学習の手順が詳しく記載されており、生徒や各地域の実態に合わせて学習できるよう配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入やまとめが章（時代）ごとに設定されており、生徒が各時代を大観したり、自らの言葉で表現したりできるよう工夫されている。 ○ 学習内容に応じて、「深めよう」、「調べよう」等の学習課題が設定されており、生徒の自主的な学習を促すよう工夫されている。 ○ コラムや特設ページにおいて、歴史の中に見られる興味深いテーマや身近な話題を取り上げており、発展的な内容にも対応できるよう工夫されている。 ○ 巻頭に世界地図を掲載して歴史上の出来事を示したり、課題解決のためのページを設けたりしており、他分野や総合的な学習の時間との関連が図られるよう配慮されている。 ○ 図版を読み取るためのヒントが問い掛けの形で示されていたり、世界遺産や国宝に表示がされていたりする等、生徒が主体的に学習へ取り組めるよう工夫されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が読み取りやすい易しい文章で記載されている。また、近代から現代までを丁寧に記述することにより、現代の諸問題について考える力を養えるよう配慮されている。 ○ 歴史上の人物の氏名にルビを振ったり、文章を平易で分かりやすく記したりする等、生徒が学習に取り組みやすいような配慮が随所に見られる。 ○ ユニバーサルデザイン・フォントを使用し、文字の大きさも適切である。また、時代ごとにページを色分けし、時代区分が把握しやすいように色彩も工夫されている。 ○ 図表は見開きページ中央の本文を囲むようにレイアウトされ、配色や形にも配慮がなされており、学習効果を高められるよう工夫されている。 ○ 再生紙および環境に配慮したインキを使用している。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発行者の番号・略称	4 6	教科書の記号・番号	歴史 7 3 2	書 名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
1 記述内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「人々の生活」や「文化」に焦点を当てたり、東アジアとの関係に触れたりしながら、多面的・多角的に課題を追究させ、各時代の特色を捉えることができるよう配慮されている。 ○ 歴史学習の基礎的・基本的な技能を習得させるため「技能をみがく」が設置されており、資料の見方、歴史の考え方等、思考・判断・技能が身に付くよう配慮されている。 ○ 身近な歴史を調べる学習では、地域の祭りを事例として取り上げる等、伝統文化に対する興味・関心が高められるよう配慮されている。 ○ 過去の様々な人々の日常生活の営みや努力・工夫を知ることを通して、生徒がより良い社会の創造に参画しようとする態度を身に付けさせることができるよう配慮されている。 ○ 領土に関する問題については、特設ページを設け、現在に至るまでの歴史的な経緯が理解できるように配慮されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「羅針盤」マークのコラムや「人物コラム」等、学習内容に関連した資料が豊富で、歴史への興味・関心を高めながら、歴史の大きな流れを把握できるよう内容が配列されている。 ○ 各章、各節のねらいが明確で、歴史的分野の目標の一つである「時代を大観し、時代の特色を捉える」学習を効果的に進められるよう工夫されている。 ○ 「確認しよう」、「説明しよう」のコーナーが見開きの右ページに設けられ、基礎的・基本的な知識の確認から、発展的な学習まで取り組めるよう配慮されている。 ○ 内容、分量ともに適切で、各所に「歴史をさぐる」を設置し、各校の年間指導計画に合わせながら、学習が進められるよう配慮されている。 ○ 地域の視点から各時代の歴史の側面を紹介した「地域史コラム」が設けられており、地域の実態に合わせて広く活用できるようになっている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的な見方・考え方を育成するための作業を各単元の導入に「タイムトラベル」として設け、時代のイメージを持たせながら、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 歴史をより身近に感じさせるため、歴史に足跡を残した人物の努力する姿や考え方を取り上げ、生徒の興味・関心を引き出し、自主的に学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 課題をつかみ、調べる、考える、発表する、振り返るという学習活動となっており、生徒の多様な能力を引き出すよう工夫されている。 ○ 社会の形成に関わってきた様々な人々がどのように努力してきたかを気付かせ、調べさせる課題が設定されており、総合的な学習の時間との関連にも配慮されている。 ○ 学び方の手立てが示されていたり、挿絵、図表、写真が時代の特性に応じて配置されたりしており、生徒が興味を持って学習できるよう配慮されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章表現が平易で、語句の説明や解説が理解しやすい。また、人物や地名等にはルビが振られており、全学年の生徒に対応した表記となっている。 ○ 各時代を生きた人々の努力と生活が身近に感じられるような人物コラムが多数掲載されており、歴史を学ぶ魅力を感じることができるよう配慮されている。 ○ ユニバーサルデザイン・フォントが使用され、文字は読みやすく、大きさも適切である。また、識別しやすい配色となっている。 ○ 見開きにおけるデザイン、グラフ、地図等、課題に応じて適切な大きさに配置されている。また、本文と関連が図られ、学習効果を高めるよう配慮されている。 ○ 紙には古紙やフレッシュパルプを使用していたり、インクには国産米の米ぬかを原料としていたりする等、環境に配慮されている。 						

種 目	社会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴史 7 3 3	書 名	中学社会 歴史的分野
1 記 述 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的事象に関する関心を高め、多面的・多角的に考察し、我が国の歴史に対する理解と愛情を深めるとともに、その発展に寄与する態度を育てることができるよう配慮されている。 ○ 他分野との関連を図りながら系統的・発展的な指導が可能な内容であり、思考力・判断力・表現力を伸ばし、問題解決を図る態度を育てる指導に対応する内容となっている。 ○ 人物中心に学習した小学校での学習内容を踏まえて時代を大観する内容となっており、発達段階に応じて生徒自ら意欲的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 個々の歴史的事象に深入りすることなく、各時代の特色をまとめる内容となっている。さらに基礎・基本をもとに主体的に発展的な学習に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 領土に関する歴史的背景並びに日本政府の立場については、「現代史+α」で具体的に解説している。また、資料等の出典は本文中や巻末に明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各時代の学習は、導入、本文、時代の転換、各時代の特色という流れになっており、生徒の思考に沿って理解を深めることができるよう配慮されている。 ○ 歴史的分野の目標を踏まえて、各編に適切な学習課題が設定されている。さらに時代の転換や各編のまとめを行うページも設定されており、学習しやすくまとまっている。 ○ 各編、各時間に学習課題が設定されており、学習内容を把握しやすく構成されている。また、各時間に学習内容について考え、判断し、表現する活動を取り入れている。 ○ 学習指導要領に沿った内容、分量となっている。応用力の定着を促す「とらえよう！時代の転換」等、発展的学習を行う特設ページもあり、各校の年間指導計画に広く対応できる。 ○ 時代ごとに新たな発掘成果や、史跡・文化財・人物を積極的に紹介しており、生徒が歴史を身近に感じながら地域の歴史を調べる手順を学び、通史学習に取り組むことができる。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各時間に学習課題が設定され、習得すべき基礎的・基本的な知識が明示されている。また、習得した知識を活用してまとめができるよう工夫されている。 ○ 豊富な資料や特設ページをもとに、生徒一人一人が、興味・関心や特性に応じて発展的な学習に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 各章末に「歴史を掘り下げる」等の特設ページが設けられ、生徒一人一人が歴史的事象に興味・関心を持ち課題解決に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 防災・減災、資源・環境、平和や命の尊さ等に関わる先人の働きを積極的に取り上げ、歴史学習を通し、自分たちの生き方に生かしていく態度の育成を促すよう配慮されている。 ○ 資料等の読み取りにおいては視点が提示されており、生徒の資料活用能力を高めるよう工夫されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分かりやすい文章表現となっており、語句の説明や解説等が必要に応じ記載されている。また、必要に応じてルビも振られており、全ての学年の生徒に対応する表記となっている。 ○ イラストや図版等が多く取り入れられており、生徒が興味・関心を持って、主体的に学習に取り組むよう配慮されている。また、随所に歴史スケールを掲載する工夫もなされている。 ○ 本文の活字は大きめに設定され、ルビはゴシック体を用い、読みやすい工夫がなされている。また、色彩についても華美な表現はなく、目にも優しく表現されている。 ○ 図版が大きく見やすく配置されており、図版と関わりのある本文の語句等には図版番号が振られている。写真は鮮明に印刷されており、情報を得やすくなっている。 ○ ワイド判で大きく見やすい体裁で、カラーユニバーサルデザインの観点を考慮した紙面となっている。また、環境等への影響が少ない植物性インキや再生紙が使用されている。 						

種 目	社会 (歴史的分野)	発行者の 番号・ 略称	225	教科書 の記号・ 番号	歴史 737	書 名	新版 新しい歴史教科書
1 記述内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国家及び政治や文化の発展に尽した人物等を多く取り上げ、その取組や努力について資料を用いて考察させ、我が国の歴史に対する理解を深められるよう工夫されている。 ○ 各時代の重要用語を「100字用語解説」としてまとめ、基礎的・基本的な事項の定着が図られ、辞書的な使い方もでき発展的な内容にも対応できるよう工夫されている。 ○ 本文及び「もっと知りたいコラム」において先人の業績や逸話を多く取り上げ、歴史上の人物の生き方や当時の状況について興味・関心を高められるよう配慮されている。 ○ 古代までの日本では、本文及び特設ページにおいて神話を多く扱い、日本の伝統と文化についての理解を深められるよう工夫されている。 ○ 領土に関する今日的課題については、これまでの経緯と現状を本文及び注釈で具体的にまとめている。また、日本をとりまく国際状況は生徒にも分かりやすい内容で説明している。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事実の列挙ではなく、歴史的事実の因果関係が明確に記述されている。それにより一つ一つの歴史的事実を、歴史の大きな流れの中で理解しやすくするよう工夫されている。 ○ 読み進めながら学習の要点を押さえられるよう構成が工夫されている。また、探究的な学習を進めながら基礎的・基本的な内容が確実に定着できるよう工夫されている。 ○ 小単元においては、見開きごとに基礎的・基本的な内容の定着が図られるよう構成されているとともに、まとめでは言語活動を取り入れており、発展的な課題も適切に配列している。 ○ 時代ごとの要点が押さえられており、扱う分量も適切で、発展的な課題には「もっと知りたいコラム」等で対応できる等、各校の年間指導計画に活用できるよう配慮されている。 ○ 各資料では生徒が住んでいる地域に関連する内容が取り上げられており、地元の歴史を関連付けて学習できるよう配慮されている。 ○ 「コラム」では、日本の国名の由来、文化や人物等を詳しく紹介しており、興味を持って歴史学習に取り組めるよう工夫されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各ページに用語のまとめや説明をさせる活動を取り入れており、言語活動の充実が図られている。これにより学習内容の理解を深められるよう工夫されている。 ○ 各時代の導入において、その時代の象徴的な写真や絵図を示している。また、この章で学習する内容に関連する設問を提示し、興味・関心を高める工夫がなされている。 ○ 本文を補う注釈が欄外に示されており、難しい内容も平易な文章で説明しており生徒の理解を助けるのに効果的なものになっている。 ○ 歴史について調べる様々な方法を紹介し、実例を挙げながら様々な用途に対応できるよう工夫されている。 ○ 挿絵、図表、写真等を使って、学習内容を深めるよう配慮されている。また、資料の補足説明も簡潔で分かりやすい文章になっており、理解を深めやすくなっている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平易な文章表現になっており、生徒が主体的に読み進めることができるよう配慮されている。 ○ 「もっと知りたいコラム」等でさらに発展的な内容を取り上げており、生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。 ○ 字の大きさも適切でルビはゴシック体で記述されており、小さな文字でも読みやすいよう工夫されている。 ○ 開いた時に圧迫感がなく、シンプルな構成になっている。資料をバランスよく配置しながら余白も適度に残しており、生徒が読みやすい構成になるよう配慮されている。 ○ 紙質は丈夫であり、教科書を開いた時に安定感がある。また、環境への配慮もされている。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 7 育 鵬 社	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 7 3 5	書 名	[新編] 新しい日本の歴史
1 記 述 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的事象に対する関心を高め、資料等を活用して多面的・多角的に課題を追究し、我が国の歴史の流れに対する理解を深め、国民としての自覚を育てるよう配慮されている。 ○ 思考力・判断力・表現力を伸ばし主体的に問題解決を図る態度を育てるため、言語活動の充実を図ることができる特設ページ等が豊富に設定されている。 ○ 歴史上の人物等に焦点を当て、その苦労や努力について気付けながら我が国の歴史に対する理解を深めることができるよう工夫されている。 ○ 各時代に設定された学習課題を踏まえ、時代の特色を明らかにしながら我が国の歴史に対する理解を深めることができるよう配慮されている。発展的学習にも対応している。 ○ 領土に関する歴史的背景及び日本政府の立場については、コラムを設け詳しく記述されている。また、資料等の出典は本文中や巻末に明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 我が国の歴史について系統的に配列されており、我が国の歴史が大きな流れで捉えやすくなるよう配慮されている。 ○ 各章、各節のねらいと内容のまとまりは、歴史的分野の目標と内容を踏まえており、各時代の特色をつかみやすいように構成されている。 ○ 見開きページごとに学習課題が設定されており、学習内容を把握できるように構成されている。また、まとめを行う課題により、思考力・判断力・表現力を育むよう工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な知識の定着を図ることができる内容や分量である。さらに応用力の定着を促す「課題学習」等の特設ページが設けられ、各校の年間指導計画に広く対応できる。 ○ 地域の歴史的な偉人や、各地域の文化遺産が多く紹介されており、地域について興味・関心を高めるとともに、郷土を愛する態度を養うことができるよう工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページごとに学習課題が設定され、習得すべき基礎的・基本的な知識や考え方が把握しやすい。また、習得した知識を活用し主体的にまとめられるよう配慮されている。 ○ 各種の図版等、豊富な資料をもとに、本文に対する理解が深まるよう配慮されている。また、「学習のまとめ」等のページを設け、生徒の自主的な学習を促す工夫がなされている。 ○ 「歴史ズームイン」や「このころ世界は」等、視点を変えたページを特設しており、思考力・判断力・表現力等の育成を図る発展的な学習にも対応できるよう配慮されている。 ○ 各時代を代表する日本や世界の文化遺産等が写真で紹介されており、生徒の興味・関心を高めることができるよう配慮されている。 ○ 各章の導入に、その時代を感じ取ることができる絵図や写真とその解説を掲載し、次に学ぶ時代について主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平易な文章表現となっており、語句の説明や解説等が必要に応じて記載されている。また、必要に応じてルビも振られており、分かりやすい表記となっている。 ○ イラストや図版が豊富で特設ページも多く、生徒が興味・関心を持って、主体的に学習に取り組むよう配慮されている。 ○ 本文の活字の大きさは適切で、重要語句・重要人物は、本文・索引ともに太字のゴシック体で表記されている。また、ルビはゴシック体を用い、読みやすい工夫がなされている。 ○ 図版が大きく見やすく配置されている。また、ページ上部の絵や写真資料等が掲載されている部分については、本文と色分けすることで、本文が読みやすい体裁となっている。 ○ ワイド判で大きく見やすい体裁で、カラーバリアフリーへの配慮がされている。また、再生紙や植物油インキを使用し、環境にも配慮されている。 						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発行者の番号・略称	2 2 9	教科書の記号・番号	歴史 7 3 8	書 名	ともに学ぶ人間の歴史
1 記述内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の歴史を背景に歴史の大きな流れを理解させたり、前の時代と比較させたりすることで、時代の特色や時代が転換する姿を理解できるよう配慮されている。 ○ 各部に設定されてある「まとめ」には、学習内容を振り返りながら、言語表現活動を通して歴史的事象を多面的・多角的に考察する力が身に付くよう配慮されている。 ○ 小学校の学習を振り返りながら調べ学習の方法を体得できるよう工夫してあるとともに、原始・古代から現代にかけての内容も、生徒の発達段階が踏まえられたものとなっている。 ○ 「学習内容の構造化と焦点化」を重視して各テーマが設定されており、歴史の具体的場面や時代を生きる人々の姿を通して、学習内容を充実させるよう配慮されている。 ○ 東アジアとの関係に重点を置くとともに、北東アジアにも生徒の目を向けさせ、より広い視野で多様な見方ができるよう工夫されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史の大きな流れが理解できるように配列されているとともに、近現代の学習を重視した内容となっている。 ○ 各時代の特徴をつかませるために、各部・各章において、伝統や文化を生み出した人々に焦点を当てる工夫がなされている。 ○ 絵画資料、写真、文書、新聞、統計資料等から、課題をつかみ追究できるよう工夫されており、発展的な課題も配置されている。 ○ 基礎的・基本的な知識の定着を図る適切な内容となっている。また、各校の年間指導計画に広く適合するよう工夫されている。 ○ 地域の遺跡や文化財を随所で取り上げたり、「地域の博物館で調べる」学習活動を設けたりして、身近な地域の学習が行えるよう配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文を読み進め図版を読み解いていくことにより、問いや疑問を持ちながら生徒が主体的に学習できるよう配慮されている。 ○ 生徒が興味・関心を持ちながら自由な発想で課題や疑問を追究していけるように、「その時代に生きる人々の姿」に焦点を当てるよう工夫されている。 ○ 多彩で興味深い本文や図版等をもとに、発展的な事項にも対応して学習が進められるよう工夫されている。 ○ 地域の遺跡や文化財を随所で取り上げるとともに、「地域の博物館で調べる」を特設ページとして記載し、総合的な学習の時間との関連が図られるよう工夫されている。 ○ 図版の中に世界史教材を多様に設定することにより、より広い視野で、多様な見方ができるよう配置が工夫されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平易で分かり易い表現となっている。また、小学校の歴史学習を踏まえて世界の歴史を含む120のテーマが設定されており、学年に応じ学習が進められるよう配慮されている。 ○ ルビが適切に振られている。また、歴史上の人物を内容の中心的な教材として取り上げることで、生徒が興味や親しみを持ちながら学習できるよう配慮されている。 ○ 各章の扉ページでは世界地図の上に世界の状況を視覚的に表示したり、裏見返しでは「歴史地図」を設定し日本全体を捉えさせたりと、見やすくする工夫が随所にある。 ○ 豊富な図表等が見開きページの中に配置されており、レイアウトやバランスが適切に構成されている。 ○ 製本は体裁がよく堅ろうである。また、再生紙を利用し、植物油インクで印刷する等、環境にも配慮されている。 						

種 目	社会 (公民的分野)	発行者の 番号・略称	2 東 書	教科書の 記号・番号	公民 929	書 名	新編 新しい社会 公民
1 記述内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 我が国の諸課題を、多面的・多角的に考察し、基礎的・基本的な知識・技能を定着させることを通して、公民としての基礎的教養を培うことができるよう配慮されている。 ○ ディスカッションやディベート、プレゼンテーション等の学習方法を提案し、言語活動の充実を図ることができるよう工夫されている。 ○ 中学生の活動場面や日常生活に関連する身近なトピックを豊富に取り上げ、自分の生活する社会への関心や、より良い社会の形成に参画する意欲や態度が高まるよう工夫されている。 ○ 学習内容を精選し、知識、概念、技能が活用されるような問い掛けで示された学習課題に取り組みさせることで、探求的な学習になるよう工夫されている。 ○ 領土に関わる問題は、我が国の領土について正しく理解し、解決に向けての意識が高まるように記述され、国土や歴史に対する理解と愛情が深まるよう配慮されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新聞やテレビ等で目に触れることが多い「国の政治」の学習を通して、民主政治の仕組みを押さえた上で、「地方の政治」の学習を展開する等、学習内容が系統的に配列されている。 ○ 単位時間ごとに短時間で行える言語活動を設定し、学習内容をまとめたり、各単位を通して習得した知識や技能を活用する学習活動を設定したりする等の配慮がなされている。 ○ 「導入」と共通の題材を使った「まとめ」を設け、言語活動に連続性を持たせ、導入活動を生かした単元のまとめができるよう工夫されている。 ○ 標準授業時数100単位時間のうち5単位時間の予備時間が設けられ、各校の年間指導計画に広く対応できるよう配慮されている。 ○ 各単元の最初に、小学校社会科の学習事項や、中学校の地理・歴史的分野の教科書に掲載された写真を位置付け、学習が円滑に接続できるよう配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ キーワードや共通点、相違点、資料の読み取りや話し合いの仕方等、調べ学習を行う際の手法を豊富に紹介し、公民学習や社会生活に必要な技能を習得できるよう配慮されている。 ○ 小学校で学習した用語や資料、地理・歴史で共通した写真を章扉ごとに掲載し、学習内容を振り返らせ、公民学習を7年間の社会科学学習として押さえる等の配慮がなされている。 ○ 「公民にチャレンジ」は、ウェビングやランキング、ディスカッション等、生徒が主体となって行うアクティブ・ラーニングに係る活動が数多く取り入れられている。 ○ 今日的な教育課題である「主権者教育」「情報モラル」「キャリア教育」「消費者教育」等を取り上げ、生徒に主体的に考えさせる教材が豊富に掲載されている。 ○ 各見開きに、キャラクターの吹き出しで「導入資料」を読み取る視点を提示したり、学習活動を促す「ためしてみよう」等を設けたり、学習活動が円滑に進むよう配慮されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平易な記述に加え、図表や写真等で視覚的にも理解できるよう工夫されている。また、重要事項やつまづきやすい事項は、用語解説で簡潔な補足説明を加える等、配慮されている。 ○ グラフでは凡例をできるだけ使わず、直接示されている。情報が多い図表では、線種や太さを変えたり模様を付加したりする等、情報を確実に識別できるよう配慮されている。 ○ 使用している文字の大きさや書体は適切で、ルビは読み取りやすいゴシック体が採用されている。 ○ AB判を採用し、写真やイラストは見やすい紙面構成である。また、本文と資料との対応関係が「図番号」で示されており、生徒の思考に即した構成となるよう工夫されている。 ○ 環境に配慮した植物油インキが使用されるとともに、針金綴じを用いて製本する等、堅ろうで長時間の使用にも耐え得るものとなっている。 						

種 目	社会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	17	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民 930	書 名	中学社会 公民 ともに生きる
1 記 述 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代社会に対する関心を高め、様々な社会的事象について多面的・多角的な見方により考察し、公民としての基礎的教養を培うことができる内容となっている。 ○ 生徒も社会を形成する市民の一人であることを自覚させるために多様な資料が用いられ、主権者として積極的に社会に参画する態度を培うよう配慮されている。 ○ 学習課題を簡潔な問い掛けで示し、生徒が興味を持って探究的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 「現代につながる伝統と文化」では、科学や医療分野における進歩、日本人の宗教観や年中行事の意義等を取り上げ、文化の多面性に触れられるよう工夫されている。 ○ 日本の領土問題に関わる写真や地図を掲載し、主権国家の意味や国際関係について考えられるよう配慮されている。また、資料の出所・出典も明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 政治学習は「人間を尊重する日本国憲法」「私たちの暮らしと民主政治」の二つの章で構成され、憲法、基本的人権、平和主義、立法、行政、地方自治が系統的に配列されている。 ○ 各章の最初のページには様々な活動に取り組む中学生の写真が使われており、その章で何を学習するのかを生徒が把握し見通しを持って取り組めるよう工夫されている。 ○ 各章末に、「学習のまとめと表現」が設けられ、基礎的・基本的な学習内容を振り返る問題と表現力を培う課題が配列されている。 ○ 全6章がバランスよい分量で区切られており、各校の年間指導計画に広く対応できるものとなっている。 ○ 「防災」「情報通信技術」「少子高齢社会」「文化の多様性」等が自分の生活とどのように関わるのかを幅広く取り上げ、生徒の生活や地域の実態に広く対応するものとなっている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文に対応する資料の番号が記されていることで、どの資料に注目すればよいか分かりやすく、基礎的・基本的知識の習得ができるよう工夫されている。 ○ 写真資料が豊富に掲載され、その多くに中学生が参加している姿が映し出されており、社会の一員として積極的に活動する態度を培うよう配慮されている。 ○ ディベート、シミュレーション、プレゼンテーション等、様々な表現活動のテーマが設定されており、言語活動の充実が図られるよう工夫されている。 ○ 国内外における人と人との交流を写した写真も多く、社会のどの場面に目を向ければよいかを知ることができ、総合的な学習の時間のテーマ設定の参考となる等、配慮されている。 ○ 巻頭に教科書の使い方が明示され、学習の進め方を知ることができる。また、挿絵、図表、写真等は適切に配置され、社会情勢の多様さを理解させる資料にも活用できる。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の文章表現は平易で理解しやすく、重要な語句については巻末に用語解説があり、生徒の理解を助ける分かりやすいものとなっている。 ○ 図表や写真資料はバランスよく配置されており、生徒が学習内容を理解する上で視覚的な助けとなる配置となっている。 ○ 活字の大きさが適切で生徒が読みやすい文章となっている。また、全体的に淡い色が多く、全編を通して落ち着いた色彩となっている。 ○ 関連のある複数の図表等が適切に配置され、生徒が政治や経済の仕組みを多面的に理解する助けとなっている。 ○ 製本は体裁がよく堅ろうである。また、印刷にはバイオマスで発電されたグリーン電力や、再生紙・植物油インキを使用し、環境への負荷を少なくするよう配慮している。 						

種 目	社 会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	3 5 清 水	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民 9 3 1	書 名	中 学 公 民 日 本 の 社 会 と 世 界
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代社会の課題と人権尊重を柱に、未来社会における「公民」としての資質を養うよう工夫されている。 ○ 「もっと知りたい公民」「深める公民」において、思考力・判断力・表現力を伸ばす学習を主体的に進められるよう工夫されている。 ○ ねらいや課題が簡潔明瞭に記述されており、学習に取り掛かりやすく、学習の内容やポイントが分かりやすくなるよう工夫されている。 ○ 現代社会の課題と人権尊重をもとに構成されており、系統性があり学習内容の充実と発展が図られるよう工夫されている。 ○ 資料の出所・出典が明示されており、領土や現代社会の課題に関する資料も客観的で適切である。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代社会の課題や地球規模の課題を序章と終章に配置することで学習の系統性を図り、学習の効果が上がるよう配慮されている。 ○ 題材ごとのねらいが「～だろうか？」という問い掛けになっており、生徒が課題意識を持って学習に取り組み、その解決に結び付くよう内容が組織されている。 ○ 本文及びそれに付随する資料で基礎的・基本的事項を習得し、「深める公民」で発展的な学習を行うことができるよう工夫されている。 ○ 現代社会の特徴、政治、経済の内容がバランスよく配列されており、各校の実態に応じて年間指導計画が作成できるよう配慮されている。 ○ 各章には、生徒の生活や実態を踏まえた具体的な事例が配列され、個人と社会のつながりや個人や企業の経済活動の仕組み等の理解を深められるよう工夫されている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最終單元には、学習の集大成として「卒業論文を書いてみよう」が配置されおり、基礎的・基本的な知識やそれらを総合的に活用する学習となるよう配慮されている。 ○ 各編の扉に学習内容と関わる人物の業績や言葉を取り上げて生徒の興味・関心を高め、学習の動機付けとなるよう配慮されている。 ○ 本文への注釈の付記や豊富な巻末付録等によって、個に応じた学習が進められるよう配慮されている。 ○ 現代社会の課題や人権尊重について考える資料、課題が豊富であり、他教科や総合的な学習の時間との関連を図りやすいよう配慮されている。 ○ 見開きページの両脇に本文を補う資料や補足説明を配置し、本文と関連付けながら学習に取り組むことができるよう配慮されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の記述が、「～である。」「～している。」等の簡潔な表現となっており、学習内容が捉えやすくなるよう工夫されている。 ○ 写真、イラスト、グラフ等がバランスよく配置され、イラストの吹き出しによって学習への関心が高まるよう工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、資料の配色も華美にならないよう配慮され、見やすくなるよう工夫されている。 ○ 各ページにおける資料の配置や量、図版の大きさは、本文の内容や分量とのバランスが適切である。 ○ B5判サイズで扱いやすく、再生紙と一部に環境に配慮したインキが使用されている。 						

種 目	社会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 6 帝 国	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民 9 3 2	書 名	社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして
1 記述内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の仕組みや現状に対する関心を高め、なぜその仕組みが必要か、その仕組みによってどのような影響があるのか等、意義や背景を理解できるよう配慮されている。 ○ 中学生も他者との関わりの中で生きていることを認識し、他者の立場で物事を考えたり、相手に共感したりできるよう配慮されている。 ○ 学習課題が簡潔で分かりやすい問い掛けで示され、生徒が興味・関心を持って学習に取り組み、基礎的・基本的な内容を習得できるよう配慮されている。 ○ 持続可能な社会について考えるために、レポート作成の手順が段階的に示され、結論に至るまで生徒の活動を支援するよう配慮されている。 ○ 領土問題については、歴史的経緯だけでなく、今後の解決に向けた方向性を探る等、多面的に取り上げている。また、資料についても出所・出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 政治学習は、「民主主義について考えよう」等、4章構成となっており、民主主義、憲法、国政、地方自治の順番で系統的に学習できるよう配列されている。 ○ 各部の最初に「学習の前に」があり、その中の各章・各節に対する見通しを持つことができるよう工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な事項を身に付けさせる課題と、「トライアル公民」のように生徒に深く考えさせる課題が適切に配列されている。 ○ 「私たちの民主政治」と「私たちの経済活動」がそれぞれ4章構成となっており、分量・区分ともに適切で、各校の年間指導計画に対応できるものとなっている。 ○ 身近な事例や社会の最新の動きを資料として取り入れており、生徒の日常生活との関わりで考えることができるよう配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章末に「学習をふりかえろう」があり、その中の「確認しよう」では基礎的・基本的な知識の確認が、また「説明しよう」では思考力を培うことができるよう配慮されている。 ○ 「クローズアップ」において具体的な事例を取り上げる等、生徒の興味・関心を引き出すとともに、生徒が教材と実社会を結び付けて学習に取り組めるよう工夫している。 ○ 重要な語句には関連する資料番号と解説のマークがあり、それらが本文の近くにあることで、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 実社会の動きやそこで活躍する人々の声が掲載されており、幅広くかつ身近な事象に関心を持たせることができるため、総合的な学習の時間とのつながりが期待できる。 ○ 生徒に注目させたい資料が、見開き2ページの上部に本文の内容と対応するよう配置され、効果的に学習が進められるよう工夫されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文については平易な文章が用いられ、読みにくい漢字にはルビが振られており、生徒が読みやすい表現となっている。 ○ 経済等、抽象的な概念が多いページにおいては、分かりやすいイラストや写真等を用いることにより、生徒が実感を伴いながら理解できるよう工夫されている。 ○ 本文等では、ユニバーサルデザインフォントを使用することにより、生徒が文字を読みやすくなるよう配慮されている。また、全編を通して見やすい色使いとなっている。 ○ 図表は、ある程度大きさが揃えられ、それらの配置も本文の内容に沿っているため、生徒にとって本文を理解する助けとなっている。 ○ 製本は体裁がよく、堅ろうである。また、印刷には米ぬかからつくられるライスインクを使用する等、環境への配慮がされている。 						

種 目	社 会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6 日 文	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民 9 3 3	書 名	中学社会 公民的分野
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象への関心を高めること、事象を多面的・多角的に考察させること、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させること、主体的な社会参画を促すこと等への配慮がされており、公民的資質の基礎を養うための工夫が見られる。 ○ 地理的分野、歴史的分野の学習と関連する資料を掲載し、地理、歴史、さらに小学校での学習との系統性・発展性が図られている。 ○ 全体を通じて、「持続可能な社会」「主体的な社会参画」の視点で編集され、生徒に身に付けさせたい力が適切で明確である。 ○ 少子高齢化、情報化、グローバル化等の現代社会の特徴を的確に捉えており、具体的な資料を用いて考えさせ、生徒の将来に生かすことができるよう工夫されている。 ○ 出所・出典が明記され、領土、伝統文化、防災等に関する内容も適切である。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の配列が、現代社会の特色、政治、経済、国際社会の課題の順になっており、系統的・発展的に学習を進めやすい構成となっている。 ○ 章や題材ごとに学習課題が明記されており、学習の見通しが持てるよう工夫されている。 ○ 題材ごとに、「学習の確認と活用」が設定されており、基礎的・基本的な事項の学習と活用の学習が明確になっている。 ○ 各章の分量や内容構成のバランスが適切で、様々な実態の学校に対応できる構成になっている。 ○ 巻頭の「夜の地球」の衛星写真、防災や福祉に関する具体的資料によって、公民学習の意義と必要性を捉えさせ、様々な地域の課題に対応できるよう配慮されている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「情報スキルアップ」で基礎的・基本的な資料活用能力を高めるための工夫、「チャレンジ公民」で対立と合意、効率と公正を踏まえた思考力・判断力・表現力を高めるための手法や視点を紹介する工夫がされている。 ○ 「アクティビティ」コーナーにおいて、身近で具体的な事象を基に考えさせる課題が設定され、生徒の経験や興味と結び付けて学習を深められるよう工夫されている。 ○ 「ナビ」において、社会的事象への関心を高めるとともに、学習の見通しが持てるよう工夫されている。 ○ 「チャレンジ公民」では、問題解決的な課題を提示し、他教科等での学習を活用しながら学習を進められるよう配慮されている。 ○ 本文と資料の関係が適切であり、学習が円滑に進むよう配慮されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は平易で分かりやすい表現となっており、読みにくい漢字にはルビが振られる等、生徒が学習に円滑に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 人権の学習において、紙面に点字を用いたり身近なバリアフリーを紹介したりして、社会生活への関心と社会参画の意識を高めるための工夫がされている。 ○ カラーユニバーサルデザインや行間隔の工夫によって、誰にでも読みやすい体裁になっている。 ○ 資料の配置場所や大きさが適切で見やすく、吹き出しによって学習のねらいに迫るよう工夫されている。 ○ 植物油インキと再生紙を使用し、光沢を抑えた目に優しい印刷が用いられ、環境や健康に配慮されている。 						

種 目	社会 (公民的分野)	発行者の 番号・ 略称	225	教科書の 記号・ 番号	公民 927	書 名	新しい公民教科書
1 記述内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国民主権を担う公民としての基礎的教養を養い、社会の諸問題に着目し自ら考えようとする態度が培われるよう、記述内容に配慮がなされている。 ○ 基礎的・基本的な内容から発展的な内容へと系統的に配置され、対立と合意、公正と効率等を具体的に取り上げ、思考力や判断力等を育てるよう工夫されている。 ○ 国家の役割や国民の権利が捉えやすく配置され、生徒が取り組みやすいよう工夫されている。また、生徒が様々な角度から物事を考えられるよう構成されている。 ○ 各章では、基礎的・基本的な事項の理解を図るよう工夫されている。また、終章では各章の学習を進展させ、持続可能な社会の形成者としての態度等を培うよう工夫されている。 ○ 領土をはじめとする現代社会の諸問題を具体的に取り上げ、複数の考え方が併記されている。また、資料の出所・出典が適切に明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史的な国家の誕生から国民の権利、国民の平等、政治参加等と発展する学習ができるよう配列され、基礎的な内容から複雑な社会の課題を学習できるよう工夫されている。 ○ 取り扱うべき内容が適切に配置され、65に構成された單元には、見出しの下に問い掛けが示されており、学習のねらいが明確になるよう配慮されている。 ○ 各章では、基礎的・基本的な学習ができるよう構成されている。また、「もっと知りたい」21のシリーズでは、主体的に学習しようという意欲を高められるよう配慮されている。 ○ 序章、終章と5つの章による構成は、実態に応じ各校において年間計画を作成することができるよう配慮されている。 ○ 国家の誕生から国民の権利、国民の平等を取り扱うことに関しては、生徒が取り組みやすい配列となっている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 單元ごとに見出しと学ぶ内容が示され、必要な資料が適切に配置されている。また、補説の文章が適切で、基礎的・基本的な知識とともに資料を活用する技能、主体的な学びが行われるよう工夫されている。 ○ 現代社会の諸問題が適切に取り上げられ、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。 ○ 各章末の「学習のまとめと発展」では、自らの文章表現で取り組むよう構成され、自ら思考し、判断し、表現していくよう工夫されている。 ○ 公民教育に関連した史実が確かめられるよう配置されているほか、科学とは何か、芸術とは何か等、教科の枠を超え横断的・総合的に学習ができるよう工夫されている。 ○ 学習するために必要な挿絵や図表が、適切に配置されている。また、ディベートを取り上げ、公民として議論していく力を育てるよう工夫されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 説明が必要な内容には補説がなされ、理解できるよう工夫されている。また、ルビが適切に振られていることで、読みやすくなるよう配慮されている。 ○ 単元の見出しや示された学ぶ内容は、分かりやすく表現されている。また、章ごとに色分けされ、活用しやすくなるよう配慮されている。 ○ 本文を補説する文章はやや小さめの文字サイズであり、重要な語句やまとめの文章は太字で表現され、読みやすい。使用された色彩は落ち着いており、読みやすさに配慮されている。 ○ 本文を中心に必要な図表や補説の文章が適切に配置され、本文と関連付けて考えることができるよう配慮がなされている。さらに、図表や写真が厳選され、紙面の統一性が感じられる。 ○ 製本は、体裁がよく堅ろうである。 						

種 目	社 会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 7 育 鵬 社	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民 9 3 4	書 名	[新編] 新しいみんなの公民
1 記述内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権や法規等の意義を理解させるとともに、今日的な課題に対する関心を高め、その解決に自ら考え取り組もうとする態度を育てられるよう配慮されている。 ○ 自分の人生と公民の学習内容との関わりについて知り、勤労を重んずる態度を養うとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度が養えるよう配慮されている。 ○ より広く、深く学べるようなコラムが設けられている。また、図表には、適宜、理解を深めるための解説を示す等、資料活用のための工夫がなされている。 ○ 国際情勢や安全保障問題等、国際政治を踏まえ社会的事象を多面的・多角的に考察できるよう、内容が工夫されている。 ○ 領土に関わる問題は、政府見解を要約して紹介しながら、地理・歴史的分野における学習の成果も踏まえて記述され、自ら考えようとする態度を育てられるよう配慮がなされている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決型の学習過程である「つかむ」「調べる」「まとめる」の流れを明確にし、生徒が興味を持って取り組み、基礎的・基本的な知識等を確実に習得できるよう工夫されている。 ○ 各章では、身近な事象を活用して意欲を高めることに配慮した導入となっている。その上で、基礎的・基本的な事項を習得し、章末で社会参画を促すよう配列が工夫されている。 ○ 「鉛筆マーク」や「考えよう」といった各箇所に配置された設問は、学習段階に応じた多様な言語活動になっており、習得した知識・技能が活用できるよう工夫されている。 ○ 単位時間が見開き2ページ構成となっており、内容・分量が適切である。また、「深めよう」「やってみよう」等の学習課題を、柔軟に指導計画に取り入れられるよう配慮されている。 ○ 導入に当たっては、公民の学習内容と自分自身の人生との関わりに目を向けられるよう工夫され、自分と社会との関わりを認識し公民を学習する意欲を高める配慮がなされている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとの「学習のまとめ」に取り組むことにより、毎時間を通して生徒の思考力・判断力・表現力が育めるよう配慮されている。 ○ 「何を学ぶのか」が明示され、生徒が見通しを持ちながら学習を進めるよう工夫されている。また、ディベートやプレゼンテーション等の力も身に付けられるよう配慮されている。 ○ アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた発展的な課題が随所に設けられ、生徒が課題の発見と解決に向けて、主体的・意欲的に学べる学習課題が配置されている。 ○ 「男女の平等」「家族の価値」「ともに生きる」「裁判員になって」等、豊富なコラムを設け、正義と責任、平等、自他の敬愛と協力等の道徳的態度を養えるよう配慮されている。 ○ 概念的な内容を学習する單元では、適宜イラスト等を用いて表現したり、難解な法律用語には補足を付けたりする等、生徒の理解を助けるための配慮がなされている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平易な言葉で制度やしぐみ、社会的事象の内容や事象間のつながり等が丁寧に説明され、生徒が学習内容を理解しやすいよう工夫されている。 ○ 図版資料には見開きごとに「通し番号」が付けられ、学習を進める中で生徒が確認しやすいよう配慮されている。 ○ 固有名詞等には、適宜、ルビが振られている。また、ルビにはゴシック体を用い、誰にでも読みやすくなるよう配慮されている。 ○ A B判のため、図表等は、本文の周囲に写真や図版、補足説明等が左右対称に配置されているだけでなく、大きく掲載され、生徒の興味・関心を促すよう工夫されている。 ○ 環境への負荷の少ない再生紙と植物油インキが使用されている。また、光沢を抑えた目に優しい印刷が用いられている。 						

種 目	地 図	発行者の 番号・ 略称	2 東 書	教科書 の記号・ 番号	地 図 7 2 3	書 名	新編 新しい社会 地図
1 記述内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の内容に沿った資料が示されており、地域的特色をとらえるとともに、異文化に対する理解を促し尊重する態度を養う配慮がなされている。 ○ 地理的分野だけでなく、歴史的分野、公民的分野に関する資料もバランスよく示されており、中学校社会科で求められる基礎・基本の定着を促す内容となっている。 ○ 地図帳の活用方法が詳しく示されており、発達段階に応じた様々な調査学習に対応できる内容となっている。 ○ 基本資料とテーマ資料が区別されており、各地域の特色ある写真やグラフ等の図表が取り上げられ、発展的な学習として取り組むことに適した内容となっている。 ○ それぞれの地域的特色を調べるために必要な資料がバランスよく示されており、災害や領土問題等の今日的課題にも適切に対応できる内容となっている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理的分野の教科書の構成に沿って、世界、日本の順で地図・各種資料、統計資料が配列されており、授業と併せて活用することで学習効果が高められるよう配慮されている。 ○ 地図や統計資料は、世界の各州や日本の地域ごとのまとまりで見やすく掲載されている。また、単元のねらいに効果的に迫るために、資料が精選されている。 ○ 教科書の内容と連携し、本文や資料を補完する資料が掲載されていることで、社会科で習得すべき事項の定着が図られるよう配慮されている。 ○ 内容や分量は適切であり、各地域・テーマごとにバランスよく各種資料が掲載され、地域調査等も取り入れて、各校の年間指導計画に広く対応できるよう配慮されている。 ○ 日本の諸地域の区分方法について、数種類の例を示してから七地方に区分しており、地方ごとに生活に密着したテーマ資料が掲載されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の各段階で必要となる資料が明確に示されており、教科書での知識・技能の習得、それを活用した思考力・判断力・表現力の育成を促す工夫がされている。 ○ ボーキサイトやウラン等の写真資料が豊富に示されており、基礎的・基本的用語が具体的にイメージできるように配慮され、生徒の学習意欲の喚起に結びつくよう工夫されている。 ○ 主題図や統計資料へのカラーバリアフリーの配慮、読み取りやすい書体を用いた記述等、誰もが読み取りやすく活用しやすいよう工夫されている。 ○ 「環境問題・環境保全」「生活・文化」「地震・自然災害」等、他教科や総合的な学習との関連を図りやすい資料が豊富に掲載されている。 ○ 地形的特色を示す鳥瞰図、民族や文化の多様性が一目で分かる写真、農業形態を略化した挿絵等、地理的事象を視覚的に理解できるよう工夫されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 都道府県名や市町村名のすべてにルビが振られ、図表の表題も分かりやすい表現を使う等、工夫されている。 ○ 生徒の関心の高い身近なテーマの資料を多く掲載しており、生徒の発達段階に応じた興味・関心を高めるよう工夫されている。 ○ 内容や目的に応じて適切な色彩や文字、字体で表現され、国名や都道府県名の赤文字を白く縁取りする等、カラーバリアフリーに配慮されている。 ○ 視覚的効果が高い判型を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字も鮮明で、見やすく、印象的な紙面構成になるよう工夫されている。 ○ 製本は糸かがりであり、使いやすくかつ堅ろうであり、紙面が光って見えにくくならないよう目に優しい用紙を使用している。また、再生紙と植物インキを使用し、環境に配慮されている。 						

種 目	地 図	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 6 帝 国	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 図 7 2 4	書 名	中 学 校 社 会 科 地 図
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本・世界の自然、産業、歴史等、様々な情報を幅広く取り上げ、考察しながら知識や教養が身に付くよう配慮されている。 ○ 「重要な歴史地名・事項」、「国際機関への参加国」等、他分野でも活用できるような記載内容になっており、地域的特色も捉えやすいよう工夫されている。 ○ 大観させることを重視して、鳥瞰図や大観図、衛星写真を掲載し、世界・日本の諸地域に興味・関心を持って活用できるよう配慮されている。 ○ 内容の充実を図るために必要な基礎的・基本的な資料が押さえられており、地域の新しい動向を捉える資料から発展的な学習を促すよう配慮されている。 ○ 世界、日本の地域的特色について視覚的に捉えやすい資料が多く、領土問題や防災といった今日的課題に対しても適切に対応できるよう明記されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的に地理の学習指導要領の配列に沿っており、かつ歴史的分野や公民的分野の学習でも活用できる内容となっている。 ○ 学習指導要領の地理的分野に合わせて、世界は州ごと、日本は地方ごとに構成されている。資料は、地域的特色に偏らずに理解できるよう題材が選定されている。 ○ 地図の見方等、基本的な内容が分かりやすくまとめられている。また、個に応じた指導ができるよう、補充的な学習や発展的な学習等への配慮や工夫がされている。 ○ 授業の実態に応じ幅広い学習に対応できるように、また、地域的特色が偏らずに理解できるよう、多角的・多面的に資料が選定されており、分量も適切である。 ○ 「防災」「環境」「結びつき」のテーマを持たせた資料図が特設されており、現在の社会が直面する課題及び持続可能な社会について考えられるようになっている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 気候、言語、産業、宗教、日本との結び付き等の基礎的・基本的な資料がしっかり押さえられ、地域の新しい動向を捉える資料も掲載されている。 ○ 「やってみよう」を随所に設けて、補充、発展的な学習へ自主的に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 巻末の「資料図」や「統計」から、関連性について考察する力や新たな関連に気付く力、図や表にまとめる力等の育成に広く対応できるよう工夫されている。 ○ 防災、文化、自然環境に関する内容を充実させて、他教科や領域の学習に活用しやすいよう配慮されている。 ○ 地図帳の構成や地図帳の基本的な見方や使い方を分かりやすく解説したページが設けられている。また、地域的特色が捉えやすい挿絵や写真等も配置されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本各地の地図は立体感あふれる地図表現となっており、国土や地域のくらし・産業が理解しやすくなるよう、土地利用等をとらえやすくする工夫がされている。 ○ 随所に修学旅行等の研修学習で活用できる資料が掲載され、親しみやすく主体的に地図を活用できるよう配慮されている。 ○ 「とめ」や「はらい」等が正しい字形となる書体が使用され、地名にはすべて「ルビ」を付し正しく読めるように配慮されている。また、印刷は鮮明である。 ○ 幅広の判型（A B判）を生かし、地域を学ぶ際に最も適切な図取りとなるよう掲載の大きさに配慮されている。 ○ 丈夫な製本仕様であり、古紙および環境に優しいフレッシュパルプが用いられている。環境に優しい植物油インキが使用され、環境保全に配慮されている。 						

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学 7 2 8 8 2 8 9 2 8	書 名	新編 新しい数学1 新編 新しい数学2 新編 新しい数学3
			東 書				
1 記述内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章のはじめに数学的活動が設定されており、学習内容への理解を深め、数学を学ぶ意義や有用性を実感できるように工夫されている。 ○ 目次では、関連する既習事項を示し、巻末では、既習事項を系統的に振り返って確認できるように工夫されている。また、側注の「ちょっと確認」では、算数段階からの既習事項のうち、定着率が不十分なものを取り上げ、生徒の主体的な取組を引き出すように工夫されている。 ○ 節等のはじめに学習課題（めあて・ねらい）が示されており、生徒が学習に対して見通しを持ち、学ぶ意欲を高め、主体的に取り組めるように工夫されている。 ○ 側注に「ちょっと確認」や発展的な内容の「もっと練習」を配置することによって、学習内容の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ おうぎ形の弧の長さや面積を「平面図形」で取り上げ、再度「空間図形」で扱う等、スパイラルな学習が行えるように設定され、学習の効果が上がるように工夫されている。 ○ 各章とも、学習のはじめに学習課題が示され、数学的活動（Q）、「例」、「たしかめ」、「問」、「基本の問題」、「章の問題」と内容が進むにつれて学習が深まるよう、まとまりのある配置になっている。 ○ 基礎的・基本的な事項の定着には「基本の問題」を、発展的な内容の習得には「もっと練習」、「やってみよう」が配置され、実態に応じて活用できるように工夫されている。 ○ 章末問題を2段階に区分し、巻末に問題を多く配置する等、各学校の年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 構成が生徒の実態に応じて対応することができるように工夫されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学科の特質を生かした言語活動を取り入れることができる「学び合い」のページを設定し、数学的な思考力や表現力の育成を図るようにしている。 ○ 既習事項を利用した数学的活動を設定し、学習への意欲を高められるようにしている。また、巻末には「補充の問題」があり、主体的に学習を進められるよう工夫されている。 ○ 生徒の特性に広く応じるため、教科書の内容に対応した ICT コンテンツが準備され、視覚的な理解への配慮もされている。 ○ 実社会での数学の活用を巻末等で紹介し、職業観が培われるように配慮されている。 ○ 学年ごとにノートの記事例が紹介され、数学的な思考力や表現力を伸ばすように配慮されている。また、関数分野では、表、式、グラフを相互に関連付けて理解するための図表を第1学年から取り入れている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末に「日本の伝統、文化と数学」、「数学を切りひらいた日本人」、「和算」、「科学や技術をささえる数学」等の資料を載せたり、切り取って操作活動をすることができる付録を設けたりする等、生徒が数学に親しみや魅力を感じるように配慮されている。 ○ すべての生徒の色覚特性に適應するように配色やデザインがされており、文字も見やすく、読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。 ○ 文節改行を取り入れ、生徒が読みやすいように配慮している。また、図表は、表の値やグラフ等を、生徒が教科書に直接書き込みやすい大きさとなっている。 ○ 横から見ると、章ごとにインデックスが設けられている。再生紙・植物油インキを使用しており、環境へ配慮されている。 						

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 大日本	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学 7 2 9 8 2 9 9 2 9	書 名	新 版 数 学 の 世 界 1 新 版 数 学 の 世 界 2 新 版 数 学 の 世 界 3
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的活動について「教科書の使い方」で詳しく説明され、生徒が数学的活動を意識して授業に取り組みながら、学習内容の理解を深めることができるようになっている。 ○ 各領域に実社会で活躍する人物による数学を学ぶことへのコラムがあり、生徒が数学を学ぶ意義や必要性に触れることができるよう工夫されている。 ○ 巻頭の「はじめに」では、学年に応じて「考えることの楽しさ、数学のよさ、論理的な考え方」の記載があり、発達段階を考慮し学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 章末の「いろいろな問題」や「考えてみよう」は、解答が一つとは限らないものや多様な考え方ができる課題(問題)となっている。また、「挑戦しよう」では全国学力・学習状況調査を意識した出題形式も含まれており、学習内容の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次に既習事項とのつながりが明記され、数学の系統性が重視されている。また、側注に「思い出そう」が設けてあることで、これまでに学んだことの振り返りが容易にでき、学習の効果があがるよう工夫されている。 ○ 1 単位時間の授業の流れを想定し、見開き 2 ページで完結されている。各学習単位で「導入→学習のねらい→学習活動→まとめ→適用問題」と内容にまとまりがある。 ○ 構成が基礎的・基本的な事項である「本文」、発展的な事項である「章末」、数学と社会とのつながりを実感する「巻末」と適切に配列されている。 ○ 基礎的・基本的な内容と補足的・発展的な内容が適切な分量で掲載されている。各領域の配置がまとまっているため、各学校の年間指導計画にも広く対応できる。 ○ 身近な場면을想起させる課題が各章の導入やまとめに計画的に配列されている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適用問題補充のための「プラス・ワン」や本文ページと節末の「練習」が互いに参照できるガイド等、学習の定着を図るための工夫が豊富に設けられている。また、見方や考え方を育成する「ハートの問題」も適切に盛り込まれている。 ○ 自主的な学習を促すために、学習の進め方やノートづくり方が具体的に示してある。研究の手順や数学に関する書籍の紹介等、学習の動機付けにも工夫が見られる。 ○ 章末の「挑戦しよう」、巻末の「Mathful」では、数学が生活に生かされている場面や活用する問題が集められており、生徒の多様性にも応じられるよう配慮されている。 ○ スギ花粉の大きさ(理科)や世界の都市と時差(社会)、環境問題や防災に関する内容(総合的な学習の時間)等他教科との内容の関連にも配慮されている。 ○ 書き込みしやすく、数量関係が捉えやすいよう図表が効果的に配置されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が興味・関心を持てるよう各章の扉が数学と関連のある美しい写真で構成されている。また、実際に制作することができる付録やキャラクターの挿絵が豊富にあることで、生徒に親しみを感じさせる工夫がされている。 ○ 使用する色数を抑えて落ち着いた紙面になっている。使用する文字の大きさが第 1 学年と第 2・3 学年で異なっており、小学校算数や高等学校数学とのギャップがないよう配慮されている。 ○ 図表や写真が鮮明で大きく掲載してある。色帯や縦の罫線等による強調があり、注目すべき場所や課題の区切りが明確で配置も見やすい。 ○ 環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。表紙はフィルム貼り抗菌加工が施されており、環境や堅ろう性に配慮されている。 						

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学 7 3 0 8 3 0 9 3 0	書 名	中 学 校 数 学 1 中 学 校 数 学 2 中 学 校 数 学 3
			学 図				
1 記 述 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章の導入では、多様な数学的活動が設定されている。巻末では、レポート学習や協同学習の方法にも触れ、言語活動の充実を図りながら、思考力や表現力を育成するよう工夫されている。 ○ 各領域の学習に入る前に、小学校の学習の「ふりかえり」のページが設定してあり、系統性を意識させながら、スムーズに学習に臨めるよう工夫されている。 ○ 各領域の導入部分で、身の回りの事象に関連する題材や、生徒の興味・関心を引き付けるような色彩豊かな写真や図が示されており、学習意欲の喚起につながっている。 ○ 各章のまとめの問題に、「基本」、「応用」だけでなく「活用」が加えられており、学習内容の発展と数学の有用性を実感できるよう工夫されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標」→「Q（これから学習する内容の手掛かりになる問題）」→「例」→「考え方」→「問」→「トライ」と系統的に配列され、学習効果が上がるよう配慮されている。 ○ 小節ごとに、目標が示されており、見通しを持って学習に臨めるよう工夫されている。また、その目標の中でも重要な語句が強調されており、ねらいが明確である。 ○ 基礎的・基本的な学習内容と発展的な学習内容のバランスが良く、特に「数と式」領域の各章においては、計算技能の習熟を図る問題が設定されている。 ○ 生徒の発達段階が踏まえられており、学習内容の分量が適切で、各教科の実態に応じて年間指導計画を作成できるよう配慮されている。 ○ 章のまとめの問題では、身の回りの事象を題材にした課題が設定してあり、生徒の生活に対応できるものとなっている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文中の「解答」において、ノートづくりに役立つ視点が示されていたり、課題解決に活用する考え方（類推的な考え方、帰納的な考え方、演繹的な考え方）について説明しているページが設けられていたりと思考力・判断力・表現力を高めるよう工夫されている。 ○ 今後の学習へつなげるための投げ掛けや、生徒の素朴な問いに答える「おしえて!」「クローズアップ」が側注に提示され、学習への動機付けのための配慮がされている。 ○ 章のまとめの問題や巻末の復習問題が、習熟度に応じて取り組めるようになっていたり、問題の程度に応じて色分けがしてあったりと生徒の多様な能力に対応している。 ○ 日本の自然や伝統文化、国際社会に関連する問題が取り上げられており、他教科との関連に配慮されている。 ○ 解説や課題把握に効果的な図や写真が適切に配置されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターの表情や見出しの色使い等に工夫が見られ、学習意欲の喚起につながっている。 ○ 字体の大きさが適切であり、「解答」の字体を他の記述と違えることで、鮮明で見やすいものになっている。 ○ 図表や挿絵の色合いのバランスが工夫され、自然と目に入ってくるものとなっている。また、グラフを描いたり作図がしやすいように、方眼紙や図が大きく、綴じしろから離れて示されている等、レイアウトも適切である。 ○ ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトに配慮して編集してある。また、環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。 						

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7 教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学 7 3 1 8 3 1 9 3 1	書 名	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学を日常生活に利用する問題や、自分の考えを説明したり他者の考えを聞いたりする場面が数多く設けてあり、数学的活動を通じた指導に配慮されている。 ○ 学習したことのよさを考えさせる問題や学習感想を書かせる場面が設けてあり、数学のよさを実感できるように工夫されている。また、巻末に「数学で大切にしたい考え方」、第1学年では「小学校算数のまとめ」があり、系統性に配慮されている。 ○ 章の導入の「Let's Try」は取り組みやすく、「数学の広場」、「数学ミニ辞典」、「数学メモ」は身近な内容で、学習意欲や関心を高めるような内容に工夫されている。 ○ 巻末の「考える力をアップしよう」、「たしかめの補充問題」、「実力アップ問題」は基礎的な問題と発展的な問題が設定されており、学習内容の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章の導入の既習内容の確認、章の途中の「基本のたしかめ」、章末の「章の問題」や発展的な「ジャンプ」と配列されており、学習効果があがるように配慮されている。 ○ 学習のねらいが詳細に示され、学習の見通しが持ちやすいように配慮されている。また、章末では「学習のまとめ」を設け、単元の振り返りができるようになっている。 ○ 随所に「チャレンジコーナー」があり、数学に関連のある身の回りの事象への関心を高めるとともに、発展的な内容に挑戦できるように工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な内容や発展的な内容の他に、補充的な内容も充実しており、各学校の年間指導計画に対応できるように配慮されている。 ○ 生徒にとって身近な課題や教材が、単元の中や巻末に計画的に配列されており、生徒の生活の実態に対応できるように配慮されている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習事項を確認したり、基礎的・基本的な知識・技能を習得したりする内容が充実している。また、巻末の「数学で大切にしたい考え方」、「自由研究」で生徒が発展的な問題に主体的に取り組めるように配慮されている。 ○ 「数学ミニ辞典」は、生徒の身の回りにおける数学に対して関心を高める内容であり、生徒が数学を実生活に活用することを促すように工夫されている。 ○ 「チャレンジコーナー」や巻末の「たしかめの補充問題」、「実力アップ問題」等、生徒が主体的に学習できるページが多く、生徒の多様な能力に対応している。 ○ 「数学の広場」、「自由研究」では、数学と日常生活や社会との関わりのほかに、環境問題等の他教科との関わりについても工夫されている。 ○ 学習内容の理解を助けるように、挿絵、図表、写真等が適切に配置されている。 						
4 表 現 関 と す 体 る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターによるポイントとなることの説明や、美しい建物等の写真、巻末の付録等、生徒が数学に親しみを持ち、楽しく学習できるように配慮されている。 ○ 第1学年の1章「正の数、負の数」、2章「文字と式」では文字が大きく、小中間のギャップがないように対応されている。また、カラーユニバーサルデザインによって生徒が読みやすいように工夫されている。 ○ 資料や図表が多く配置されて、見やすいように大きさについても配慮されている。また、ポイントとなる部分を配色を工夫して表記する等、理解を促すような工夫がされている。 ○ 印刷には再生紙と植物油インキを使用する等、地球環境への影響が少ないように配慮されている。 						

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	6 1 啓林館	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学 7 3 2 7 3 3 8 3 2 8 3 3 9 3 2 9 3 3	書 名	未来へひろがる数学 1 未来へひろがる数学 MathNavi ブック 1 未来へひろがる数学 2 未来へひろがる数学 MathNavi ブック 2 未来へひろがる数学 3 未来へひろがる数学 MathNavi ブック 3
1 記 述 関 内 容 に 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章の導入部分には数学的活動を取り入れた「学習のとびら」が設定されており、単元の学習内容について理解を深められるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを感じることができる内容になっている。 ○ 側注の「ふりかえり」や、別冊のMathNaviブックの中の「学びをつなげよう」の復習問題では、学び直しができるように工夫されている。 ○ 具体物の写真やイラストを使用したり、身の回りの事象を取り扱ったりすることで、生徒が意欲を持って学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 巻末の「力をつけよう」では、基本的な問題と発展的な問題が設定されており、授業で補充問題として取り組むことにより、学習内容の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。 						
2 組 織 関 と す 配 列 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容の系統性が考えられた配列になっており、側注にある「ふりかえり」で既習事項を復習することで、学習内容の理解が深められるよう工夫されている。 ○ 数学的活動を取り入れた課題が数多く配置され、そのどれも学習のねらいが明確にされており、各章、各節ごとまとまりのある配列になっている。 ○ 「問」や「練習問題」には基礎的・基本的な問題が配置され、「章末問題」や巻末の「力をつけよう」には発展的な問題が適切に配置されている。 ○ 「問」、「練習問題」、「章末問題」は適当な問題数であり、巻末の「力をつけよう」には補充・発展問題があり、各学校の年間指導計画に対応できる構成となっている。 ○ 身近な教材や日常生活に関連する課題が章の導入部分や巻末に設定されており、生徒の生活に対応できるよう配慮されている。 						
3 学 習 関 と す 指 導 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「基本のたしかめ」では基礎的・基本的な内容が身に付くように工夫されている。「みんなで話しあってみよう」、「自分のことばで伝えよう」等の場面では、ペア学習やグループ学習を行うことで、思考力・表現力が育成できるよう工夫されている。 ○ 章の導入の「学習のとびら」で扱われている日常的な事象や、巻末にある数学的活動で使用する切り取り教具は、自主的な学習を促す内容や教材として配慮されている。 ○ 巻末の「まとめの問題」や別冊のMathNaviブックでは、つまずきの解消や学び直しができ、生徒の多様な能力や特性に対応できるよう配慮されている。 ○ 他教科とのつながりのある題材が扱われており、関連に配慮されている。 ○ 側注のキャラクターのコメントや図表、写真等は、生徒が課題を自力解決するためのヒントとして有効であり、適切に配置されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「数学展望台」では、数学にまつわる興味深い話題を扱い、「千思万考」では数学的な思考を広げる課題を扱っている。また、巻末の「数学広場」では発展的な問題を扱い、そのどれもが生徒の数学への興味・関心を喚起するものになっている。 ○ 文章は読みやすい位置で改行され、1行の文字数を少なくし、読みやすいように配慮されている。色彩や印刷も鮮明であり、表やグラフは見やすくなっている。 ○ 生徒の課題を解決する際の思考のヒントになるように図表やグラフが配置されており、配色も工夫されている。 ○ 書き込み等の作業がしやすいように製本されており、体裁もよく、強度も確保されている。また、再生紙と植物油インキを使用しており、環境やアレルギーにも配慮されている。 						

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 0 4 数 研	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学 7 3 4 8 3 4 9 3 4	書 名	中 学 校 数 学 1 中 学 校 数 学 2 中 学 校 数 学 3
1 記 述 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 習熟を図る問題が多く、基本的な知識や技能を確実に習得できるように配慮されている。また、章の導入や「やってみよう」等では数学的活動を意図した問い掛けや課題を設定し、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感できるように工夫されている。 ○ 巻頭の「クイックチャージ」では、当該学年までの既習事項の学び直しの機会を設けて、学習内容の系統性を大切にした構成になっている。 ○ 章の扉やコラムでは身近な話題を扱い、数学への興味・関心を引き出し、学ぶ意欲を高めるよう工夫されている。また、項の初めには「学ぶこと」として、学習内容や目標を示すことで、生徒が見通しを持って主体的に学習に取り組めるように配慮されている。 ○ 章の本文、「例」、「問」、「確かめよう」及び巻末の「基本のまとめ」、「確認しよう」、「深めよう」等の分量が適切で、学習内容の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「クイックチャージ」で既習事項を確認し、巻末の「ぐんぐんのばそうチャレンジ編」で発展的内容が身に付くよう配列されており、学習効果が上がるよう配慮されている。 ○ 学習目標を明確にするために、全ての「例」に学習内容を示す見出しを付け、「問」、「確かめよう」、「章の問題」で学習内容の定着を図ることができるよう内容にまとまりがある。 ○ いくつかの項のまとめごと「確かめよう」及び巻末に「基本問題」、「章の問題A・B」が設けられ、基礎的な事項の習得と発展的な事項の学習が適切に配列されている。 ○ 「例」、「問」、「確かめ問題」、「章の問題」及び「巻末問題」は適切な分量で、習熟度や興味・関心に応じた学習ができ、各学校の年間指導計画に広く対応できる。 ○ 章の扉で身近な題材を扱うことで生徒の興味・関心を喚起させ、巻末のコラムでは数学が社会に果たす役割を実感できるよう配列されており、生徒の生活に対応している。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 側注には課題を考える際のヒント、学習内容のまとめ及び要点等が示され、基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・表現力等が育成できるよう配慮されている。 ○ 章の扉や「例」では、身近な題材を扱うことで生徒の興味を喚起している。特に、「例」には学習内容を示す見出しを付けることで自主的な学習を促すよう配慮されている。 ○ 「発展」や巻末の「数学探検」、「深めよう」では、既習内容を活用して解決する総合的な課題を設け、生徒の多様な能力や特性に対応できるよう配慮されている。 ○ 数学の歴史、自然、社会的なテーマ及び他教科と関連する課題を扱うことで、興味を持って主体的に学ぶとともに、学ぶことの意義や有用性を感じられるように配慮されている。 ○ 巻頭に「ノートづくり方」や「数学の学び方」を示すとともに、挿絵、写真、図表等が適切で、学習内容の理解が図られるように配置されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主要な語句には仮名が振られ、重要語句や図解等の色彩は、淡い色遣いで記載する等、生徒が親しみを感じるよう配慮されている。 ○ 重要事項は、太書きやフォントを大きくして強調したり、枠で囲んだりして一目で分かるよう工夫されている。 ○ 資料、図及び写真等が必要に応じて配置されており、興味を持って理解できるよう配慮されている。 ○ 製本は体裁がよく堅ろうであり、長期間の使用に耐えられるものである。また、再生紙と植物油インキを使用しており環境に配慮されている。 						

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学 7 3 5 8 3 5 9 3 5	書 名	中 学 数 学 1 中 学 数 学 2 中 学 数 学 3
			日 文				
1 記 述 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 性質を見付ける、数学を利用する、説明するといった、数学的活動や言語活動が設けられており、数学の理解を深め、そのよさが実感できるよう工夫されている。 ○ 章末に「深める数学」、巻末に「数学研究室」が設けられ、探求的・発展的な学習に対応できるよう配慮されている。また、本文各課題の側注に「ふりかえり」、巻末に「くり返し練習」が設けられ、学び直しができるよう配慮されている。 ○ 章の扉で身近な話題や課題を学びの必然性やストーリー性を考慮しながら提示し、学習意欲を高めるよう工夫されている。また、学習内容に関連する話題や課題について「数学のたんけん」として取り上げ、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。 ○ 巻頭で具体的な学習方法を記載し、練習問題を難易度や分量に配慮して掲載する等、生徒が学習を充実させ、発展させていくことができるよう工夫されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次に、各章に関連する主な既習単元を明示し、各章の前に「次の章を学ぶ前に」を配置する等、系統性を重視し、生徒の学習効果が上がるよう工夫されている。 ○ 小節が1単位時間の内容となるように配置し、それぞれに学習目標を明記する工夫がされており、ねらいが明確でまとまった構成となっている。 ○ 基礎的・基本的事項が適切に提示・解説されている。発展的な課題についても生徒が自主的に取り組むことができるよう、適切に配置されている。 ○ 1単位時間で扱う分量が見開き2ページになるよう工夫されており、扱う問題の分量の増減により、各学校の年間指導計画に対応できる構成となっている。 ○ 身近な事象や興味・関心を喚起する事象が多く配置され、課題の難易度もバランスよく配置されており、生徒の実態に広く対応できる配列となっている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 側注に掲載ページを明示したり、「ステップアップ」では解答例や解説を詳しく掲載したりする等、主体的な学習態度を形成していけるよう配慮されている。 ○ 章の扉において、身近でかつ学習内容との関連性が高い題材を扱い、興味を持って自主的に学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 「ふりかえり」、「チャレンジ」、「数学研究室」を設け、習熟度や興味・関心等、生徒の幅広い実態に応じた指導・活用ができるように配慮されている。 ○ 「数学のたんけん」、「数学研究室」等で、防災・安全・福祉・健康・環境および他教科との関連を明示し、数学の有効的な活用を考えさせるよう配慮されている。 ○ 必要となる図表は適切に配置されており、写真や挿絵は生徒の思考の手助けとなるよう効果的に配置されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 着目したい事柄やアドバイスがキャラクターによる吹き出しで示されており、身近で興味深い話題は「数学のたんけん」として大きく配置する等、親しみや魅力を感じることができるよう配慮されている。 ○ 1ページ当たりの分量と活字の大きさが適切であり、強調部分も適切な配色と字体で構成されている。 ○ 書き込みが必要である図や表は適切な大きさに拡大する等、バランスよく配置されている。 ○ 植物油インキと再生紙を利用する等、環境に配慮がされており、堅ろうで体裁よく製本されている。 						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科 7 2 7 8 2 7 9 2 7	書 名	新編 新しい科学 1 新編 新しい科学 2 新編 新しい科学 3
			東 書				
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題，観察・実験，考察，活用の流れが明確に示され，科学的に探究する能力の基礎と態度を育成するという教科の目標を反映している。 ○ 身近な自然の事物・現象を活用できるように工夫した観察・実験が多く示されており，より直接体験を重視した指導計画の作成に対応している。 ○ 生徒が主体的な学びを進める際に，つまずきを克服できるように「例題」や「考え方」を示している。また，単元末の「学びを広げよう」に，生徒が自ら取り組むことで，科学の楽しさが感じられ学習意欲が高まるよう工夫されている。 ○ 観察・実験の目的が明記され，生徒が目的意識を持って課題を解決できるよう工夫されている。また，「結果の見方」と「考察のポイント」によって，結果を分析・解釈する際の視点が与えられ，学習内容が深まるよう工夫されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の導入部に，小学校での既習事項が記され，系統性を意識して学習することで，学習の効果があがるよう配慮されている。 ○ 各章の冒頭と章末で同じ問いかけをする「before & after」により，生徒が各章のねらいと内容を明確に捉えることができ，まとまりのあるつくりになっている。 ○ 発展的な内容は，基礎的・基本的な内容と十分な関連が図られ，内容の程度・分量ともに適切で，学習内容が更に深まるよう配列されている。 ○ 基本的な学習内容は厳選され，観察・実験も焦点化されていて，ゆとりを持って学習が進められるように作成されており，各学校の計画の自校化に対応できている。 ○ 教材の配列が，身近な題材から教科の専門性が高い内容へと進められており，どの地域の観察・実験にも広く対応できている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「予想しよう」「調べ方を考えよう」「考察しよう」等，言語活動の充実を図る場面が明示されており，科学的な思考力・判断力・表現力等の育成に配慮されている。 ○ 導入部の「レッツトライ」で身近な事象について考えさせ，興味・関心を高め，更に，「例題～確かめと応用」の流れで，自主的な学びを促すよう配慮されている。 ○ 「D」マークでICT機器の活用を促し，生徒の多様な能力に対応している。 ○ 「○○(教科名)で学ぶこと」として他教科との関連が考慮されている。また，科学を学ぶ意義や有用性を実感できるように，「読み物 科学でGO!」では，キャリア教育・防災教育・道徳教育等との関連も図られるよう配慮されている。 ○ 巻頭に探究の流れ，レポートの書き方，巻末に理科室の利用，校外施設の活用等の学習の手引きが適切に配置されている。 						
4 表 現 関 と す 体 る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校とのギャップを少なくするように，第1学年の本文の文字サイズが第2学年，第3学年よりも大きくしてあり適切である。 ○ 色覚に関する個人差に配慮して，色だけで区別することなく，字の大きさや太さや字体，線の形を変える等の工夫が見られる。そのために，少ない色数で落ち着いた印象があり，生徒が親しみやすく集中して学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 多くの鮮明な写真が使われるため，裏ページの印刷が透けて読みにくくならないように，不透明度の高い用紙が使用されていて見やすく仕上がっている。 ○ 図表等と本文の活字の大きさや配置がすっきりと見やすく適切である。 ○ 植物油インキと再生紙を使用していること，綴じるのに針金等を使用しないこと等，環境や省資源化に配慮されている。 						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 大日本	教 科 書 記 号 ・ 番 号	理 科 7 2 8 8 2 8 9 2 8	書 名	新 版 理 科 の 世 界 1 新 版 理 科 の 世 界 2 新 版 理 科 の 世 界 3
1 記 述 関 内 す 容 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観察・実験では、必ず課題について予想をしたり、着目点を確かめたりしており、目的意識を持って観察・実験を行うという教科の目標を反映している。 ○ 読解力問題で、知識・技能を活用して科学的な思考力・表現力を育成する問題が設定しており、言語活動を通じた主体的な学習を促す学習指導に対応している。 ○ 発達段階に応じて学びを主体的に進めることができるよう、「もっと」や「やってみよう」を掲載し、多くの実験方法を紹介することで生徒の意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「くらしの中の理科」、「科学史」、「発展」等で、理科の学習と日常生活とのつながりや、原理・法則が発見された経緯等の具体例を紹介し、理科の有用性に気付かせながら、学習内容の充実と発展が図られるよう工夫されている。 						
2 組 織 関 と す 配 列 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一単位時間ごとに課題が明記されており、観察・実験を通して結果から分かったことを次のページに記載することで、学習効果があがるよう配慮されている。 ○ 単元の始めのページに、「これまでに学習したこと」と「これから学習すること」が明記しており、ねらいが明確で内容のまとまりがある。 ○ 発展的な内容について、目次に明記しており、掲載ページにおいても本文との区別がはっきりと分かるよう配列されている。 ○ 「トピック」や「くらしの中の理科」の中で実生活と関連した内容を記載しており、学校の実態に応じた年間指導計画に対応できるよう配慮されている。 ○ 実験がしやすい時期や、各学年で実験器具の使用が重ならないこと等も考慮して単元が配列されており、生徒の生活や地域の実態に広く対応できる。 						
3 学 習 関 と す 指 導 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観察・実験のための「基本操作」において、器具装置の使い方と図表の読み取り方が丁寧に解説され、基礎的・基本的な知識・技能が習得されるよう配慮されている。 ○ 各章末や単元末等に復習問題が充実しており、生徒が自主的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 「プロフェッショナル」で、職業の話題を取り上げ、科学が社会に貢献していることを意識させることにより、生徒の多様な特性に広く対応できるよう配慮されている。 ○ 「数学では」という記載で、個のつまずきに対応するよう計算方法やグラフのかき方について丁寧に解説することで、他教科との関連を図るよう配慮されている。 ○ 巻頭に、学習の流れが明記され、教科書に使われているマークの解説も見やすく配置されている。また、豊かな自然を感じさせる写真が適切に配置されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年から第3学年まで統一された表記や表現を用いることで、一貫性のある学習ができるよう配慮されている。 ○ 予想される考えを吹き出しにより明記したり、観察・実験や考察等の学習活動における協力の態度、話合いの場面等写真やイラストで紹介したりする等、親しみを感じるものになるよう配慮されている。 ○ 実験上の注意点が、赤と黄色で色塗りされ、鮮明で見やすく表現されている。 ○ グラフや表が大きくはっきりと記載されており、余白が十分にとってあることで、見やすい配置になっており、レイアウトやバランスが適切である。 ○ 再生紙と植物油インキを使用しており、環境に配慮されたものになっている。また、表紙にフィルムが貼ってあり、堅ろう性に優れている。 						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 学 図	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科 7 2 9 8 2 9 9 2 9	書 名	中学校科学1 中学校科学2 中学校科学3
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実験・観察では、課題、観察・実験、結果、考察とまとめ、活用の順で学習するよう統一され、科学的に探究する能力の基礎と態度を育成するよう工夫されている。 ○ 各章に「チャレンジ」というものづくりや直接体験を促す記述があり、直接体験を重視した学習内容に対応している。 ○ 単元の冒頭に、既習事項を想起させるための写真付きの問題が提示されている。また、学習した学年も明記されており、系統性がかみやすく、見通しを持たせることで、学習意欲が高められるよう工夫されている。 ○ 実験装置や器具の使い方を「基本操作」として本文中に丁寧に示し、既習のものについては、巻末資料として掲載することで、実験装置や器具の正しい使い方が常に確認できるよう工夫されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「基礎的・基本的用語や実験器具等の学習」、「観察・実験」、「学習した用語を用いてのまとめ」という構成になっており、学習の効果があがるよう配慮されている。 ○ 章の冒頭に、学習の中心となる疑問点を挙げ、どのようなことについて学習していくのかを示し、興味・関心を高め、学習の見通しを持たせるようまとめられている。 ○ 基本的な学習内容を踏まえた上で、適切に発展的な事柄を示すことにより、生徒の関心・意欲を高めるよう配慮されている。 ○ 各分野の記述割合がほぼ均等であり、生徒や地域の実態に応じた年間指導計画の作成に対応できる。 ○ 季節に左右される事象について「継続観察」として、目次で示す等、地域の実態を踏まえた対応ができるようになっている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適切な課題を示し、「話し合ってみよう」や「問い」が設定されており、言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力が育成されるよう配慮されている。 ○ 「学習の確認」や単元末に掲載されている「学習のまとめ」・「単元末問題」にはチェックボックスが付いており、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 「科学を仕事に生かす」では、様々な職業を取り上げ、科学を学ぶ意義や有用性を意識させ、広く生徒の特性に対応できるよう配慮されている。 ○ 側注欄に、数学等他教科との関連や日常・環境とのつながりをマークで示す等、他教科との関連に配慮されている。 ○ 写真資料だけではなく、どこに着目すればよいのかを分かりやすく示したスケッチや模式図が多用され、見やすく配置されている。 						
4 表 現 関 と す 体 る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年から第3学年まで、統一された表記や表現を用いることで、3年間を通して安心感を持って学習ができるようになっている。 ○ キャラクターが事象の解釈の視点等を示す工夫があり、親しみを感じるよう配慮されている。 ○ 見出しや本文の文字等は、適切な大きさであり、強調部分はゴシック体の太字を用いたり、色囲みしたりすることで、見やすくなっている。 ○ 落ち着いた色使いがなされており、図や表、写真はバランスよく配置されている。 ○ 表紙がフィルム加工されており汚れにくく、装丁も堅ろうである。また、印刷には再生紙と植物油インキが用いられおり、環境への配慮がなされている。 						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科 7 3 1 8 3 1 9 3 1	書 名	自然の探究 中学校理科 1 自然の探究 中学校理科 2 自然の探究 中学校理科 3
			教 出				
記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観察・実験の方法や結果，考察に関する記述の部分が色分けして明示され，疑問を解決していく学習を繰り返しながら科学的な見方や考え方を養うことができるよう編集されており，教科の目標を反映している。 ○ 探究活動を重視し，幅広い知識と教養を身に付けながら真理を求める態度を養うことを意識して編集されている。日常生活や社会と関連のある事物・現象を多く取り上げて興味・関心を高め，問題解決のプロセスを重視した学習指導に対応している。 ○ 生活や環境等と関連するコラムは緑色の枠で囲み，発展的な内容のコラムは黄色の枠で囲んでおり，生徒の実態に応じて学習意欲を高められるように工夫されている。 ○ 巻末資料に各学年で学習した内容に関連する自由研究の例が示され，学習内容の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。 						
組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元扉に「学んでいくこと」の記載があり，既習事項の確認と今後の学習の見通しを持つことができるようになっており，学習の効果があがるよう配慮されている。 ○ 「話し合おう」，「調べよう」，「活用しよう」等のマークを用いて生徒に活動の内容を示し，要点のチェック欄で学習を振り返る等，章，節のねらいが明確である。 ○ 基礎的・基本的な学習内容が簡潔にまとめられ，発展的・応用的な記述と明確に分けられて編集されており，適切に配列されている。 ○ 基礎的・基本的な内容だけではなく，発展的な内容も多く掲載しており，生徒の実態に合わせて各校の年間指導計画に広く対応することができる。 ○ 生物教材を中心に豊富な資料やデータ類が掲載されており，発展欄やコラム欄も充実しているため，生徒や地域の実態に広く対応することができる。 						
学 習 関 と す 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの観察・実験の手順を右ページに示し，その次のページに観察・実験から得られた結論を分かりやすくまとめてあり，生徒の思考力や表現力を育成するための配慮がなされている。 ○ 科学の話題を紹介するコラム「ハローサイエンス」を随所に掲載して，学習の動機付けや自主的な学習を促すことができるよう配慮されている。 ○ 各単元末に「基礎・基本問題」と「活用・応用問題」を用意し，生徒の多様な能力に広く対応できるようにしている。 ○ 巻末資料に「理科で使う算数・数学」を掲載している。また，校外の施設の活用例が示され，総合的な学習の時間等との連携を図ることができるよう配慮されている。 ○ 巻頭や巻末に「学習の進め方」，「基礎技能」等の学習の手引きが配置されている。 						
表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 側注の補足説明や注釈の内容が丁寧であり，各学年の生徒が理解できるよう配慮されている。また，要点や重要用語を朱色の太字で強調する等表記が適切である。 ○ ヒト型ロボットのようなキャラクターが留意点や補足の指示を与えるようになっており，生徒が探究活動に親しみを感じるよう配慮されている。 ○ 疑問を持たせる部分を赤系の色で囲み，観察・実験の部分を紺系の色で囲んでいるため，本文と明確に分けられ統一感がある。また，注釈等の小さい文字には可読性が高い書体が用いられ見やすくなっている。 ○ 多くの図表を掲載するためにレイアウトが工夫され，バランスも適切である。 ○ 装丁は堅ろうであり，汚れにくい素材を用いている。印刷にはグリーン電力を使用し，再生紙と植物油インキを使用する等，地球環境への配慮がある。 						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	6 1 啓林館	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科 7 3 2 7 3 3 8 3 2 8 3 3 9 3 2 9 3 3	書 名	未 来 へ 広 が る サイ エン ス 1 未 来 へ 広 が る サイ エン ス 1 マイ ノ ー ト 未 来 へ 広 が る サイ エン ス 2 未 来 へ 広 が る サイ エン ス 2 マイ ノ ー ト 未 来 へ 広 が る サイ エン ス 3 未 来 へ 広 が る サイ エン ス 3 マイ ノ ー ト
1 記 述 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観察・実験の「目的」や「方法」を明確に示すことで、目的意識を持たせ、観察・実験のまとめのページで、新たな疑問となるヒントを示すことで、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てようという、教科の目標が反映されている。 ○ 単元の冒頭や挿絵の吹き出しに、生徒に持たせたい疑問や考えを示す等、生徒が自ら問題を見出すことができるよう工夫されており、問題解決的な学習の実践に対応している。 ○ 「ふり返り」のコーナーを多く取り入れ、授業で取り組むべき観察・実験の他に、「ためしてみよう」、「別の方法にトライ」等で、学習に役立つ観察・実験が紹介されており、一人一人の生徒の学習意欲が高まるよう工夫されている。 ○ 科学の話題や、実社会や実生活との関連を図る内容を扱ったコーナーを設け、理科を学ぶことの意義や有用性が実感でき、学習内容が深まるよう工夫されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「物質・エネルギー編」と「生命・地球編」に大きく分けられており、第1分野、第2分野のまとまりが分かりやすく、学習効果が上がるように配慮されている。 ○ 冒頭に、単元の学習に関する写真を大きく掲載し、章ごとに生徒に持たせたい疑問を「単元のねらい」として明示しており、内容や系統のまとまりがある。 ○ 系統性を踏まえながら、基礎的・基本的な内容の習得を図るための「ふり返り」のコーナーや、発展的な内容を記述した「発展」のコーナーがバランスよく配列されている。 ○ 生徒の実態に応じて、取り入れられる発展的な内容が掲載される等、各校の学習計画に広く対応できるよう配慮されている。 ○ 巻末の「地域・環境資料集」で、各地域の特徴的な自然事象や施設等が数多く紹介され、地域教材の参考にすることができる等、生徒の生活や地域の実態に広く対応できている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふり返り」で基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、「考えてみよう」、「話し合ってみよう」等で、思考力・判断力・表現力の育成を図られるよう配慮されている。 ○ 観察・実験器具の使い方やICTの活用、話し合いや発表の仕方、研究活動の仕方について記述し、学習方法の定着や、自主的な学習を促すことができるよう配慮されている。 ○ 「理科でよく使う算数・数学」のコーナーで、算数や数学との関連を示し、計算が入ることによる生徒のつまづきに対応している。 ○ 「〇〇と関連」で数学等の他教科との関連、「つながるページ」で同じ学年で関連する学習内容を明示し、学習の広がりを感じられるよう配慮されている。 ○ 巻頭の「この教科書(本冊)の使い方」で内容の説明が詳細に書かれており、挿絵、図表、写真等は、本文の外側に配置され、統一感があり、見やすく配置されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 難しい漢字にルビが振られていたり、第1学年の字の大きさが、他学年に比べて大きな字で書かれていたりする等、学年に応じて適切な表記、表現になっている。 ○ 中学生や先生を表した挿絵に、吹き出しを付けて疑問点や考え方のヒントを示す等、生徒が親しみを持って学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 字の大きさや字体が適切で、文字間や行間のスペースが広めに設定されており、注意点は赤色、思考を促す文章は黄緑色等、鮮明で見やすく表現されている。 ○ 鮮やかな色の図表や挿絵が多く取り入れられており、大きさや配置、レイアウトも見やすくなっている。 ○ 丈夫で手触りの良い再生紙に植物油インキで印刷する等、環境に配慮されている。 						

種 目	音 楽 (一般)	発 行 者 の 番 号 ・ 略	1 7 教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番	音 楽 7 2 5 8 2 5 8 2 6	書 名	中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの
1 記 述 内 容 関 に す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された内容を踏まえ、音楽文化について理解を深めさせるため、多種多様な音楽活動ができるよう工夫されている。 ○ 表現と鑑賞の関連を図った幅広い音楽活動を通して、音楽科の目指す目標を達成することができるよう工夫されている。 ○ 我が国と諸外国の音楽文化を関連付けて取り扱うことにより、郷土や自国の音楽文化に愛着がわき、多様な音楽にも関心を持つように工夫されている。 ○ 創造性を培えるよう、歌唱・創作・鑑賞をバランスよく関連付けて取扱い、無理なく適切に学習活動が展開できるよう工夫されている。 ○ 音楽の特徴を捉えやすく多様な選択が可能となるよう、聴き比べる活動等、音楽の価値や意味を考えさせる内容となっている。教材の出所・出典も明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校で学習した〔共通事項〕の内容が並記されており、学習の積み重ねと系統性が考慮され、小学校とのスムーズな連携が図られている。 ○ 目標を踏まえ、各教材におけるねらいが明確に二つに絞られ、教科書の小口に掲載されていることで、確認と振り返りができるよう工夫されている。 ○ 表現及び鑑賞の幅広い音楽活動を展開できるように、教科書を「基礎」、「広がり」、「活用」の三つの柱で構成することで、学習効果が上がるように工夫されている。 ○ 選択的に取り扱うことができる歌唱教材を、生徒や学校の状況に応じて随時取り扱えるように配慮されている。 ○ 表現及び鑑賞の二つの領域で構成しつつ、幅広いジャンルの音楽が取り入れられ、生徒や地域の実態に応じた音楽活動ができるように工夫されている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材に「伝えてみよう」等の欄が設けられており、言語活動の充実を通して思いや意図を持って表現する能力を高められるよう工夫されている。 ○ 表紙裏の「With My Heart」に、生徒が関心を寄せる音楽家のメッセージが掲載され、生徒の豊かな情操が育成できるよう配慮されている。 ○ 歌のワンポイントアドバイス、身近な楽器を扱う活動、発展のページ等、生徒の多様な能力や特性に広く対応した内容となっている。 ○ 外国語の歌を扱う、郷土の民謡や芸能を調べて地域のよさを見直す等、他教科や総合的な学習の時間との関連にも配慮している。 ○ 各教科書に、学習資料（楽典）が配置されており、音楽の用語や記号、音符等の解説が掲載ページとともに示され、幅広い知識を身に付けられるよう工夫されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表記や表現が簡潔で分かりやすく、漢字にはルビを振り、生徒がスムーズに音楽活動に取り組めるよう工夫されている。 ○ 資料や写真、挿絵等をバランスよく配し、音楽の持つ魅力や自然、四季の美しさ等を大切にする心を育てるように配慮されている。 ○ 全体的に見やすく、それぞれの文字の大きさが適切である。生徒が自分の考えを書き込む部分が多く、紙の質が書き込みやすく扱いやすいよう配慮されている。 ○ 見やすく、分かりやすい紙面とレイアウトで、音楽活動をよりスムーズに行えるように配慮されている。 ○ 環境に優しい再生紙と植物インキを使用している。印刷においては、グリーン電力を使用している。また、カラーユニバーサルデザインに配慮して作られている。 						

種 目	音 楽 (一般)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 7 教 芸	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	音 楽 7 2 7 8 2 7 8 2 8	書 名	中学生の音楽1 中学生の音楽2・3上 中学生の音楽2・3下
1 記 述 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された内容や、〔共通事項〕と緊密な関連を持った学習が確実に 行われるよう工夫されている。 ○ 全ての教材において、学習の目標を大きく示し、それに迫るための具体的な学習活 動が手順に沿って示され、指導のねらいの明確化が図れるように工夫されている。 ○ 生徒一人一人の創造性を培うとともに、学習意欲を高めるため、生徒が主体的に協 働しながら学習を進めることができるように工夫されている。 ○ 各学年とも学習内容と各教材の関連が「音楽学習 MAP」として明確に示されてお り、系統的・発展的に学習を進めることができるよう工夫されている。 ○ 我が国の民謡を歌唱教材として取り上げ、伝統的な歌唱の学習についても確実に 行えるよう配慮されている。また、写真の出典や教材の出所が明示されている。 						
2 組 織 関 連 す る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各教材が小学校で学習した内容を踏まえ、発展させて学習することができるように 工夫されており、小学校とのスムーズな連携が図られている。 ○ 目標を明確にした教材が適切に配列されており、各学年とも前半に表現教材、後半 に鑑賞教材を配置して、関連させながら学習できるように工夫されている。 ○ 各教材に〔共通事項〕が明記されており、基礎的・基本的な内容を習得し、定着で きるように工夫されている。 ○ 「心通う合唱」等、歌唱教材が充実しており、生徒の実態に応じて各校の年間指導 計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 多様な音楽が取り上げられ、生徒や地域の実態に合った音楽活動ができるように工 夫されている。 						
3 学 習 関 連 す る 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ここが分かれば Grade up」, 「My Voice」等、基礎的事項を学習できるコラムが 配置され、より具体的な観点に基づいた学習ができるように工夫されている。 ○ 創作の学習では学習内容や手順が簡潔に示されており、生徒が自主的に活動できる よう配慮されている。 ○ 「BINGOGAME」, 「RHYTHMGAME」, 「challenge」, 「発展的学習」を取り入れる ことで、生徒の多様な能力や特性に広く対応した内容となっている。 ○ 歌唱教材では、道徳教育に資する歌詞を持つ楽曲が多く取り上げられており、道徳 教育との関連に配慮している。 ○ 思考・判断の指針となる問い掛けを吹き出しの形で示し、学習の効果を高めること ができるよう工夫されている。 						
4 表 現 関 連 す る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の難易度や文章の分かりやすさが学年に応じて配慮されており、難しい言葉や 文字にはルビが振られる等生徒が学習しやすいように工夫されている。 ○ 我が国及び諸外国の伝統や音楽文化を学ぶことができるよう、特集や巻頭・巻末の 資料が充実しており、生徒が魅力を感じるよう配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインの理念に基づいてつくられており、文字情報や図版が見やす く、学習をより確実に進められるよう配慮されている。 ○ すっきりと見える紙面で、楽譜や歌詞が見やすく、レイアウトも統一されており、 書き込みができるような余白がある等、活用しやすいように配慮されている。 ○ 再生紙が使用されており、中綴じにすることで開きやすくなっており、教科書を開 きながら演奏することができるよう配慮して作られている。 						

種 目	音 楽 (器楽合奏)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7 教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	器 楽 7 7 3	書 名	中学器楽 音楽のおくりもの
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている内容を踏まえ、多様な音楽に親しみながら、幅広い知識と基礎的な表現の技能を身に付けることができるように工夫されている。 ○ 「共通事項」を窓口音楽を捉えながら、生徒が基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、主体的に豊かな音楽表現ができるように学習内容が工夫されている。 ○ 独奏から器楽合奏、和楽器合奏まで幅広い教材が取り上げられており、生徒一人一人が多様な音楽に興味・関心を持って取り組めるように工夫されている。 ○ 表現と鑑賞の領域を横断する多様な教材や、和楽器による創作活動が配置され、器楽学習を基礎から発展まで段階を追って取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 歌唱共通教材や鑑賞教材として学習してきた曲が多く配置され、学習の充実や発展を図ることができるよう工夫されており、写真や資料の出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各楽器の基礎的な奏法について、小学校で演奏した楽器を用いて更に学習を深められるよう工夫されており、学習の積み重ねと系統性及び発展性が考慮されている。 ○ 学習内容が各楽器ごとにまとめられており、楽器の扱いや姿勢、奏法等について詳しく記述され、生徒が学習のねらいを把握して活動できるように配慮されている。 ○ 全体を「楽器の基礎」と「教材曲集」とで構成し、基礎的な知識や基本的な技能を身に付け、更に習得した知識や技能を活用できるよう組織、配列が工夫されている。 ○ 楽器演奏の基礎を習得するための資料が豊富で、発展学習にも応用でき、各学校の年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 和楽器を中心に教材が配列されており、我が国の音楽や地域の伝統文化に触れることができ、生徒の生活や地域の実態に広く対応できるよう配慮されている。 						
3 学 習 関 と す 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各楽曲には「共通事項」を窓口とした「演奏のポイント」が明記され、思考力・判断力・表現力等の育成及び主体的な学習態度の形成を進められるように工夫されている。 ○ 映画音楽を和楽器で演奏できるように編曲された楽曲が掲載される等、多様な種類の音楽が取り上げられ、学習の動機付けや自主的な学習を促すよう配慮されている。 ○ 「コンピュータによる音源作成」や「手作りの横笛」等、発展的な学習についての記述があり、生徒の多様な能力や特性に広く対応できるよう工夫されている。 ○ 生徒の学習への指標となる演奏家のメッセージが掲載され、我が国や諸外国の文化の理解等につながる等、道徳や総合的な学習の時間との関連に配慮されている。 ○ 楽器の奏法を示す写真が豊富であり、演奏する弦に着色した写真が掲載される等、楽器演奏のイメージがつかみやすく、挿絵も適切である。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各楽器ごとに写真やイラストの工夫があり、生徒が学習しやすいように難しい言葉や文字にはルビが振られる等、表記や表現にも配慮されている。 ○ 我が国を代表する楽器奏者の写真やメッセージを効果的に配置し、生徒の関心を高めることができるよう工夫されている。 ○ 楽譜は鮮明で読みやすく、文字サイズも大きく表記される等、全ての生徒が学習しやすいように工夫されている。 ○ AB変型判で五線の間隔が広く取られる等、楽譜が読みやすいだけでなく、楽器の運指と楽譜が同時に見られるようにレイアウトされ、演奏者への配慮がなされている。 ○ 製本が堅ろうであり、再生紙や植物油インキを使用し、印刷にはバイオマスで発電されたグリーン電力を使用する等、環境への配慮がなされている。 						

種 目	音 楽 (器楽合奏)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 7 教 芸	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	器 楽 7 7 4	書 名	中学生の器楽
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている内容を踏まえ、我が国及び世界の国々の多様な音楽に親しみながら表現の技能を身に付けることができるように工夫されている。 ○ 「アンソングレイド」というセクションが設けられ、〔共通事項〕と関連させながら、器楽の活動を通して基礎的・基本的な知識や技能が習得できるよう工夫されている。 ○ 古典曲から現代曲まで生徒の興味・関心を喚起する教材が数多く取り入れられ、生徒が学習意欲を高められるように工夫されている。 ○ 独奏から合奏まで多様な器楽学習が可能で、器楽演奏の中に創作の活動を取り入れた内容も配置されており、学習の充実が図られるよう工夫されている。 ○ 我が国や諸外国の楽曲をバランスよく取り扱い、幅広い器楽学習の充実・発展を図ることができるように工夫されており、写真や教材の出典、出所も明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 〔共通事項〕に示される学習内容と各教材との関係や、表現と鑑賞を横断した関連等を「音楽MAP」で示し、段階を追って豊かな表現活動ができよう工夫されている。 ○ 「楽器ガイド」「楽器の種類と構造」「楽器の奏法」等、学習内容が楽器ごとにまとめられており、生徒が学習のねらいを明確に把握できるように配慮されている。 ○ 発展的な学習について巻頭に明確に示される等、生徒が学習活動により興味・関心を持って取り組むことができるように工夫されている。 ○ 楽器の奏法とアンサンブル曲とを分けて配列しており、教材も豊富で各学校の年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。 ○ 様々なジャンルの楽曲が幅広く取り上げられ、楽器の組み合わせが自由に変更できる楽曲も掲載されており、生徒の生活や地域の実態に対応できるよう配慮されている。 						
3 学 習 関 と す 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書への書き込み欄があり、思考力・判断力・表現力等の育成及び言語活動を重視し、「書く」過程を大切に表現活動につなげられるように工夫されている。 ○ 古典曲からポピュラーな曲まで幅広い楽曲が取り上げられる外、小学校での既習曲等が器楽用に編曲されており、生徒が自主的に学習が進められるよう配慮されている。 ○ 鑑賞教材の一部を取り上げ、鑑賞の学習を発展させて器楽の学習へとつなぐことができるようにする等、活用場面を広げ発展して学習できるよう工夫されている。 ○ 和楽器の奏法や特性の理解を通して、我が国の文化・歴史を体験的に学習することができるとともに、総合的な学習の時間に生かせる教材の配慮がなされている。 ○ 第一線で活躍するプレイヤーによる実際の演奏場面等の色彩感あふれる写真が豊富で、楽器演奏のイメージがつかみやすく、挿絵も適切である。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ イラストや写真が多く用いられ、生徒が学習しやすいように難しい言葉にはルビが振られる等、表記や表現にも配慮されている。 ○ 写真とメッセージに登用されている演奏家は若手を中心としており、生徒が親しみや興味を持って取り組めるように工夫されている。 ○ 楽譜は鮮明で読みやすく、文字サイズや文章表現は学習内容がすぐに理解できるように表記され、全ての生徒が学習しやすいように工夫されている。 ○ A B変型判で、五線の間隔が広く取られる等、楽譜が読みやすいだけでなく、各表題と楽譜が見やすく配置されており、学習内容が理解しやすいように工夫されている。 ○ 中綴じで教科書が開きやすく、演奏者への配慮がなされている。また、再生紙を使用し、環境への配慮がなされている。 						

種 目	美術	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	9 開隆堂	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	美術 7 2 6 8 2 6	書 名	美術 1 美術 2・3
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が主体的に取り組むための工夫として、視点を変える方法や生徒の内面に迫る主題設定の方法を具体的に示しており、教科等の目標を的確に反映している。 ○ 一つの題材に関連した作品が複数ページに渡って多数掲載してあり、生徒が発想を広げ、主体的に創作活動に取り組むための工夫が見られる。 ○ 美術1では、身近な自然や生活を基に創作する基礎的・基本的な学習を行い、美術2・3では、より発展的な学習を行えるよう発達段階を考慮した工夫が見られる。 ○ 様々な視点や心情の捉え方を示して、多様な表現ができるように配慮してあり、学習内容の充実と発展を図るための工夫がされている。 ○ 美術作品や文化遺産を多方面から掲載し、美術作品の見方や文化遺産の価値を学び、深めることができるよう工夫されており、資料の出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材の表現方法に関連した鑑賞題材を掲載して、表現と鑑賞を関連付けて指導できるように配慮されており、組織的かつ系統的に題材が配列されている。 ○ ねらいを持って創作したり、振り返りが自主的に行えるよう題材ごとにねらいと振り返りが設定してあり、一貫した指導ができるようまとめられている。 ○ 美術1では、基礎的・基本的な題材を中心に取り扱い、美術2・3ではより発展的な題材構成を行い、段階的に学習できるように配列されている。 ○ 2年と3年の教科書が1冊にまとめられており、2年間で柔軟に題材配列が組めるように配慮されている。各学校の年間指導計画に柔軟に対応することができる。 ○ 部活動や文具・小動物等に焦点を当てた、生活に沿う題材を設定しており、生活や地域の実態に広く対応できる題材を配列している。 						
3 学 習 関 と す 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二つの美術作品を対比させた多面的な鑑賞の題材構成をしており、思考力・判断力・表現力等を育成するための学習が展開できるように配慮されている。 ○ 生徒作品に「作者の言葉」を添えて、共感や動機付けの深化を図る工夫が見られる。技法の解説を写真や図で示し、生徒が自主的に取り組めるよう配慮がされている。 ○ 幅広い表現方法や多種多様な材料・用具を掲載した題材構成で、生徒の思いや多様な表現に対応できるように配慮されている。 ○ 日本の伝統的な美術作品と西洋の美術作品を対比させたり、西洋に影響を与えた「浮世絵」の具体例を掲載したりして、他教科との関連が図れるよう配慮されている。 ○ 表現のページではより多くの作品を掲載し、鑑賞のページでは作品を大きく見開きで掲載する等、紙面構成に工夫があり、それぞれの学習にあった配置がされている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 解説文は平易な文体で、生徒の発達段階を踏まえている。カラーユニバーサルデザインの認証を得ており、誰もが見やすいように配慮されている。 ○ タイトル文字がリズムカルに表現されており、題材に親しみが持てるよう工夫している。作品も大きく掲載しており作品の魅力がより伝わるよう配慮されている。 ○ タイトル文字はゴシック体を用いて、大きく見やすく、作品解説の文章は簡潔に理解しやすい分量で記載してある。 ○ 原寸ギャラリーのページを設けて、実際の作品の大きさを実感しながら学べるよう工夫が見られる。 ○ 表装は堅ろうである。印刷も反射を押さえて見やすく、環境に配慮したインクを用いている。 						

種 目	美術	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	3 8 光 村	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	美術 7 2 7 8 2 7	書 名	美術 1 美術 2・3
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 美術の創造活動の喜びを生徒に味わわせ、美術を愛好する心情を育むために、美術の専門的な知識だけでなく、生徒の体験や生活に根ざした題材が取り上げられている。 ○ 生徒が主体的に授業に取り組めるように、様々な作品例や表現技法のみならず、作者の言葉、制作中や完成後の生徒の表情まで多角的に取り上げられている。 ○ 巻頭詩「うつくしい！」や「特別展示室」等、言葉と美術作品の双方から、美術に対する考えを深めたり、説明し合ったりする言語活動を促すよう工夫されている。 ○ 制作過程が具体的に示され、生徒が見通しを持って表現活動を行うことができたり、生活や社会と関わる美術の働きを実感できたりするように工夫されている。 ○ 表現の題材では描く活動とつくる活動を精選し、鑑賞の題材では日本の美術文化を重視しつつ様々な国の作品を幅広く取り上げ、資料の出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表現中心の題材と鑑賞中心の題材に大きく分け、それぞれの配列やバランスが考慮され、相互に関連を図ることができるように配慮されている。 ○ 各題材ごとに「目標」や〔共通事項〕に関する問い掛けを明示し、身に付けたい力や学習のねらいを明確にしてまとめられている。 ○ 美術1では小学校図画工作科とのつながりや基礎的な内容を重視し、美術2・3では歴史や社会との関係に視野を広げられる発展的な内容の配列になっている。 ○ 「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学習を支える資料」で区分され、題材の分量や配列が適切で、各学校の年間指導計画に広く対応できるようになっている。 ○ 身近な題材や地域素材を取り上げたり、第2、3学年を一冊にまとめる等して多様な題材を配列し、生徒や地域の実態に広く対応できるように配慮されている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表現技法や用具の扱い方、形・色・材料に関する巻末の「学習を支える資料」のページを充実させ、表現と鑑賞の双方に生かせるように配慮されている。 ○ 生徒が制作していく過程や「作者の言葉」を載せたり、美術作品と併せて詩を取り上げたりして、生徒の関心・意欲を喚起するように配慮されている。 ○ 「みんなの工夫」を設け、男女一名ずつの生徒の制作過程を紹介することで、個人によって異なる感性や表現の違いに気付かせるように配慮されている。 ○ 東日本大震災を受けての美術の取組を紹介し、他者の気持ちに寄り添う美術の在り方を示す等、道徳の時間との関連が図れるよう配慮されている。 ○ 「原寸大で鑑賞しよう」では細部の表現まで見られるようにしたり、「特別展示室」では見開き4ページの図版で作品の迫力を味わえるように工夫されている。 						
4 表 現 関 と す 体 る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒に語りかけるような文章で、適切かつ簡潔に内容を表現している。また、見開きの巻頭は、学年に応じた美術の学習のねらいを印象的にレイアウトしている。 ○ 「生活に生かそう」や「発想・構想のヒント」等10種類のマークを表記し、生徒が視覚的に捉えやすく、また親しみが持てるように配慮されている。 ○ 文字の大きさや字体が適切で読みやすく、美術作品や生徒の活動の様子を取り上げた写真は、色彩や印刷が鮮明である。 ○ 見開きの巻頭や年表、「特別展示室」の観音開きのページ等、生徒が魅力を感じ、分かりやすく理解するために工夫され、図版等の大きさや配置も全体に適切である。 ○ 製本は堅ろうで、長期の使用にも耐えられる仕様になっている。また、植物油インキを使用する等、環境にも配慮されている。 						

種 目	美術	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6 日 文	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	美術 7 2 8 8 2 8 8 2 9	書 名	美術 1 出会いと広がり 美術 2・3 上 学びの深まり 美術 2・3 下 美の探求
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年間を見通したカリキュラムの中で基礎的な内容から発展的な内容を踏まえ、生徒個々の学習が深まり美術の創造活動の喜びが味わえるような題材が取り上げられている。 ○ 生徒が主体的に発想や構想ができるように、〔共通事項〕を読み取れるような生徒のアイデアスケッチや言葉の例を記載しており、制作過程を重視するように工夫されている。 ○ 生徒の発達段階を考慮した学びの視点を、「気付き・深まり・追求」とし、三分冊で構成し、段階的に学習意欲を高められるように工夫されている。 ○ 内容を「自己」、「生活」、「社会・自然・環境」に分類し、テーマ性を持たせた学習を進めることで、内容を精選して発展的な学習ができるように工夫されている。 ○ 柔軟な感受性に響くような、美術の歴史や伝統を踏まえた国内外の多様な美術文化作品を幅広く取り上げており、作品資料脇に資料の出所、出典も明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 領域や項目が色別やマークで分かりやすく系統的に配列されており、表現と鑑賞の関連性の高い内容を参照しながら学び、学習の効果があがるように配慮されている。 ○ 四つの評価の観点から学習目標として学びのねらいが明確に示されており、生徒が楽しんで意欲的に取り組みながら、豊かな情操を養えるようにまとめられている。 ○ 巻末に具体的な基礎技法や〔共通事項〕に示されている形、色彩、イメージ等のヒントとなる資料を掲載し、それを基盤に発展的に学習できるように配列されている。 ○ 「絵や彫刻など」、「デザインや工芸など」の表現と鑑賞を片寄りなく学習できるように配列されており、各学校の年間指導計画に柔軟に対応できるように配慮されている。 ○ 身近な生活や社会の中に生かされている美術の働きを取り上げることにより、多様な視点から美術を捉え、生活や地域の実態に幅広く対応できるように配慮されている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 説明文を平易な言葉で表現したり、意見を述べ合う活動を取り入れたりする等、言語活動を充実させながら主体的な学習態度の形成をすすめられるように配慮されている。 ○ 制作の動機付けのために、「POINT」として学習の手立てを示し、生徒が主体的に学習できるように配慮されている。 ○ 生徒作品にも作者の考えを掲載する等、自分では気付くことができない視点や捉え方、価値観等を語り合う言語活動を意識した学習がしやすいように配慮されている。 ○ 自分を見つめつつ、多様な価値観を認め合うことの大切さを感じる題材を取り上げ、道徳の主な価値項目と関連付けられるように配慮されている。 ○ 日本美術の鑑賞のページでは、作品を対比し、話し合いながら鑑賞を深められるように、複数の作品が提示されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 誰もが読みやすいよう二段組みの段間隔で、記載内容によって文字の大きさや色を変化させ、ユニバーサルデザインにも配慮しており、適切である。 ○ 実際に自分が制作する時にイメージしやすいように、中学生が実際に活動している場面の写真を掲載する等、生徒自身の活動に寄り添うように配慮されている。 ○ 美術 2・3 上の日本美術の鑑賞のページでは、作品を実物大で提示し、紙質を和紙にする等、より本物に近い状態で鑑賞できるように見やすく工夫されている。 ○ AB判を採用することで、図版のレイアウトに余裕があり、特に見開きの部分は、迫力があり、生徒の興味・関心を喚起するように工夫されており、バランスも適切である。 ○ 製本は体裁がよく堅ろうで、再生紙と植物油インキを使用しており、環境に配慮されている。 						

種 目	保健体育	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 東 書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保 体 7 2 5	書 名	新編 新しい保健体育
1 記 述 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯を通して運動に親しみ健康の保持増進を図る内容構成になっている。心と体を一体としてとらえ、保健編・体育編の両面から教科の目標を的確に、反映している。 ○ 健康・安全に関する理解を通して、自らの健康を適切に管理し、生活改善できる能力を身に付けられることができるよう工夫されている。 ○ 生徒の興味・関心を高め、学習内容を深めることができる「読み物資料」を随所に設けている。また、「章末資料」を掲載し、個に応じた学習につながるよう工夫されている。 ○ 学習の流れの中に、「考えてみよう」「生かそう」等、既習の知識を活用して取り組む活動や自分の生活に生かす活動例の紹介等、実践力を身に付けられるよう工夫されている。 ○ 新しい資料が適切に配置されており、学習効果が上がるよう配慮されている。また、資料の出典が、明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健編・体育編の内容を、学年別に配列し、各学年の学習内容が明確である。各章扉では、小・中・高で学習することを明示してあり、系統性に配慮されている。 ○ 見開き2ページを1単位時間で学習する構成になっており、学習課題が把握しやすく、見通しをもって取り組むことができるまとまりのある内容となっている。 ○ 基礎的・基本的な事項が、本文において簡潔にまとめられている。また、発展的な学習内容については「発展マーク」で明示して掲載する等、適切に配列されている。 ○ 学年ごとに保健分野と体育分野が連続して掲載されている。学習指導要領に示された標準時数内での内容構成であり、各校の指導計画に対応可能である。 ○ 各章末に「章末資料」を設け、学習内容に関連する補充資料を豊富に掲載しており、地域の実態に広く対応できるよう工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な事項について、習得した知識を活用する場が設けられ、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 ○ 各ページ下に「保健体育クイズ」を設け、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。また、今日的課題を重視した資料も豊富であり、自主的な学習を促すよう配慮されている。 ○ 事例を用いたディスカッションやロールプレイング等の学習方法が紹介され、多様な能力や特性を持った生徒の学習に対応できるよう配慮されている。 ○ 「他教科マーク」が随所に設けられ、他教科の学習内容との関連を簡潔に示している。防災や食育等も取り上げられ、他教科等の内容と関連が図れるよう配慮されている。 ○ 筋肉、骨格、内臓の精密なイラストが掲載される等、学習内容をより分かりやすくする工夫がされている。また、写真や図表も豊富で効果的に配置されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年に応じた引用漢字や専門用語にルビを振る等、分かりやすい表記、表現になっており適切である。 ○ 巻頭口絵では、今日的なテーマを取り上げダイナミックなレイアウトで「スポーツの素晴らしさ」等を伝える資料が豊富であり、生徒が魅力を感じられるよう配慮がなされている。 ○ 全ての文字にユニバーサルデザインフォントを使用しており、可読性を高めている。また、本文は明朝体、キーワードはゴシック体と統一され、見やすい表記となっている。 ○ ワイド紙面で、学習の流れが一目で分かるレイアウトになっている。図や写真が鮮明で効果的に配置され、レイアウト、バランスともに適切である。 ○ 製本は体裁が良く堅ろうであるとともに、再生紙と植物油インキを使用しており、環境に配慮されている。 						

種 目	保健体育	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 大日本	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保体 7 2 6	書 名	新版 中学校保健体育
1 記 述 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体力向上や健康に対する理解を深め、知識を適切に実践していくための資質や能力の基礎を育成できるような工夫がなされ、教科の目標が的確に反映されている。 ○ 自らの生活を振り返ることから学習を始める問題解決型の学習展開が基本となっており、健康的なライフスタイルを確立しようとする意欲を持たせる工夫がされている。 ○ 各小単元のねらいが課題文形式で簡潔に提示されており、生徒の課題把握が容易で見通しを持って学習に取り組むことができ、学習意欲向上への工夫がなされている。 ○ 学習内容の明確な解説と豊富な資料、活用のための手立てが示されている。各編末に発展的な内容が掲載され、学習内容の充実と発展を図る工夫がなされている。 ○ 学習内容が理解しやすく、深められる資料が小単元や章末、編末に多数掲載され、出典が明示されている。 						
2 組 織 関 連 す る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に合わせた体育編・保健編の順番で学年別に内容が系統的に配列されており、学習効果が上がるよう配慮がなされている。 ○ 各単元ごとのねらいが学習課題として明確に示されており、課題解決型で学習を進めることができるまとまりのある内容となっている。 ○ 各章末に「重要な言葉」と「学習の要点」として基礎的・基本的な事項を、また各編末に「発展的な学習」として発展的な事項が適切に配列されている。 ○ 学習指導要領に示された標準時数内での内容構成で、単元により配当時間に幅を持たせてあり、各校の指導計画に応じて柔軟に対応できるよう配慮されている。 ○ 学習内容に関連が深い話題や読み物が「トピックス」として豊富に掲載されており、生徒の生活や地域の実態に結び付けることができるよう工夫されている。 						
3 学 習 関 連 す る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元とも課題解決型で、課題把握から理解、そして発展へという学習活動が展開されるように構成され、主体的な学習態度の形成を促す配慮がなされている。 ○ 資料や身近な事例を用い、既習の知識を活用して解決に取り組ませる活動課題が設定され、学習の動機付けと自主的な学習を促すための配慮がなされている。 ○ 学習を行う上で参考となる知識が「トピックス」として豊富に掲載されていることにより、生徒の多様な能力や特性への対応を図ることが可能である。 ○ 保健分野では、環境保全や災害安全、食育等が取り上げられ、総合的な学習の時間や家庭科との関連に配慮されている。 ○ 挿絵、図表、写真等が豊富で、分かりやすく組み合わせられており、学習内容の理解と定着につながるよう、適切に配置されている。 						
4 表 現 関 連 す る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は、簡潔で分かりやすい表現で統一されている。また、難しい用語には脚注を付けたり、ルビを付けたりする等、誰もが使いやすいよう配慮されている。 ○ アスリートや中学生のスポーツ場面の写真や生活に密着した資料を掲載し、生徒の興味・関心を喚起するよう配慮がなされている。 ○ ルビにはユニバーサルデザインフォントを用い、読みやすい工夫がなされている。また、色使いにも配慮され見やすいものとなっている。 ○ ワイド紙面のため資料が大きく掲載されている。また、本文と資料のレイアウトに統一感があり、バランスも適切である。 ○ 製本はアジロ綴じであり、表紙には丈夫で汚れにくい加工が施され、堅ろうである。環境に配慮した紙と植物油インキを使用している。 						

種 目	保健体育	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	5 0 大 修 館	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保 体 7 2 7	書 名	保 健 体 育
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健やかな心身を養うとともに、将来にわたって運動に親しみ、健康で生き生きとした人生を送るために役に立つ内容で編さんされ、目標が的確に反映されている。 ○ 体育分野と保健分野を人生を健康で豊かにするという観点に関連させ、運動に親しみ体力を高め、健康に生活していく資質や能力の育成を図るよう工夫されている。 ○ 2020年の東京オリンピック・パラリンピックを取り上げたり、中学生が関心をよせる今日的課題を多く紹介したり、興味や関心が高まるよう工夫されている。 ○ 学習内容や文言が精選され、文章で説明する部分と表やグラフで説明する部分が効率よく分けられている。 ○ 新しい資料を使って内容が編集されており、図表の出典も巻末に一覧表にして明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育編・保健編の順番に編成されている。学習指導要領の記載順番に沿って内容が系統的に配列され、学習効果があがるよう配慮されている。 ○ 各章の始めに平易な言葉でねらいが示され、各章の最後に復習や生活への応用及び発展的な学習課題が示されており、まとまりのある内容となっている。 ○ 文章は簡潔で平易に書かれており、基礎的・基本的な学習内容が確実に定着できるよう配慮されているとともに発展的な事項も適切に配列されている。 ○ 重要学習項目に多くの紙面を割いている。学習指導要領に示された標準時数内での内容構成であり、各校の指導計画に幅広く対応できるよう配慮されている。 ○ 自然災害への備えについて写真を多く掲載し、宮城県内の中学生の震災に関する文章を紹介する等、地域の実態に広く対応できるよう工夫されている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章や項目の始めには問い掛ける言葉による導入がある。章末や項目の最後には自ら調べたり考えたりする課題が示されており、思考力・判断力・表現力等を付けつつ基礎的・基本的な内容が習得できるよう配慮されている。 ○ 「保健体育の学び方」のページを設定して自主的な学習を促すよう配慮されている。 ○ 文章は具体性や論理性が重視され、課題は基本的なものから発展的なものまで用意されており、生徒の多様な能力や特性に対応することができるよう工夫されている。 ○ 本文に関係するインターネット上のホームページアドレスが示されており、生徒が調べ学習を行いやすい。また、他教科とも関連が図られるよう配慮されている。 ○ 図表や写真が豊富で、図版の中でも重要事項が吹き出しで解説されている。本文の内容を裏付けたり、理解を助けたりするよう配置されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文に薄黄色の下地を用いたり、余白に注釈を配置したり、また、コラム欄を設けたりする等、読みやすさや分かりやすさに配慮した表し方となっている。 ○ 様々な制服や運動着の中学生をイラストにしたり、有名スポーツ選手の写真を掲載したり、中学生が親しめるよう配慮されている。 ○ 見出し、重要語句、本文、注釈、コラム欄ごとに活字の大きさや太さ、フォントや色を変えてあり見やすい表記となっている。 ○ 図表や写真は、本文との関連で大きさやカラーを使い分けており、レイアウト、バランスともに適切である。 ○ ユニバーサルデザインに配慮するとともに、環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。また、体裁がよく堅ろうである。 						

種 目	保健体育	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 4 学 研	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保 体 7 2 8	書 名	新・中学保健体育
1 記 述 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるために必要な基礎的・基本的な内容が重視されており、学習指導要領の目標が的確に反映されている。 ○ 今日的な健康問題を多く取り上げ、健康なライフスタイルを確立する観点に立って学習を進められるよう工夫されている。 ○ 各章の扉では、小学校と高校の学習内容を紹介し、系統性を重視するとともに、見通しを持って学習が進められるような配慮がなされ、学習意欲を高めるための工夫がされている。 ○ 基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせるような配慮がなされている。既習事項を活用した「実習」もあり、発展的内容にも取り組めるよう工夫されている。 ○ 学習内容に適した新しい資料や現代的な健康課題、題材が豊富に掲載されている。また、資料の出所や出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小・中・高の系統性を意識して内容が編成されている。保健編から体育編の順に掲載され、相互の関連が十分に図られ、学習効果があがるよう配慮されている。 ○ 見開き2ページを1単位時間で学習する構成になっており、單元ごとにねらいが示されており、まとまりのある内容となっている。 ○ 本文と資料で、基礎的・基本的な事項をおさえ、「章のまとめ」によって習得した知識を確認できる。「活用しよう」で、発展的な学習につなげられるよう配列されている。 ○ 学習指導要領の内容に従った構成・配列がなされている。課題学習の時間も想定に入れた上で標準時数内の構成であり、各校の指導計画に合わせた対応が可能である。 ○ どの章においても、生徒の実際の生活場面から問題や課題が提起され、生徒の実生活や地域の実態に広く対応できるよう工夫されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適所に作業課題が配置されており、基礎的・基本的な内容の定着を図り、思考力・判断力・表現力等を育むよう配慮されている。 ○ 資料やコラムで中学生の事例を取り上げたり、口絵や扉で様々な仕事を紹介したりする等、生徒が意欲的に学習に取り組めるよう配慮がなされている。 ○ 生活と結びついた課題解決的な活動や課題を取り入れており、多様な能力や特性を持った生徒の学習に対応できるよう配慮されている。 ○ 他教科や道德教育等との関連を十分に図り、重要な内容については、保健体育独自の観点から取り上げるよう配慮されている。 ○ 各時間の冒頭に「学習の目標」と「キーワード」を明示し、その時間で学ぶことや学習の進め方が分かるように工夫されている。補助資料や図表、写真等が適切に配置されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が読みやすいよう、ルビを振る等の配慮がされている。また、本文は、理解しやすいように平易な文章になっており、表記や表現が適切である。 ○ オリンピアンからのメッセージや学習内容に関連した人物の功績等が豊富に紹介され、生徒が魅力を感じられるよう配慮されている。 ○ 活字の大きさや書体が適切であり、図解やグラフ等はカラーユニバーサルデザインに配慮しており、視覚的にとらえやすく、見やすい表記となっている。 ○ 豊富な情報量でも見やすくなるように、図表等がレイアウトされている。本文と資料のバランスもよく、配置も適切である。 ○ 環境に配慮した紙と植物油インキを使用しており、環境負荷の少ない方法で印刷されている。 						

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発行 者の 番号 ・ 略 称	2 東 書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	技術 7 2 4	書 名	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
1 記 述 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの内容は、生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術との関わりについての理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度の育成を目指した教科の目標を的確に踏まえている。 ○ 学習内容に関わる実験例が数多く取り上げられており、生徒の興味・関心を踏まえた指導の工夫改善ができる内容となっている。 ○ 見開きの「パラパラ写真」や脚注の「ひとくちQ&A」等、学習内容に関連する事柄を多面的に取り上げており、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されている。 ○ 四つの内容とも、技術を環境的、経済的、社会的側面から評価し、活用する学習を取り上げており、学習内容の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。 ○ 学習内容に関わる写真や資料が多く取り上げられ、出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 関 連 す る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活や社会と技術との関わりでの理解、実践的・体験的な学習を通じた知識や技術の習得、技術を評価し活用する内容等、系統的な配列となっている。 ○ 学習のまとまりごとに、目標、学習内容と活動、まとめの活動が設けられており、ねらいに沿った学習ができる配列となっている。 ○ 「基礎技能」や「ポイント」、「技術の評価」、「発展」等がマークで示され、基礎的・基本的な事項の習得や発展的な学習ができる適切な配列となっている。 ○ 基礎的・基本的な知識や技術の習得に関わる内容が充実している。また、製作例が多く示され、各学校の実態に応じた年間指導計画に対応できるよう配慮されている。 ○ 身近な生活や社会の中で活用されている技術についての写真や資料、事例が多く示され、生徒の生活や地域の実態に応じた指導計画に対応できるよう配慮されている。 						
3 学 習 関 連 す る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製作や制作、育成の学習では、生活の中で技術に関わる問題に気づき、計画、実行、評価、改善の流れを実践しながら問題解決能力が育成できるよう配慮されている。 ○ ガイダンスは、技術についての生徒の興味・関心を高め、学習への動機付けとなる内容になっている。また、3年間の学習の見通しが持てるよう配慮されている。 ○ 豊富な資料と多様な実習例が示されている。また、作業のポイントや安全面の留意点が示され、生徒の多様な能力や特性に対応できるよう配慮されている。 ○ 他教科との関連がマークを用いて分かりやすく示されている。また、環境や防災、伝統文化との関わり等、総合的な学習の時間との関連についても配慮されている。 ○ 図表や挿絵、写真が効果的に配置されている。技術の発達と社会や生活の変化、現実の社会の中で活用されている技術について分かりやすく示されている。 						
4 表 現 関 連 す る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒に分かりやすい表現が使われている。また、漢字のルビや専門用語についての解説等、生徒の学習活動が表記や表現上の問題で途切れないよう配慮されている。 ○ 学習を案内するキャラクターが設定され、予想される生徒の疑問や考えが吹き出しに示されている。学習内容を身近に感じ、主体的に学習できるよう配慮されている。 ○ ユニバーサルデザイン書体が用いられている。また、配色やデザインは目に優しく写真の質感が豊かに表現されており、印刷も鮮明である。 ○ 見開きページに、目標、学習活動、まとめがバランス良くレイアウトされている。また、基礎的な技能がまとめて掲載され、生徒の主体的な学習に配慮されている。 ○ 再生紙と植物油インキが使用され、地球環境や環境保全に配慮されている。A B判サイズでつくられており、堅ろうなつくりとなっている。 						

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	6 教 図	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	技術 7 2 5	書 名	新技術・家庭 技術分野
1 記 述 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの内容とも生徒が「学びたい」「つくりたい」と思うような製作題材が多く、実践的・体験的な学習活動が設定されており、教科の目標を的確に踏まえている。 ○ 製作例が多く取り上げられている。生徒の生活と日常の技術の発達と関連させており、生徒の興味・関心を踏まえた学習活動が展開できる内容となっている。 ○ 生徒が実際に製作できる製作題材・実習題材が数多く掲載されており、生徒の興味・関心を喚起するよう工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な知識・技術の習得を重視している。製作課題以外にも実験や実習例を掲載し、生徒の興味に合わせて実践的・体験的な活動ができるよう工夫されている。 ○ 作業内容、工具の使い方について、写真や資料を多く用いて示し、生徒が参考にしながら安全に実験・実習できるよう工夫されている。資料等の出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製作や実習等の実践的・体験的な学習活動を通して習得させたい事項が章ごとに記載されているねらいに沿った配列となっている。 ○ 四つの内容とも教科の目標を踏まえ、生活と技術との関わりを重視して「実験」や「実習」といった項目を立て、体験的な学習ができる配列となっている。 ○ 基礎的・基本的な事項が「基礎技能・知識」として明確に示されている。更に発展的な実習題材を掲載することで発展的な学習にも対応できる適切な配列となっている。 ○ 基礎的・基本的な事項を中心に組織されており、3年間を見通した指導計画の作成に余裕を持って対応できるよう配慮されている。 ○ 生徒が興味・関心を持つ題材・実習を多く取り上げており、生徒の実態、地域性に広く対応できるよう配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習のポイントとなる場面に「実験」や「実習」の項目を設定する工夫が見られ、体験的な学習ができるよう配慮されている。 ○ 各領域のおわりに「まとめ」と「章末問題」を設定し、学習内容の習得の確認、自主的な学習ができるよう配慮されている。 ○ 多様な製作題材、実習題材とともに実験が例示されており、生徒の多様な能力や特性に広く対応できるよう配慮されている。 ○ 生活と技術について、小学校での学習事項や他教科との関連を図ることができるよう配慮されている。 ○ 作業工程や工具の使い方について、示範となる写真を掲載している。全体的にイラストや図版を活用して生徒の興味・関心を高める工夫が見られる。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は、生徒が分かりやすく、呼び掛けるような表現が使われている。重要語句は太字で表記されている外、発達段階を考慮して漢字にルビが付けられる等、配慮されている。 ○ 製作題材、実習を多く取り上げるとともに写真や図版を用いることで、生徒の学習意欲を高め主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインの考え方に基づいて編集されており、色彩は目に優しく、写真や図版が分かりやすい構成となっており、印刷も鮮明である。 ○ 口絵の大きなイラストや領域の小さな写真・図版まで生徒が読み取りやすく配置されている。また、誌面に適度な余白があり、レイアウトがすっきりとして見やすく配慮されている。 ○ 再生紙、植物油インキを使用しており、環境に配慮したつくりとなっている。また、製本は堅ろうなつくりとなっている。 						

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	9 開隆堂	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	技術 7 2 6	書 名	技術・家庭 (技術分野)
1 記述内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 四つの内容は、生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を図る内容となっている。実習等の実践的・体験的な学習活動が設定され、教科の目標を的確に踏まえている。 ○ 四つの内容とも身近な題材を取り上げ、生徒の生活と関連させる内容となっている。また、問題解決的学習を通して、進んで生活を工夫する実践的な態度を育てる内容となっている。 ○ 学校での学習と家庭や社会における実践との関連が図られており、生徒の発達段階に応じた内容・記述となっている。循環型社会に対応していく態度が身に付くよう工夫されている。 ○ 基礎・基本と参考・発展等の区分を明確にしており、学習内容の精選と重点化が図られ、学習内容の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。 ○ 実践的・体験的な学習活動を通して、生活と技術の関わりについて理解を深める題材設定がなされている。適切な資料が掲載されており、出所・出典についても明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ ガイダンスと3年間の学習のまとめとなる学習を配置している。学習の意欲付け、基礎・基本の確実な習得、生活での評価・活用の順に学習の効果があがる配列となっている。 ○ 四つのいずれの内容においても、教科の目標を踏まえ、日常生活や社会との関わりを重視したまとまりのある配列となっている。 ○ 実習例として基本的なもの他、参考・探究・応用的なものまで多様なものが取り上げられており、基礎的・基本的な事項から発展的な事項に至るまで適切な配列となっている。 ○ 生徒の実態に即した内容や活動が準備されており、各学校の実態に応じて3年間を見通した年間指導計画の立案・実践に柔軟に対応できるよう配慮されている。 ○ 技術の発達と生活との関連、日本の伝統技術を取り上げ、技術に関する職業や生活との関連を示しており、生徒の生活や地域の実態に対応できるよう配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な生活から課題を見付け、問題を解決する学習活動ができるよう配慮されている。成果の発表や自己評価、相互評価が設定されており、言語活動の充実について配慮されている。 ○ 学習項目の冒頭に「学習の目標」が示され、学習の節目には「ふり返り」「まとめ(自己評価)」が設定され、生徒の意欲を重視した学習内容の定着が図れるよう配慮されている。 ○ 参考事項に発展的な記述とともに、各頁下には「豆知識」、各頁上には「工具類」が示されており、生徒の興味、多様な能力や特性に広く対応できるよう配慮されている。 ○ 「リンクマーク」を用いて、家庭分野をはじめ、情報モラル、他教科の内容との関連付けがなされている。また、「安全」マークを用いて、生徒が安全に学習できるよう配慮されている。 ○ 基礎的・基本的内容の理解を助けるため、分かりやすい図版、イラスト、写真をバランスよく配置している。特に、生徒の目線での撮影や描写等の工夫が見られる。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「思い出してみよう」、「調べてみよう」、「考えてみよう」等、課題提示や課題把握、内容の説明が生徒に分かりやすい表記・表現になるよう配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な事項をはじめ、生活での活用について、図表や写真を豊富に取り入れ、ものづくりや技術の魅力を伝えられるよう配慮されている。 ○ 活字の大きさは見やすく、基礎的・基本的な事項から発展的な事項まで色彩が目優しく、印刷も鮮明である。 ○ 生徒が興味・関心を持って学習に臨めるよう、写真・イラスト・図表を用いており、文字の色彩のバランスが良く、作業の際にも見やすく参考となるよう配慮されている。 ○ カラーバリアフリーデザインに配慮し、生徒に見やすいものになっている。環境に配慮し、再生紙、大豆油インキを使用しており、堅ろうなつくりとなっている。 						

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 東 書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	家 庭 7 2 4	書 名	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
1 記 述 内 容 関 し る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に準拠し、小学校家庭科の学習を基盤として問題解決的な学習を繰り返すことで、生活をより良くしていくことができるよう配慮されている。 ○ 「家庭分野のガイダンス」の学習を冒頭に設け、小学校家庭科の学習を振り返るとともに中学校3年間の学習に見通しを持って学習できる内容で構成されている。 ○ 食生活・衣生活等の消費行動を例に意思決定のプロセスが示され、生徒が自信を持って物事を判断し、決定、実行できるよう工夫されている。 ○ 学習内容が精選されており、現在または将来直面するであろう場面を具体的に実践例や活動例として取り上げ、実生活と結び付けて学習できるように工夫してある。 ○ 食品成分表や取り扱い絵表示資料・図表等、どの資料にも、出所、出典が適切に明示されている。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各編「編の導入」、「基本ページ」、「学習のまとめ」で構成され、学習効果があがるよう配慮されている。 ○ 各内容のねらいは、小学校からの連続性や継続性を考慮して学習が深められるように構成されており、ねらいが明確で内容のまとまりがある。 ○ 「基礎技能ページ」等、生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着させる学習と必要に応じて学習できる発展的な学習が適切に配置されている。 ○ 内容に対する配当時数に余裕を持たせるように設定しており、各学校の年間指導計画に広く対応できる。 ○ 「自分や家族・地域を守る日頃からの備え」を巻頭資料に示し、甚大な被害を受けた地域ならではの備えや教訓、心構えが示されており、宮城の実態に広く対応できる。 						
3 学 習 関 と す 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的な技能を習得するための練習題材が設けられており、調理や製作を通し、技能が習得できるよう工夫されている。 ○ 人々が性別や世代を超えて協力している場面や、環境に配慮している場面、地域の伝統文化に触れている場面が提示され、自主的な学習を促すよう工夫されている。 ○ 練習題材や調理実習の手順が見開きになっており、基本ページは、一目で学習内容が見渡せ、見通しを持って学習できるように配慮されている。 ○ 「リンクマーク」、「他教科マーク」、「小学校マーク」を付け、より多角的に学べるよう配慮されている。 ○ 基礎技能についてポイントを捉えて表示し、写真を多く取り入れることによって分かりやすく、作業工程の流れも一目で確認できるように配置されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 科学的、論理的な思考力・判断力・表現力等の育成を意図し、言語活動や問題解決的な学習を生徒が主体的に進められるように表記・表現が工夫されている。 ○ 横の流れで統一された実習例等、読みやすく、見て分かるようにするための工夫がされている。 ○ 誰もが使いやすいユニバーサルデザイン書体を用い、全ページにわたって配色やデザインに配慮がなされ、目にやさしい印刷になっている。 ○ 食品の写真等は鮮やかに、人物はあたたかみのある表情で載せてあり、レイアウトバランスも適切である。 ○ 製本は開きやすい最新の接着剤を使用し、環境に優しく、堅ろう性も十分である。小学校で馴染んだA B判サイズを採用している。 						

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	6 教 図	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	家 庭 7 2 5	書 名	新 技 術 ・ 家 庭 家 庭 分 野
1 記 述 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された「目標」や「内容」を踏まえ、自ら考え、自分らしい生活をつくることができるよう配慮されている。 ○ 生徒同士が意見を出し合ったり、協力したり、関わりを持ちながら学習できるように題材が工夫され、課題解決能力を育む学習活動を充実させることができる。 ○ 中学生の視点を大切にしており、「自立度チェック」、「クイズ」等を記載し、より生徒が興味関心を持ちながら、主体的に取り組めるよう工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な内容に加え、実践的・体験的学習を多く掲載している。また、「生活の課題と実践」では、実践しやすいように具体的で分かりやすい例を挙げている。 ○ 資料の出所、出典が明示され、様々な観点から考えることのできる図表や写真等の資料が豊富に示されている。 						
2 組 織 関 連 す る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「導入」「基礎的・基本的な学習内容」「実習、実験」「学習のふり返し」「発展的な学習内容」で構成され、系統的に学習することができるよう配慮されている。 ○ 各節ごとに「学習の目標」や「キーワードチェック」、内容のまとめりごとに「学習のふり返し」を設け、基礎的・基本的事項が分かりやすい構成になっている。 ○ 基礎的・基本的な内容を厳選して適切に記述している。また、話し合い、観察、調査、実験、実習等の実践的な学習活動が適切に配列されている。 ○ 区分が明確で、短時間でもできる実習例や資料も豊富である。また、他領域との関連も分かりやすいので、学校の実態に合わせた指導計画の作成に対応できる。 ○ 地域について調べる実習や郷土料理の紹介等、それぞれの地域で活用しやすい工夫や豊富な実習例により、地域や学校の実態に対応できる。 						
3 学 習 関 連 す る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容ごとに「学習のふり返し」を設け、また、生徒同士が意見を出し合ったり、協力し合ったり、関わりを持ちながら主体的に学習できるように題材が工夫されている。 ○ 中学生が知りたいことを多く取り上げ、各内容ごとに生徒の気づきを促し、自ら考えたり、調べたりする学習ができるよう工夫されている。 ○ 各内容の始めに自分の生活を振り返らせる内容を設けるとともに、適宜、原寸大の写真、「参考」や「ポイント」が示され、生徒の多様性に対応する工夫がされている。 ○ 他教科との関連が必要に応じて示されている。また、「生活の課題と実践」で学習したことをもとに更に学習を広げていく手順や方法を示している。 ○ イラスト、写真、図を多く使用し、生徒が効果的に楽しく学習できるように適切に配置されている。 						
4 表 現 関 連 す る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字の大きさや行間に余裕を持たせる等、読みやすさに配慮している。また、中学生の視点を大切に簡潔で分かりやすい文章表現になるよう工夫されている。 ○ 親しみの持てるイラストやキャラクターのつぶやき、導入の「自立度チェック」、「クイズ」等は大きな動機付けになっている。 ○ 書体や文字組等が適切である。また、目に優しい色使いがされており、内容のまとめりごとに違いが分かるような色分けがされている。 ○ 本文と他の資料の地の色を変え、資料等も適切に配置する等の工夫がある。また、重要語句を太字で表記する等、読みやすさ、分かりやすさにも配慮している。 ○ 製本は堅ろうであり、ユニバーサルデザインの考えに基づいて編集されている。また、環境に配慮し、再生紙、植物性インキを使用している。 						

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	9 開 隆 堂	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	家 庭 7 2 6	書 名	技 術 ・ 家 庭 (家 庭 分 野)
1 記 述 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、「自立」と「共生」を教科書全体のテーマとして構成されている。 ○ 自己の生き方を見通しを持って見つめ、地域や社会とのつながりを課題意識を持って考えられるように配慮されている。 ○ 小項目ごとに学習のめあてを明確にし、「話し合ってみよう」、「考えてみよう」等で身近な場面を想定した導入課題を取り入れ、学習意欲を喚起する工夫がされている。 ○ 本文では、基礎・基本的な学習の内容を重視し、「発展」、「探求」、「参考」のページでは学習を深められるよう工夫している。 ○ 資料の出所、出典が明示され、科学的な視点、共生の視点（人権・男女平等・ノーマライゼーション）等、多面的な見方ができる内容になっている。 						
2 組 織 関 連 す る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の各小項目に学習の目標が明記され、「導入課題」、「本文」、「ふり返り」という構成で、基礎的・基本的な知識と技能を系統的に学習できるよう配慮されている。 ○ 各内容の最初に見開きで学習のめあてと各学習項目を示し、各内容のガイダンスによって動機付けができるようにしている。小項目は見開きで見やすく構成されている。 ○ 「導入課題」、「基礎学習」、「基礎的内容に基づいた学習」、「発展・探求」、「ふり返り・まとめ」と展開し、内容も適切で学習しやすいように配列されている。 ○ 基礎的・基本的事項に加え、豊富な実習例や問題解決的な学習、まとめるための学習等を充実させているので、各学校の年間指導計画に広く対応できる。 ○ 学習指導要領に合わせたA B C Dの配列を取りながら、リンクマークにより、A B C Dの相互関連を図り、生徒の生活や実態に広く対応できるよう配慮されている。 						
3 学 習 関 連 す る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実践的・体験的な学習活動を豊富に設定し、基礎的・基本的知識や技能の確実な習得を図り、問題を解決する力が育つよう工夫されている。 ○ 実習・製作ページでは、作業の流れや手順を図式化して視覚的に分かりやすく表現し、見通しを持って、意欲的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ ページ下の「豆知識」には学習に関連した情報を豊富に取り上げ、爪見出しには写真等を挿入する等、生徒の多様な興味や関心にも対応できるように配慮されている。 ○ 消費者教育および環境教育に配慮し、持続可能な社会の構築の観点から循環型社会に対応できる態度が身に付くよう関連付けられている。 ○ 挿絵、図表、写真等は適切に配置されており、「生活の課題と実践」は巻末にまとめて掲載し、学習しやすくなっている。 						
4 表 現 関 連 す る 裁 こ 等 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容のまとまりごとに色を変え、奇数ページに爪見出しを設ける等して、学習しているところがどこであるのかが常に分かるよう工夫されている。 ○ 図・イラスト・写真を多数使用し、必要度に合わせて大きさを変え、生徒の目線に沿うように工夫されている。 ○ カラーバリアフリーに配慮してあり、色彩以外でも必要な情報が得られるように輪郭線や文字を併用する等の配慮が見られる。 ○ 実物大の食材等、必要に応じて折り込み3ページ見開きで示したり、中学生の視点から撮影した写真の掲載をする等、全体的に生徒を意識した構成になっている。 ○ ユニバーサルデザイン機構により認証された製品であり、多くの生徒に見やすい配慮がなされ、製本は堅ろうである。 						

種 目	英 語	発行者の 番号・ 略称	2 東 書	教科書 の記号・ 番号	英語 7 2 7 8 2 7 9 2 7	書 名	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3
1 記述内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年間を通して、互いの考えや気持ちを伝え合う等の言語活動の例が数多く配置され、コミュニケーション能力の基礎を養う工夫がなされている。 ○ 各単元の目標が明確に示され、生徒自身がその単元での学習の到達目標が分かるように工夫されている。 ○ 「言語の使用場面」、「言語の働き」が明確に示されている。特に Daily Scene では生徒の日常生活に即した場面の表現を取り上げ、生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。 ○ 落語や浮世絵等の伝統文化から最新のポップカルチャーまで幅広く取り上げ、自国の文化への理解を深める内容となっている。 ○ 欧米だけでなく、アジア、アフリカ等、様々な国や地域の人々が紹介され、多様な文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年の入門期において、小学校外国語活動を振り返る Hi, English! と音声から文字指導への導入となる Unit 0 を配置し、小学校からの円滑な接続が図られている。 ○ 「道案内」や「電話の会話」の題材が段階的に3年間継続して扱われている。言語材料の難易度を上げながら基礎的な知識や技能の定着が図られるよう工夫されている。 ○ Unit, Daily Scene, Presentation の各練習問題が基本的なものから応用的なものへと段階的に配列され、文法事項の着実な定着が図られるよう配慮されている。 ○ 各学校の年間指導計画において、弾力的な運用ができるよう英文の分量や語数が学年に応じて適切に配置されている。 ○ 読み物教材として Further Reading が配置され、生徒の実態に応じて発展的な学習への対応ができるよう配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法事項と語彙の習得を目指す Unit、コミュニケーション活動で語彙や言語材料を活用する Daily Scene、自己表現活動を通して発信する Presentation の3部構成で、4技能を総合的に育成するよう工夫されている。 ○ 「学び方コーナー」において、辞書の使い方や発音記号、5つの文構造等を取り上げ、主体的な学習態度を促すとともに、生徒の多様な学びに対応する工夫がなされている。 ○ Unit では、学習のまとめとして「書く」活動を配置し、学習内容の定着を確認することができるよう工夫されている。 ○ 第1学年で「注文の多い料理店」の英語版、第2学年で「職場体験」、第3学年で「フェアトレード」等を取り上げ、他教科や総合的な学習の時間との関連が図られるよう配慮されている。 ○ 題材に合わせて、豊富な写真やイラストが適切に配置されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年用の英文書体はブロック体を使用しており、生徒にとって読みやすく、また、アルファベットに慣れていない生徒に配慮されている。 ○ Daily Scene では3年間を通して同じキャラクターが登場し、生徒が親しみを感じるよう工夫されている。 ○ A4ワイド判の紙幅を生かし、写真やイラスト、図表等が豊富に掲載されている。また活字が大きく、色彩も鮮明である。 ○ どの単元においても語句や基本文等の言語材料が同じ場所に配置され、学習活動の流れが分かりやすいよう工夫されている。 ○ 再生紙・植物油インキを使用し、環境への配慮が見られる。また、製本も堅ろうなつくりとなっている。 						

種 目	英 語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	9 開隆堂	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	英語 7 2 8 8 2 8 9 2 8	書 名	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3
1 記 述 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ セクションごとに4技能がバランスよく配置され、コミュニケーション能力の基礎を養う内容となっている。 ○ 学期ごとの具体的な学習の到達目標が My Project として設定されており、生徒が見通しを持って学習を進めることができるよう工夫されている。 ○ 入門期には豊富な Listening を取り入れ、身近な日常生活を話題の中心とし、学年が上がるにつれて環境や人権が提示される等、生徒の発達に応じた内容になっている。 ○ 3年間の学習の中で4技能を重点的に伸ばすために、「聞くこと」「話すこと」「書くこと」を焦点化して学習することができる内容となっている。 ○ 日本だけでなく中国、トルコ等世界各地に目を向け、環境問題や勤労の尊さ、平和や人権の大切さを広い視野で考え、気付くことができるよう配慮されている。 						
2 組 織 関 連 す る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教授法の基本となる PPP(Presentation, Practice, Production)の順にセクションが構成され、生徒に学習の流れが分かるように配慮されている。 ○ 基本文が Basic Dialog の形で対話形式で提示され、生徒が文脈の中で意味を理解することができるように工夫されている。 ○ My Project として各学年に3か所設置され、生徒がマッピングを活用して英文を構成する技能を身に付けながら、表現力を高める工夫がされている。 ○ 入門期に外国語活動とのつながりに配慮され、第3学年の Reading の単元のQ & A は全て英語にする等、高校での学習につながるような配慮がされている。 ○ セヴァンスズキ、マララのスピーチの他、オリンピックの話題から宮城県出身の佐藤真海さんを取り上げる等、地域に関連した題材が取り上げられている。 						
3 学 習 関 連 す る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各セクションで基本表現を使ったコミュニケーション活動を行い、学習のまとめとして自己表現に結び付けるよう設定されている。 ○ 有名人へのインタビューや回転寿司等、生徒にとって身近な話題が取り上げられ、興味・関心を持って学習に取り組むことができるよう配慮がされている。 ○ 学習の到達目標の一つとして、4技能と言語材料、考えをまとめる学習が各学年に配置され、段階を踏んだ学習ができるよう配慮されている。 ○ 職場体験や美術で学習する「鳥獣戯画」を題材とする等、他教科等との関連に配慮されている。 ○ 「できるようになったことリスト」が各学年に巻末資料としてあり、生徒が学習の成果を確認することができるよう工夫されている。 						
4 表 現 関 連 す る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生で使用される文字はブロック体を主体とし、活字体が生徒の学習の負担にならないような配慮がされている。 ○ 各学年の表紙にはテーマが設けられ、国際社会を意識したデザインとなっている。また、イラストやレイアウト等が発達段階に応じたものになっている。 ○ 生徒がつまづきがちな英語の語順や単語のアクセント等が色分けして示され、視覚的に理解しやすいよう配慮されている。 ○ ワイドな紙面構成により、グラフ等の図表が見やすく示され、内容をイメージしやすいよう配慮されている。 ○ 環境に配慮した用紙やインクを使用している。生徒が記入しやすいような用紙の幅と材質になっている。 						

種 目	英 語	発行者の 番号・ 略称	1 1 学 図	教科書 の記号・ 番号	英語 7 2 9 8 2 9 9 2 9	書 名	TOTAL ENGLISH 1 TOTAL ENGLISH 2 TOTAL ENGLISH 3
1 記述内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「国際協力」や「自然環境」, 「人権」や「世界平和」等, 幅広い題材で構成され, コミュニケーション能力の基礎が養われるよう配慮されている。 ○ 「国際社会の平和と発展に寄与できる態度の育成」, 「自国の伝統や文化の尊重」及び「生命の尊重」等, 道徳教育のねらいにも関連を持たせるよう工夫されている。 ○ それぞれの Chapter ごとに「何ができるようになるか」といった目標を明確に示してあり, 年間指導計画の学習到達目標に対応させて学習活動を展開することが可能となっている。 ○ 第1学年では, 「聞く」「話す」活動に重点を置きながら, 少しずつ「読む」「書く」活動を導入する等, 発達段階を考慮したものとなっている。 ○ 題材を英語文化圏だけでなく, 幅広い地域から取り上げており, 言語面のみならず, 背景にある文化や生活にも目を向けるよう配慮されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ Chapter ごとに, 基本的な活動から発展的な学習まで段階的に配置されており, 4 技能が総合的に育成されるよう配慮されている。 ○ 「Chapter の扉」に, その Chapter で扱う言語の働きや使用場面, 言語材料等を記してあり, 見通しを持って学習が進められるよう配慮されている。 ○ それぞれの学年のはじめに, Pre-lesson として既習事項の復習を兼ねた題材が配置され, 学年間の繋がりが考慮されている。 ○ 入門期は, I like...の表現を最初に配置する等, 外国語活動で慣れ親しんだ表現でコミュニケーション活動を図れるように工夫されている。 ○ 「学校生活」や「インターネット」, 「職場体験」等, 生徒にとって身近な話題が盛り込まれており, 実際の生活と関連付けた言語活動を展開させやすくなっている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Check It Out」のコーナーでは, 言語材料や言語の使用場面がまとめてあり, 基礎的・基本的な知識・技能を繰り返し学習することができるよう配慮されている。 ○ 日本の伝統建築や相撲, 異国の生活や有名ミュージシャン等の写真を数多く掲載し, 題材に興味を持てるよう工夫されている。 ○ 関連の深い単語をまとめて表記した「Word Tree」のコーナーを設け, 語彙を系統的に学習できるよう工夫されている。 ○ 「職場体験」や「環境問題」, 「人権問題」といった, 他教科等との関連を図った指導ができる題材が盛り込まれている。 ○ 挿絵や写真が工夫されており, 生徒が題材への興味・関心を高めることができるよう工夫されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年で扱う文字は全てブロック体で統一され, 活字体は第2学年から使用する等, 文字指導で混乱が生じないよう配慮されている。 ○ 活動や題材に関連する挿絵を豊富に使用し, 紙面を無駄なく利用してレイアウトする等, 生徒にとって分かりやすく, 魅力あるものとなっている。 ○ それぞれの活動を専用のマークを用いて示し, どの技能を高めるための活動なのか一目で分かるよう工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインの視点を取り入れ, 色使いやレイアウトに配慮されたものとなっており, 視覚的に分かりやすく構成されている。 ○ 環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。また, 繰り返しの使用に対応できるよう製本も堅ろうである。 						

種 目	英 語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 5 三省堂	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	英語 7 3 0 8 3 0 9 3 0	書 名	NEW CROWN ENGLISH SERISE New Edition 1 NEW CROWN ENGLISH SERISE New Edition 2 NEW CROWN ENGLISH SERISE New Edition 3
1 記 述 内 容 関 与 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識・技能を習得し、4技能を総合的に身に付ける内容となっており、コミュニケーション能力の基礎を養う工夫がされている。 ○ 各 Lesson で、学ぶことがはじめに明記され、生徒がゴールと学習の見通しを持ち、主体的に学習を進めることができるように配慮されている。また、巻末で、各学年で何ができるようになったか、生徒自身でチェックできるようになっている。 ○ 学校生活等の身近な内容に加え、科学・環境問題や国際協調等の幅広い話題を扱い、自分の考えや思いを表現しようとする意欲が高まるような題材が設定されている。 ○ スピーチ、インタビュー、ディスカッション等が各学年の発達段階に応じて配置されている。 ○ 英語圏以外の人物や国を取り上げ、諸外国への関心を持たせる工夫がされている。 						
2 組 織 関 与 す る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Lesson を「見通し・習得・活用・振り返り」の四つのパートに分け、段階を踏んだ指導を行うことができるように配列されている。 ○ 各 Lesson 末において生徒の個性や創造性が発揮されるような言語活動の例を配置し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲を喚起させる工夫がされている。 ○ いくつかの Lesson で学んだ言語材料や言語活動を生かして展開する統合的な活動が各学年に Project として3か所配置され、学びが深まるような工夫がされている。 ○ 第1学年の入門期においては、外国語活動で慣れ親しんだ音声と文字とを関連させ、中学校での学習への円滑な接続を図っている。 ○ Lesson を構成している Let's Listen, Let's Talk, Let's Read は、それぞれの学習時間の調整が可能であり、生徒の実態に十分対応できる配列になっている。 						
3 学 習 関 与 す る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各 Lesson の GET で基礎を習得し、USE で読む・話す・書く活動を通して、基礎的な力を活用して、実生活と関連が深い言語活動ができるように工夫されている。 ○ 各 Lesson の Word Bank や巻末のいろいろな単語や会話表現は、生徒の表現意欲を引き出し、表現活動を豊かにする工夫がされている。 ○ For Self-Study において、辞書の引き方、ネットを活用しての学習法等を示すことで、生徒の多様で主体的な学習を支援する工夫がされている。 ○ 職場体験や避難訓練、日本の伝統文化、ロボット開発等を取り上げる等、他の教科等の学習との関連が図られている。 ○ 各学年の「絵でわかる英語のしくみ」において、英語と日本語との違いについて絵をふんだんに用いて解説し、言語のしくみに対する理解を深めている。 						
4 表 現 関 与 す る 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ Let's Listen や Write, Project において、生徒が書き込めるスペースが十分に取られており、生徒の発想を生かす工夫がされている。 ○ 場面設定を補足するイラスト、写真、図がカラーで見やすく、生徒が興味・関心を持って学習を進めることができるよう配慮されている。 ○ 手紙や新聞、物語等の読み物教材を除き、全学年でブロック体を使用しており、読みやすい字体や大きさに設定されている。 ○ 識別しやすい配色となっており、学習内容を理解する補助的な手がかりとなるイラストやマークも適切に用いられている。 ○ 環境にやさしい用紙と植物油インキを使用している。表紙は丈夫で汚れにくいものとなっている。 						

種 目	英 語	発行者の 番号・ 略称	1 7	教科書 の記号・ 番号	英語 7 3 1 7 3 2 8 3 1 8 3 2 9 3 1 9 3 2	書 名	ONE WORLD English Course 1 ONE WORLD English Course 1 Essentials ONE WORLD English Course 2 ONE WORLD English Course 2 Essentials ONE WORLD English Course 3 ONE WORLD English Course 3 Essentials
			教 出				
1 記述内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、4技能を総合的に用いた自己表現の場を設定することで、コミュニケーション能力の基礎を養うことができる内容となっている。 ○ 書く活動ではマッピングの手法を用い、生徒の個性や創造性が発揮されるような工夫がされている。 ○ 生徒の学習意欲を高めることができるよう、身の回りのことから学校、社会、世界へと広がる題材を多岐にわたって取り上げている。 ○ Lesson のパートごとに学習の到達目標が明確に示され、各学年の巻末には、英語を使って何ができるようになったかを自己評価できるチェックリストが設定されている。 ○ 題材は幅広いジャンルから取り上げられ、文化の多様性を認め、他国を尊重するとともに、我が国の郷土を愛する気持ちを育てるよう工夫されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson ごとに基本文を確認し、リーディングの後 Listen, Speak, Write と系統的に扱われることで、4技能のバランスに配慮した配列となっている。 ○ 各 Lesson では、基本文の解説が丁寧に記述され、学習の到達目標が「～できる」という形で明確に示されていることで、生徒が主体的に学習を進めることができる。 ○ 各 Lesson が HOP, STEP, JUMP の3段階で構成されており、HOP の段階で基本文や語彙の定着を図り、後出の STEP, JUMP では活用して定着できるよう配置されている。 ○ Lesson から Project まで、一連の学習を通して目標が達成できるよう、題材や言語材料が系統的に配列されており、各校の年間計画に対応できるよう工夫されている。 ○ 第1学年の入門期では、外国語活動から英語学習へとスムーズに接続できるよう配慮される等、生徒の実態に応じて対応できるよう配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常会話や、テーマに関連した語彙を紹介するページが系統立てて配置され、生徒の表現する力を高める工夫がされている。 ○ 3年間を見通した学習の到達目標を明確にし、生徒が意欲を持ち学習を進めることができるよう配慮されている。 ○ 辞書の使い方について各学年で段階的に取り上げられており、生徒の多様な実態や特性に応じながら自主的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 場面設定を補足するイラストや写真、グラフ等が効果的に配置されており、生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。 ○ 職業体験や世界の水問題を題材に取り上げる等、他教科等と関連させた学習を行うことができるよう工夫されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ ブロック体と活字体との混乱が生じないように、文字のフォントや大きさが発達段階に応じて使用される等、配慮されている。 ○ 生徒になじみのあるアニメのキャラクターを登場させる等、生徒の意欲を喚起するよう配慮されている。 ○ 第1学年の Lesson6 までは、小学校での外国語活動で用いられたブロック体を使用することで、学習者にとって親しみやすく読みやすい表記になっている。 ○ 判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字等を使用し、生徒が安心して学べるようにユニバーサルデザインの観点から作成されている。 ○ 再生紙や植物用インキを用いたり、グリーン電力を使用したりする等、環境保全に配慮されている。 						

種 目	英 語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	3 8 光 村	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	英語 7 3 3 8 3 3 9 3 3	書 名	COLUMBUS21 ENGLISH COURSE1 COLUMBUS21 ENGLISH COURSE2 COLUMBUS21 ENGLISH COURSE3
1 記 述 関 内 す 容 る に こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ パートごとに、4技能をバランスよく配置した言語活動の例が組み込まれており、コミュニケーション能力の基礎を養う工夫がされている。 ○ 各 Unit に「何ができるようになるか」を明確にした学習の到達目標が示されており、生徒が達成感を味わいながら学習を進めることができるよう配慮されている。 ○ 自国の伝統と文化だけでなく、国際社会の平和と発展等、幅広い話題に触れられるような内容構成となっており、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。 ○ 物語、ノンフィクション・自然科学を題材とした説明文等、幅広い分野の内容を取り上げ、読む力を高めるよう工夫されている。 ○ 題材として様々な国の人物や話題を取り上げ、多様な文化やものの考え方に触れられるよう配慮している。 						
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」の四つの技能がバランスよく配置されており、学習の効果が上がるよう配慮されている。 ○ 各 Unit のまとめとなる「You Can Do It!」に、実際の使用場面を想定した活動が用意されており、発展的な学習を通して目標に到達できるよう配列されている。 ○ 第1学年の入門期に「Let's Enjoy English!」を配置し、音声を中心とした活動から文字に親しめるよう構成されている。 ○ Unit ごとにまとまりのある言語材料が使用されている。各 Unit が適切に関連付けられており、年間指導計画に幅広く対応できるよう配慮されている。 ○ 語彙、文法事項の整理、言語活動による知識・技能の定着のページが効果的に配置され、生徒の実態に応じて学習事項を確実に習得できるよう配慮されている。 						
3 学 習 関 と す 指 る 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の巻末に、「英語のしくみ」を掲載し、文法や文構造の理解を促す工夫がされている。 ○ 読み物教材には読み取る視点が日本語で示され、生徒が主体的に英語を読み進めることができるよう工夫されている。 ○ 「辞書の使い方」、「音読の仕方」、「英文を読むコツ」、「リスニングのコツ」等を紹介し、生徒に学習方法を理解させ、自主的な学習を促すよう配慮している。 ○ 道徳教育や人権教育等、他の教科との関連が図られた題材が配置され、幅広い教育への配慮がされている。 ○ 生徒が親しみやすい挿絵や写真が適切に配置されており、生徒が内容を読み取る際のヒントとなるように工夫されている。 						
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年では、入門期の生徒が活字体をそのまま使用しないよう全てブロック体で使用されている。 ○ 登場人物に生徒と同年代のキャラクターを設定し、マンガのページで登場人物の心の動きを考えさせる等、生徒が親しめるよう工夫されている。 ○ 第1学年の入門期では大きめのブロック体を使用し、活字が鮮明で読みやすくなっている。また、学年が進むにつれ適切な大きさの文字を使用している。 ○ 文字とイラストの大きさやバランスを考えた紙面構成となっており、生徒が理解しやすいよう工夫されている。 ○ 丈夫で汚れにくい表紙カバーになっており、環境に配慮した紙、植物油インキが使用されている。 						

